

# 知多の自然観察

2019(平31,令1)年 1月~12月

# 年報



説明が良いと子どもたちの目は一点に集中

## 知多自然観察会

—愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部—

## はじめに

今年は40年近い当会の歴史のなかで初めての出来事がありました。日本自然保護協会が主催する自然観察指導員講習会が、8/31～9/1の日程で愛知県美浜少年自然の家で開催されました。指導員講習会の知多地域での開催は初めてのことになります。地元開催という縁もあってこの講習会にスタッフとして参加しました。私が受講したのはおよそ30年前ですが、忘れていた指導員としての心得を思い出させていただくいい機会になりました。

今年の漢字（日本漢字能力検定協会が募集して決定し、京都・清水寺で発表される。多くのメディアが取り上げるので知名度は高い）は「令」でした。年号が変わるといって一大イベントがあったのでまあ妥当なところなのかもしれませんが、個人的な考えを述べさせていただくと今年を表す漢字としてふさわしいのは昨年引き続いて「災」だったように思います。今年も昨年に引き続き自然災害が頻発しました。特に記憶に新しいのが10月に列島を襲った台風19号で、いまだに被災地の一部では復興まもなく不自由な生活を強いられているとの報道がされています。進路が少しだけそれのおかげで当地方は大きな被害を受けずにすみましたが、秋の大イベントである「緑の少年団交歓会」が予定通り実施できず日程を変更する羽目になりました。先ほど「自然災害」という言葉を使いましたが、人為的な気候変動との関わりを思うとき、この災厄を「自然」と呼んでいいものか考えさせられます。

日本社会が抱える大きなリスクとして少子高齢化が挙げられていますが、当会も同様の悩みをもっています。今年も他界されたり高齢を理由に会を去られた会員がおられます。会の活動に多大な貢献をいただいた皆様に深く感謝し、併せてご冥福をお祈りいたします。

今年も一年間の活動の記録を冊子にすることができました。協力いただいた会員の皆様や自治体の関係部署をはじめとする関係者の皆様に感謝いたします。

令和元年 12月 31日

知多自然観察会代表 榊原 靖

# 目 次

	頁
はじめに	
1 目 次	2
2 編集について	3
3 知多自然観察会について	
・概 要	4
・会 則	5
4 総 会 議 事 録	7
5 2019年の事業計画（会員用）	9
6 支部担当の事業	9
・持ち寄り会	
・宿泊研修Ⅰ（春）	
・宿泊研修Ⅱ（秋）	
・海辺の生きもの観察（生物多様性セミナー）	
・知多地方みどりの少年団交歓会	
7 ブロック担当の観察会	
(1) 阿久比ブロック	22
(2) 大 府 〃	27
(3) 武 豊 〃	32
(4) 知 多 〃	40
(5) 東 海 〃	48
(6) 常 滑 〃	52
(7) 半 田 〃	57
(8) 東 浦 〃	64
(9) 美浜・南知多 〃	74
8 調査活動報告	81
・知多半島の淡水エビ	
9 臨時の観察会	83
・フナビオ（船島小学校）	
・野崎川の生きもの（知多市八幡みどり保存会）	
・加木屋緑地のアサギマダラ	
・海辺の生きもの（生物多様性セミナー）	
10 発表の場（会員の投稿記事）	93
・イエシロアリの蟻塚	
・かぼちゃ（南瓜）の雑種	
・百足（ムカデ）の足は…何本？	
・葉っぱで判断（樹木名）	
11 役員一覧表	101
12 編集後記	102



## 【編集について】

知多自然観察会HPのURL

<http://chitakan.com/> または

<http://prosv7.tok2.com/~chitakan/>

この「2019年 年報」は2019年1月～12月の活動の報告です。

また、この冊子に掲載の記事は、すべて、上記のホームページからの抽出です。

従って、掲載の活動例などはホームページをプリントアウトしたものをそのまま利用しています。ただし、観察会の紹介については一つの活動を印刷しますと文字や掲載写真の多いページは2, 3ページになるものもありますので、ここでは、すべて、縮小印刷するなどして1ページに程よく収まる程度のみだけを印刷し掲載しています。

そのため掲載の写真が活動の中心を表していないことが多々あります。このことも併せて宜しくご承知下さい。機会がありましたら、是非、上記ホームページにアクセスいただき実際の全ページをご覧下さい。

以下は知多自然観察会HPのトップページです。

2001.7.26 開設  
240624

Google  Google 検索  
 WWW を検索  知多自然観察会内 を検索



観察会へ参加される方はここをご覧下さい ⇒ [観察時のお願い](#) (←クリック)

2019年度 ↓ 臨時の観察会：年度の途中で依頼を受け実施します (一般の参加はできません)

<a href="#">観察会の予定</a> (記録も含む)	<a href="#">臨時の観察会</a> (記録が中心)	<a href="#">過去の観察会</a> (記録も含む)	<a href="#">掲示板</a> 意見交換・(-)v	<a href="#">会員個人の</a> 発表	<a href="#">調査活動</a>
<a href="#">研修・旅行等</a>	<a href="#">当会の案内</a> 入会の条件	<a href="#">問合せ先</a> 入会申込書	<a href="#">リンク</a>	<a href="#">会員専用</a>	<a href="#">会 則</a> 役員一覧

自然の楽しさを 自然の大切さを みんなに  
[わたくしたちはこんな活動\(←クリック\)](#) をしています

Copyright (C) Chita\_Shizen\_Kansatsukai. All Rights Reserved.  
サイト内に掲載の記事・写真などを利用する時は連絡してください。

※2020.1.2 現在のトップページ

## 本会の概要

### 1. 名称等

- ・会の名称 知多自然観察会 (愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部)
- ・設立年月 1982年5月  
知多地方自然観察研究会の名称で発足(会員8名で発足)
- ・周年記念 1992.6 発足10周年記念大会開催(半田市勤労会館)  
2002.5 20周年 (知多市地域文化センター)  
2012.11 30周年 ( " )
- ・会則制定 2006.2.19 総会で承認
- ・総会 原則、毎年2月に開催
- ・事業年度 4月から翌年3月。ただし、会計年度は1月から12月
- ・会員 70名(2019年12月末現在)
- ・役員 15名(顧問、代表、副代表、庶務、会計、会計監査、世話役)
- ・ブロック 9ブロック  
(阿久比、大府、武豊、知多、東海、常滑、半田、東浦、美浜・南知多)
- ・年会費 1,000円

### 2. 自然観察会の実施状況(2019年1月～12月)

- ・支部担当事業 役員会、会員研修会、県民センター委託など…20回
- ・自然観察会 本会主催観察会(ブロック主催の観察会)……25回  
市町等主催観察会(前年度に予約済)……54回  
(上記の54回の内、雨天中止…4回)
- ・観察会の場所 公園、野道、川、海岸、里山、神社、湿地
- ・一般参加者数 少ないとき…0～1家族(2,3名) 多いとき…数十名  
当日指導員…2～10数名(特別な場合は20数名)
- ・雨天の場合 雨天は原則中止。ただし、担当指導員およびほかの指導員が集合するので、中止宣言のあと、そのまま指導員だけで観察に出発する場合もある。一般参加者もよければ一緒に行動することは可能である。

### 3. 観察会の日時 原則、土曜または日曜 9:30～11:30

- ・公園…駐車場に集合。公園内の散策路から観察
- ・野道…適切な駐車場から野道を歩く。側溝(小川)があればタモを入れたりする
- ・海岸… " から海岸へ移動。潮位の事前確認が必要
- ・川… " から川へ移動。ハシゴで昇降する。夏期はテントも必要
- ・朽木…林の中の朽ち木をマイナスドライバーでばらす
- ・工作…自然の材料を利用。グルーガンを使用する場合もある
- ・夜…日没頃に集合。ナイトハイクしながら観察。灯火採集装置をセットする

## 知多自然観察会 会則

- (名称) 第1条 本会は知多自然観察会と称する。
- (目的) 第2条 自然観察会を通して自然とつきあうことの楽しみを人に広めるとともに活動の場となる自然を守るように努力する。
- (事業) 第3条 前条の目的を達成するため次の事業を行う。  
自然観察会ガイド、里山活動、自然物の工作、生きもの調査、総合的学習のお手伝い、会員研修会など
- (会員) 第4条 自然観察指導員講習会を受講した者、または、本会の目的に賛同し、本会への参加を希望する者とする。
- (会費) 第5条 会員は毎年5月末日までに会費を納入しなければならない。
- (退会) 第6条 退会を希望する者は代表または世話役に申し出るものとする。  
2. 会費未納の者は会員の資格を失う。
- (役員) 第7条 本会には次の役員をおく。  
顧問 若干名  
代表 1名  
副代表 若干名  
世話役 市、町からの代表  
庶務 1名  
会計 1名  
会計監査 2名
- (役員の任期) 第8条 任期は一年とするが再任を妨げない。
- (役員の選出) 第9条 代表・会計監査は会員中より互選する。総会で承認を得る。  
顧問・副代表・庶務・会計は代表が委嘱する。総会で承認を得る。  
世話役は各市町で互選する。総会で承認を得る。
- (役員の補充) 第10条 役員に欠員が生じたときは速やかに代理を選出する。
- (総会) 第11条 本会は毎年1回、原則2月に総会を開催するものとする。  
総会の決議は出席者の過半数による。
- (役員会) 第12条 総会に代わる決議機関とする
- (会計年度) 第13条 会計年度は毎年1月1日に始まり12月31日に終わる。
- (役員の補充) 第14条 会則の変更は総会または役員会において過半数の賛成を得て行なう。
- (内規) 第15条 本会の円滑な運営のために内規を定めることができる。
- (附則) 1 この会則は平成26年2月9日より実施する。  
2 本会の事務局は当分の間、庶務宅とする。  
\* 附則の1の年月日は総会で変更があった場合、その総会の実施日が記される。
- (覚え) 1 この会則の最初の制定日は平成18年2月19日である  
(当日の総会で承認された)
- 2 平成19年2月19日の総会で7条を次のように変更した。  
・世話役「市町代表…10名以内」を「市町及び里山クラブからの代表」に変更  
・会計監査「1名」を上記条文の2名に変更
- 3 平成23年2月13日の総会で7条を次のように変更した。  
・世話役「市町及び里山クラブからの代表」を上記条文の通りに変更

## 知多自然観察会 2019 総会 議事録

【日時】2019年(平成31年)2月3日(日曜)9時30分～11時30分

【場所】阿久比町勤労福祉センター[エスペランス丸山] 集会室3

【受付】(森田琢)(牧野)(桑村) 進行・・・吉川勉

### 1. 開会のことば・・・(榊原正)

総会開会のことばと共に、2019 総会となっていることについて、会計は暦年、事業計画は年度ということで 2019 総会となっているとの説明もあった。

### 2. 代表あいさつ・・・(榊原靖)

2019年1月に亡くなられた森田博文会員への追悼のことばとともに、昨年1年は天候が必ずしも順調ではなかったこと、佐布里池の堤体耐震補強工事に向けた池干しが進み、県企業庁による予備調査も終わって、来る21日に企業庁から依頼の池干し後の池内調査が行われるので興味・関心がある方は連絡が欲しいとの話があった。また、テレビ東京『池の水ぜんぶ抜く大作戦』の取材もあるとのこと。(21日の集合場所・時間は未定)

### 3. 出席者自己紹介・・・(全員)——各自15秒以内で——

※総会出席者が33名であることの報告(吉川勉)

### 4. 議長、書記の選出

出席者に諮ったところ、畠会員から以下のとおり推薦があり、出席者全員の賛同を得た。

議長(吉房)、書記(牧野)

吉房が席を移動し、議長席に着席。以下吉房議長が議事進行。

### 5. 議事=2018年度事業報告

(1) 主な事業の報告——報告1件あたり各1分30秒以内で——

1) 支部行事に関する報告・・・(吉川勉)

年報12p～19pの支部主催の事業について、主に12pの一覧表にて説明。

2) 各ブロックの活動(受託の事業を含む)に関する報告

各ブロック代表から、年報に記載のブロックで取り組んだ観察会の状況などの報告がそれぞれからあった。

阿久比(20p)・・・(平松裕) 大府(27p)・・・(吉川洋) 武豊(29p)・・・(畠)

知多(37p)・・・(南川) 東海(46p)・・・(浅井一) 常滑(51p)・・・(森田琢)

半田(56p)・・・(山田和) 東浦(63p)・・・(岩本) 美南(69p)・・・(永田孝)

3) 受託観察会に関する報告・・・(吉川勉)

各ブロックで取り組んだ観察会のうち、「種」欄が”受託”あるいは”受募”となっている観察会が受託事業であるとの説明。

4) 研修旅行に関する報告・・・(降幡)

春(15p)は池ヶ原湿原に、秋(17p)は15年ぶりに以前お世話になった人を頼って、阿寺溪谷を訪れたが、特に秋の宿泊先の柿其すずめは何もない山の中であったが、家族的な雰囲気でもとても良かったとの報告。

5) 持寄り会に関する報告・・・(榊原正)

年報の13pをもとに報告があった。

6) ホームページに関する報告・・・(榊原正)

観察会の報告があったものしかHPに掲載できないこと、また、参加指導員名が漏れなく記載されていないと後の参加費の支払いができないことから、少なくとも観察会の状況について写真はなくても報告は提出して欲しいとの説明。併せて、資料-9の「観察会報告」&「観察用品購入補助金請求」の留意事項についても説明があった。

7) 年報作成に関する報告・・・(榊原正)

年報は、HP掲載の報告等をそのまま印刷原稿としている。報告作成に当たっては誤字脱字注意との要請のほか、年報作成作業について現行2万円の手当を3万円に、そのほか消耗品費として1万円

給するので、是非希望する人は名乗り出て欲しいとの要請があり、もしなければ今年も榊原正が実施する旨の報告があった。

表紙などに掲載する興味深い写真があれば榊原正へ送付を依頼。今回はイヌマキの樹上発芽(胎生種子)、ヒノキバヤドリギの情報の情報提供の要望があった。(吉川洋より)

(2) 一般会計報告<資料-1>…(森田琢)

資料-1 に基づき本年は、通信費で 5 年ごとに賦課されるサーバー代の支払いがあったことから、通信費が 18,560 円予算超過になったとの報告。

(3) 一般会計監査報告<資料-1>…(牧野)

資料-1 により、昨年 12 月 22 日に山田公と 2 人で会計監査を行い、現金・預金は通帳残高と相違ないことを確認したとの報告。

(4) 委託金管理報告<資料-2>…(榊原靖)

資料-2により、委託金管理通帳収支報告及び受託金の納入状況について説明があり、収支報告は前年度分の受納金があるので、5 月で一旦リセットしてそこから始まっているとの報告。

(5) 特別会計報告<資料-3>…(榊原正)

ほぼ例年通り。12 月末締めと言っても金融機関の関係があることから、今年は 12 月 27 日で締め切ったこと、その後の 29 日にも請求が 2 人からあったが、翌年回しにお願いしたとの報告。

また、観察用品購入補助金の申請は、資料-9 に従い、まずメールで見出しを「観察用品購入補助金の請求」をつけて申請をとの強調があった。

## 6. 議事=2019 年度事業計画

### (1) 役員の選出

議長が次期役員について参加者に諮ったところ、藤井(辰)より以下のとおり推薦があり、議長が諮って、参加者全員の承認を得た。

1) 代表(榊原靖)

2) 会計監査(牧野)・(山田公)

榊原靖新代表からあいさつ。

### (2) 役員の委嘱

榊原靖新代表が、あいさつの後、会則第 9 条に従い以下のとおり指名し参加者全員の承認を得た。

1) 顧問 (降幡)

2) 副代表(南川)・(榊原正)

3) 庶務 (吉川勉)

4) 会計 (森田琢)

### (3) 世話役(ブロック代表)・副世話役(ブロック副代表)の選出

各ブロック参加者から、以下のとおり推薦があり、参加者の承認を得た。

阿久比・(平松裕)(牧野)      大府・(村瀬)(吉川洋)      武豊・(皇)(畑中)

知多・(南川)(吉川勉)      東海・(浅井一)(岩崎)      常滑・(森田琢)(中井三)

半田・(山田和)(石川由)      東浦・(竹内秀)(岩本)      美南・(永田孝)(田中達)

### (4) 各種担当の選出

議長が、参加者に諮り、以下のとおり承認された。

年報(榊原正)、ホームページ(榊原正)、調査活動(榊原靖)、研修旅行(牧野)、持寄り会(榊原正)、年間計画(榊原正)

### (5) 県協議会関係への役員

榊原靖新代表から、以下のとおり報告。

・ 理事/支部代表…(榊原靖)

・ 理事/HP担当…(永田孝)

## (6) 主な事業計画

### 1) 支部全体の主な事業計画(吉川勉)

支部主催の事業について、資料-4の2019年度予定表のうち以下について説明し、了承された。

- ①役員会 :5/11(土)、7/6(土)、9/7(土)、11/9(土)、11/30(土)、12/14(土)、1/11(土)
- ②みどりの少年団 :10月19日土曜日 於:東海市(浅井一、南川)
- ③研修旅行 :5月25日(土)~26日(日)及び10月26日(土)~27日(日)
- ④調査活動 :未定
- ⑤持ち寄り会 :32年3月7日(土)
- ⑥総会 :2月16日(日)

### 2) 2019(H31)年度会員用年間予定-日付順-について<資料-4>(榊原正)

資料-4の2019年度予定表について、日程等の点検と2月21日までに訂正等の連絡の要請。

### 3) 県協議会事業について(榊原靖)

榊原靖代表から、以下のとおり報告があった。

- ①あいちの自然観察会 : 8月18日(日)の「海辺のヤドカリたち」於:蒲池漁港を充てる。
- ②研修会(各支部担当) : 10月26日(土)~27日(日)の「秋の研修会」を充てる。
- ③自然観察指導員講習会: NACS-Jから正式に公表されていないが、8月31日(土)~9月1日(日)に愛知県の「美浜少年自然の家」で開催される予定であるので、希望者に積極的な参加を呼びかけ。
- ④協議会交流の日:31年度は名古屋・尾張支部のどちらかになるが、現在未定。日時・内容の詳細も未定
- ⑤通常総会・講演会 : 32年3月20日(金・祝)

## (7) 平成31年度 自然観察会活動に係る事業予算<資料-5>・(森田琢)

森田琢から、資料-5により平成31年度一般会計予算案の説明があり、議長が諮って参加者全員の承認を得た。

## (8) その他/報告等

### 1) 会員名簿について・<資料-6>(吉川勉)

吉川勉から、総会案内時の返信ハガキでの退会意向表明や森田博文会員の計報で本日の総会時点で資料-6の名簿どおり76名との報告とともに、名簿の点検と訂正等の連絡の要請。

### 2) 観察会時の傷害保険について<資料-7>・(榊原靖)

榊原靖代表から、資料-7の「自然観察会の保険と安全」により、会員が観察会に参加しての傷害保険と損害賠償責任保険についての説明があり、損害賠償責任保険についての検討を進めているが、現行のNACS-Jの保険などでは損害賠償責任保険が手当されないことに留意して欲しいとの注意喚起とともに、県協議会の傷害保険適応の内容について熱中症の対応付加を検討中との説明。

### 3) 観察会の運営について<資料-8>・(榊原正)

榊原正から資料-9により、スタッフ2名以上での対応や、傷害保険と損害賠償責任保険対策から必ず下見をすること、参加者に行動を強制しないなどの説明。

### 4) その他

榊原靖代表から、県協議会総会が、3月21日(木・祝日)に開催(会場:日本特殊陶業市民会館・講演者:中部大学大場裕一准教授(専門:発光生物学))されるので、積極的な参加の呼びかけ。

## 7. 議長、書記の解任

以上で、予定された総会議事等がすべて終了し、吉房議長・牧野書記は自席に戻った。

## 8. 閉会のことば(副代表)

南川副代表から、総会の終了が宣言された。

## 2019(平成31, 令和1)年 (1月～12月) 事業計画

### ◎ 備考

- ・種らん… 募 = 知多自然観察会主催  
     受募 = 市町等が主催、当日受付でも参加可  
     受託 = 市町等が主催、当日受付での参加は不可(事前申し込みが必要)
- ・保険らん… 協 = 県協議会へ保険金を納入
- ・担当らん… 阿久 = 阿久比 美南 = 美浜・南知多
- ・テーマらんの主催者……セレクトナ = ニツ池セレクトナ  
     東海-施管協 = 東海市施設管理協会
- ・集合場所らん……健康の森事務所 = あいち健康の森公園管理事務所  
     みどり公園事務所 = 大府みどり公園管理事務所  
     東浦学習の森 = 東浦自然環境学習の森

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	19	1	12	土			支部	1月役員会 ※ 総会の次第、役割分担	未定 13:30	庶務
2	19	1	13	日	受託		大府	「㊟冬に出会える鳥たち」●セレクトナ	セレクトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
3	19	1	19	土	受募		知多	「佐布里池に集まる野鳥を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	古川(0569-73-6078)細川
4	19	1	20	日	募	協	武豊	「冬の風物・海辺にきた鳥たちを見よう」	河和口駅前の海岸 9:30	古川(0569-73-6078)伊藤伸
5	19	1	26	土	受募		知多	「朽木の中の生き物を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	藤井辰(0562-34-3077)南川
6	19	1	26	土	受託		東海	「公園の野鳥観察」●東海市施管協 参加費100円	大池公園動植物資料館 9:30	神野(0562-34-3964)岩崎
7	19	1	26	土			支部	総会資料の印刷	(青海公民会) 13:30	庶務
8	19	2	3	日			支部	総会	未定 9:30	庶務
9	19	2	9	土	受託		知多	「冬の野鳥の観察しよう」●こども未来館	こども未来館 9:30	神野(0562-34-3964)吉房
10	19	2	16	土	受託		東海	「朽木の虫観察」●東海市施管協 参加費100円	大池公園テニスコート前P 9:30	吉村(0562-32-3760)降幡
11	19	2	16	土	募	協	東浦	「冬の生き物たちに会おう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)山田公
12	19	2	16	土	受募		美南	「地層岩石調べ化石採集」●南知多町環境課	南知多町JAあいち知多みさき支店P 9:30	田中達(090-1626-3231)河原
13	19	2	17	日	受託		大府	「㊠朽木に集まる虫たち」●セレクトナ	セレクトナ 9:30	門脇重(0562-46-6807)浅井一

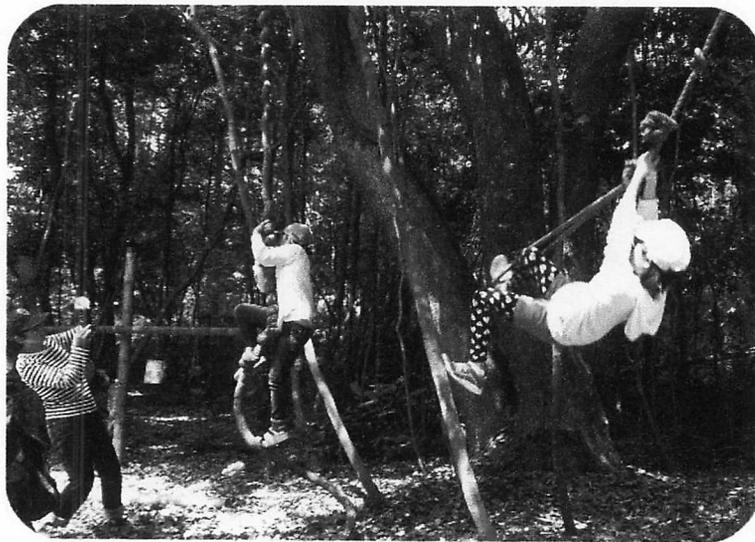
14	19	2	23	土		支部	総会議事録等の印刷	(青海公民会) 13:30	庶務
15	19	3	9	土		支部	持ち寄り会	未定 9:30～ 15:30	(榊原正)
16	19	3	17	日	受託	大府	「①春に会える鳥たち」● セレクトナ	セレクトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974) 門脇重
17	19	3	21	祝		支部	県協議会総会	未定	(榊原靖)
18	19	4	7	日	募協	東浦	「春の里山を見よう」	東浦自然環境 学習の森P 9:30	岩本(0569-58-0952) 山田公
19	19	4	7	日	募協	武豊	「春の息吹に触れよう」	別曾池公園P 9:30	畑中(080-1631- 0413)古川
20	19	4	14	日	受託	大府	「セレクトナ森研①植物おもしろ 探検隊」●セレクトナ	セレクトナ 9:30	吉川洋(052-381- 4426)村瀬
21	19	4	14	日	受募	東浦	「春の里山の恵みをさがそう」● 東浦町環境課	東浦自然環境 学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83- 9023)桑原
22	19	4	20	土	募協	半田	「任坊山の春-虫や野草の 観察」	任坊山公園P 9:30	山田和(0569-22- 4660)榊原靖
23	19	4	27	土	受託	知多	「春の野草と虫さん」●こども 未来館	こども未来館 9:30	吉房(0562-55-9025) 吉川勉
24	19	5	11	土	受託	知多	「企業緑地の生きもの」●知 多市環境政策課	出光興産 愛知 製油所 9:30	南川(0569-42-5382) 吉房
25	19	5	11	土	受募	美南	「山海川生き物観察」●南 知多町環境課	山海ふれあい 会館(旧山海 小)P 9:30	田中達(090-1626- 3231)中村
26	19	5	11	土	受募	東浦	「ヒメボタルに会おう」●東浦 町環境課	うのはな館P 21:30	田中央(0562-34- 6040)岩本
27	19	5	11	土		支部	5月役員会	未定 13:30	庶務
28	19	5	12	日	募協	阿久	「竹林であそぼう」	洋菓子サリュエ 東 9:30	平松裕(090-8071- 3954)榊原正
29	19	5	12	日	受託	大府	「春のいきものをさがそう」● 大府市環境課	大府市役所 9:30	村瀬(0562-46-1974) 吉川洋
30	19	5	18	土	受募	美南	「アオウミウシを見つけよう」 ●南知多町環境課	南知多町県水 産試験場P 9: 30	田中達(090-1626- 3231)中村
31	19	5	18	土	受募	知多	「信濃川の生きものを観察し よう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	浅井一(080-6960- 6053)野村
32	19	5	18	土	受託	東海	「ヒメボタルに会う」参加費 100円 ●東海市施管協	上野台公園 21:30	吉川洋(052-381- 4426 浅井
33	19	5	18	土	受募協	美南	「山で発見 ヒメボタル」●美 浜町環境課	美浜町時志観 音P 21:30	永田孝(0569-82- 3151)永田寛
34	19	5	19	日	受託	大府	「虫・花・樹をさがそう①」● あいち健康の森公園	健康の森公園 管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974) 今西

35	19	5	19	日	募	協	常滑	「春の里山-田畑の虫たち-」 井間池・高砂山	南陵市民センター 9:30	降幡(0569-43-8060) 森田
36	19	5	19	日	募	協	武豊	「初夏の野草や花、虫たちに会おう」	沓町田湿地P 9:30	伊藤伸(0569-73-5059)島
37	19	5	未定	平日			支部	みどり…交歓会-事前打合せ会	県事務所	(浅井一)
38	19	5	25	土			支部	宿泊研修 1日目	未定	(牧野)
39	19	5	26	日			支部	宿泊研修 2日目	未定	(牧野)
40	19	6	1	土	募		美南	「クサフグの集団産卵を見よう」	南知多町聖崎公園P 14:30	大矢晃(052-841-6048)大矢美
41	19	6	8	土	受募		東浦	「明德寺川の生き物を探そう」●東浦町環境課	うのはな館P 9:30	田中央(0562-34-6040)水野恭
42	19	6	8	土	受託		知多	「佐布里のホテルの観察をしよう」●こども未来館	水の生活館P 場 19:00	吉房(0562-55-9025)南川
43	19	6	15	土	受託		知多	「海辺の生きもの観察」●こども未来館 干潮10:47	新舞子海岸 郷戸広場P 9:30	吉川勉(0569-43-1501)榊原正
44	19	6	15	土	募	協	武豊	「自然のホテルに会おう」	市原農村広場P 19:00	島(0569-73-3518)畑中
45	19	6	16	日	受募	協	美南	「干潟の生き物」●美浜町環境課	美浜町奥田農協P 9:30	永田寛(0569-82-3151)中村英
46	19	6	23	日	受託		大府	「セレクトナ森研②きのこ探検隊」●セレクトナ	セレクトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
47	19	6	30	日	受託		半田	「亀崎海岸の生き物観察」干潮●半田市環境課	亀崎海浜緑地P 9:30	山田和(0569-22-4660)加藤
48	19	6	30	日	受募	協	美南	「海辺の生き物」●美浜町環境課	美浜町富具崎港P 9:30	永田孝(0569-82-3151)中村英
49	19	7	6	土	受託		東海	「昆虫とオオケマイマイ」参加費100円 ●東海市施管協	しあわせ村玄関前 9:30	吉川洋(052-381-4426)平松俊
50	19	7	6	土			支部	7月役員会	未定 13:30	庶務
51	19	7	7	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう②」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
52	19	7	7	日	募	協	武豊	「ジャブジャブと新川の生きものすくい」	福寿園の西800m新川沿い 9:30	島(0569-73-3518)榊原正
53	19	7	7	日	受募		東浦	「初夏の里山で生きもの探そう」●東浦町環境課	東浦自然環境学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
54	19	7	12	金	受託		大府	「セレクトナ森研③灯火に集まる虫たち」●セレクトナ	セレクトナ19:30	水野利(052-323-3620)村瀬

55	19	7	13	土	募	協	阿久	「草木川の生き物観察」	正盛院P 9:30	平松裕(090-8071-3954)田中央
56	19	7	19	金	募	協	東浦	「灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう」	高根の森P 19:00	水野恭(090-3648-4467)水野利
57	19	7	20	土	受募		知多	「佐布里の野鳥や昆虫を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	南川(0569-42-5382)藤井辰
58	19	7	21	日	募	協	阿久	「福山川の生き物は今年も元気かな？」	阿久比板山公民館P 9:30	平松裕(090-8071-3954)浅井一
59	19	7	21	日	受託		大府	「夏のいきものをさがそう」●大府市環境課	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
60	19	7	21	日	受託		知多	「企業緑地の生きもの」●知多市環境政策課	JXTGエネルギー 知多製造所 9:30	吉川勉 (0569-43-1501)藤井辰
61	19	7	27	土	受託		半田	「稗田川・平地川の生き物」●半田市環境課	乙川東小北門から西150m空き地9:30	榊原正(0569-21-7000)森下保
62	19	8	3	土	受託		知多	「企業緑地の生きもの」●知多市環境政策課	中電 知多火力発電所 9:30	野村(0562-55-4122)南川
63	19	8	3	土	受募	協	東浦	「須賀川の生き物に会おう」●東浦町環境課	藤江コミュニティセンターP 9:30	田中央(0562-34-6040)水野恭
64	19	8	3	土			支部	県民センター観察会「海」下見 干潮 13:35	チッタナポリP 14:00	(南川)
65	19	8	3	土	募		美南	「ウミホタルの発光を見よう」	南知多町聖崎公園P 18:30	大矢晃(052-841-6048)大矢美
66	19	8	4	日	受託		半田	「ナイトハイクと灯火に集まる虫」●半田市環境課	半田運動公園第3P 19:00	榊原正(0569-21-7000)山田和
67	19	8	17	土			支部	県民センター観察会「海」本番 干潮 13:05	チッタナポリP	(南川)
68	19	8	18	日	募	協	常滑	「海辺のヤドカリたち」干潮 13:34 (あいちの観察会)	蒲池漁港P 10:30	森田(0569-42-1708)中井
69	19	8	未定	平日			支部	みどり…交歓会-事前打合せ会	東海市内 13:30	(浅井一)
70	19	8	31	土			支部	自然観察指導員講習会(1日目)	美浜少年自然の家	榊原靖
71	19	9	1	日			支部	自然観察指導員講習会(2日目)	美浜少年自然の家	榊原靖
72	19	9	7	土	受託		知多	「水田や水路の生きもの」●こども未来館	こども未来館 9:30	浅井一(080-6960-6053)吉川勉
73	19	9	7	土	受募	協	美南	「布土川の生き物観察」●美浜町環境課	美浜町布土公民館P 9:30	斉藤(090-4213-2898)榊原靖
74	19	9	7	土			支部	9月役員会	未定 13:30	庶務

75	19	9	8	日	受託	知多	「企業緑地の生きもの」●知多市環境政策課	LIXIL 知多事業所 9:30	藤井辰(0562-34-3077)吉房
76	19	9	14	土	受託	大府	「セレトナ森研④秋の鳴く虫さがし」●セレトナ	セレトナ 14:30	吉川洋(052-381-4426)福岡
77	19	9	15	日	募協	武豊	「秋の気配を感じよう」	別曾池公園駐車場 9:30	伊藤伸(0569-73-5059)畑中
78	19	9	21	土	受託協	半田	「神戸川の生きもの」●半田市環境課	青山公園P 9:30	榊原靖(0569-21-3497)石川由
79	19	9	21	土	受託	東海	「秋の虫を探そう」参加費100円 ●東海市施管協	大池公園テニスコート前 9:30	平松俊(052-601-1491)森田
80	19	9	22	日	受託	大府	「秋のいきものをさがそう」●大府市環境課	みどり公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)福岡
81	19	9	28	土	募	東浦	「身近にあるキノコを見つけよう」	高根の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)降幡
82	19	9	28	土		支部	みどり…交歓会-下見	東海市内 14:00	(浅井一)
83	19	10	5	土	受託	知多	「キノコに会いに行こう」●こども未来館	知多市旭公園北P場 9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
84	19	10	5	土	募協	半田	「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」	任坊山公園P 9:30	石川由(0569-23-1101)牧野
85	19	10	6	日	受託	大府	「セレトナ森研⑤どんぐり探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
86	19	10	6	日	受募	常滑	「雑木林のキノコたち」●大曾公園	大曾公園P 9:30	降幡(0569-43-8060)中井
87	19	10	12	土		支部	みどり…交歓会-本番(→11/16)	東海市内 9:00	(浅井一)
88	19	10	13	日	受託	大府	「虫・花・樹をさがそう③」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
89	19	10	19	土	受託	東海	「公園のキノコを観察」参加費100円 ●東海市施管協	大池公園多目的室 9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
90	19	10	20	日	募協	武豊	「ツルや枝・ドングリ等で工作しよう」	武豊自然公園P 9:30	畑中(080-1631-0413)伊藤伸
91	19	10	20	日	募協	東浦	「里山の秋を見つけよう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	水野恭(090-3648-4467)岩本
92	19	10	26	土		支部	宿泊研修 1日目 (県協議会の研修会)	未定	(牧野)
93	19	10	27	日		支部	宿泊研修 2日目	未定	(牧野)
94	19	11	3	日	受託	大府	「セレトナフェスタ2019-セレトナ森研⑥」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
95	19	11	9	土		支部	11月役委員会 ※年間予定(支部行事)、総会資料名一覧	未定 13:30	庶務

96	19	11	16	土	受募	東浦	「秋の宝物で工作をしよう」 ●東浦町環境課	於大公園この はな館 9:30	竹内秀(0562-83- 9023)山田公
97	19	11	17	日	募協	武豊	「にぎやかな秋の鳥たちを 見よう」	中山保育園P 9:30	古川(0569-73-6078) 清水
98	19	11	30	土	募協	阿久	「リース作りや竹の工作であ そぼう」	洋菓子サリュ ー東 9:30	平松裕(090-8071- 3954)牧野
99	19	11	30	土	募協	知多	「日長神社の紅葉を愛でよ う」	産業道路日長 インター東広場 P 9:30	細川(0569-43-3670) 吉川勉
100	19	11	30	土		支部	12月①役員会 ※支部・ブ ロック行事調整、年報、補助 金	未定 13:30	庶務
101	19	12	8	日	受託	大府	「セトナ森研⑦小枝で作ろ うリース」●セトナ	セトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974) 吉川洋
102	19	12	8	日	募協	半田	「康衛池のカモと阿久比川 河口の生き物」	瑞穂記念館P 9:30	鈴木汎(0569-22- 0908)榊原正
103	19	12	14	土		支部	12月②役員会 ※年間予 定の調整、会計関係、総会 次第	未定 13:30	庶務



遊びから学ぶ自然観察会

支部担当の事業 2019(平成31, 令和1)年 1月～12月

2019年2月の総会時の予定 ※以降の各ブロックも同様

No	年	月	日	曜	種	保	担当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	19	1	12	土			支部	1月役員会 ※ 総会の次第、役割分担	未定 13:30	庶務
2	19	1	26	土			支部	総会資料の印刷	(青海公民会) 13:30	庶務
3	19	2	3	日			支部	総会	未定 9:30	庶務
4	19	2	23	土			支部	総会議事録等の印刷	(青海公民会) 13:30	庶務
5	19	3	9	土			支部	持ち寄り会	未定 9:30～15:30	(榊原正)
6	19	3	21	祝			支部	県協議会総会	未定	(榊原靖)
7	19	5	11	土			支部	5月役員会	未定 13:30	庶務
8	19	5	未定	平日			支部	みどり…交歓会-事前打合せ会	県事務所	(浅井一)
9	19	5	25	土			支部	宿泊研修 1日目	未定	(牧野)
10	19	5	26	日			支部	宿泊研修 2日目	未定	(牧野)
11	19	7	6	土			支部	7月役員会	未定 13:30	庶務
12	19	8	3	土			支部	県民センター観察会「海」下見 干潮 13:35	チッタナポリP 14:00	(南川)
13	19	8	17	土			支部	県民センター観察会「海」本番 干潮 13:05	チッタナポリP	(南川)
14	19	8	未定	平日			支部	みどり…交歓会-事前打合せ会	東海市内 13:30	(浅井一)
15	19	8	31	土			支部	自然観察指導員講習会(1日目)	美浜少年自然の家	榊原靖
16	19	9	1	日			支部	自然観察指導員講習会(2日目)	美浜少年自然の家	榊原靖
17	19	9	7	土			支部	9月役員会	未定 13:30	庶務
18	19	9	28	土			支部	みどり…交歓会-下見	東海市内 14:00	(浅井一)
19	19	10	12	土			支部	みどり…交歓会-本番(→11/16)	東海市内 9:00	(浅井一)
20	19	10	26	土			支部	宿泊研修 1日目(県協議会の研修会)	未定	(牧野)
21	19	10	27	日			支部	宿泊研修 2日目	未定	(牧野)
22	19	11	9	土			支部	11月役委員会 ※年間予定(支部行事)、総会資料名一覧	未定 13:30	庶務
23	19	11	30	土			支部	12月①役員会 ※支部・ブロック行事調整、年報、補助金	未定 13:30	庶務
24	19	12	14	土			支部	12月②役員会 ※年間予定の調整、会計関係、総会次第	未定 13:30	庶務

## 持ち寄り会

・2019(H31)3月9日(土)(晴れ) 阿久比中央公民館 2階 視聴覚室(205号室)

・出席者:21名

浅井一、岩本、大矢夫妻、桑原、榊原正、榊原靖、鈴木汎、竹内秀、田中央、中井三、畠、平松裕、藤井辰、降幡、南川、森下夫妻、森田琢、吉川勉、吉房

(内、持ち寄り品の持参者:8名、飴-あめ-持ち寄りも当然含む)

・内容:

下記日程(写真の後に掲載)の通りに実施出来た。ただし、持ち寄り品持参者の持ち寄り品説明が大変盛況であったため、予備にしてあった発表項目は発表出来なかった。

今回の持ち寄り会のテーマは「木の実」であったが、もちろん、それ以外の何でもOKなので沢山の持ち寄り品が机上に並んだ。特に、木の実に関しては資料館or博物館から持ってきたのではないかと思えるほどのマニアの持参があつて、参加者は、ただただ、感心した次第。

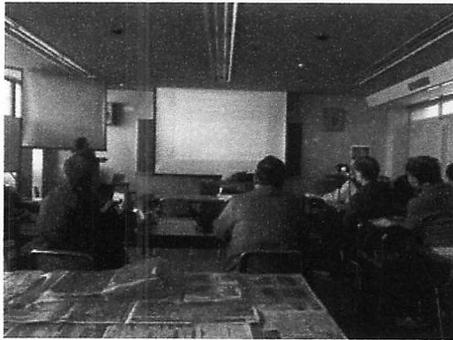
ハッサクやそれらで作った嗜好品、海外土産のお菓子などの差し入れもあり遠慮無くいただいた。

予定時刻より早く終わって参加者に喜んでもらおうと内心思っていたが、話題がどんどん出てきたせいか結局は最終予定時刻になってしまった。しかし、これは会が盛り上がっていた証だと解釈し、天気の良いさも手伝って結果オーライということで…(^\_^;) )

なお、今回は視聴覚室であるにもかかわらず暗幕が使えなかった。理由が判ったのでクレームはつけなかった。 [記:榊原正]

【当日の様子】

※ 写真クリック→ビッグサイズ



【左・中・右】個人研究発表の部…事前に依頼済みの発表者の発表

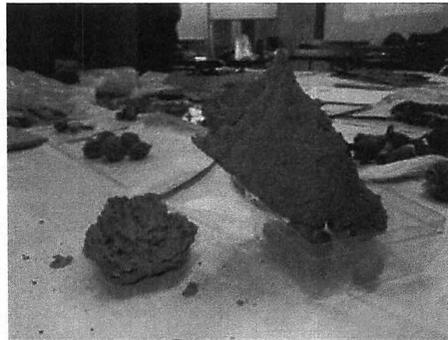
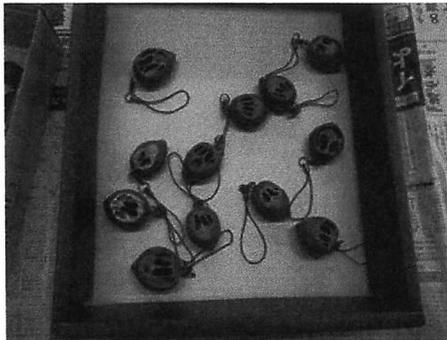




【左・中・右】持ち寄り談義の部…持ち寄り品の説明 ※説明役は持ってきた人



【左・中・右】持ち寄り品



【左】参加者へのお土産になった 【中】イエシロアリの蟻塚。素材：木くず。天井裏にあったもの  
【右】青い部分→タビビトノキ(旅人の木)の種子。青い皮をめくると黒い種子が出てくる(1粒ずつ)

---

【日程および内容】 ※ 当日、参加者へ配布用のもの

平成30年度 知多自然観察会 「持ち寄り会」

- ・実施日 平成31年3月9日(土) 9:30～(15:20頃)
- ・会場 阿久比中央公民館 2階 視聴覚室(205号室)  
(阿久比町役場の隣の建物) TEL 0569-48-1111
- 9:20～ 諸準備 \* 発表の準備や持ち寄り品(持参品)の展示など

◎ 代表挨拶

◎ 日程説明

- (1) 9:50～ 持ち寄り発表会-前半-
    - ・「知多半島の淡水エビ」(知多自然観察会調査テーマ) (榊原靖)
    - ・「大井・片名海岸の昔と今」 (大矢晃・美紀)南知多町大井・片名地区の昔の様子聞き取りと  
現状調査で分かった三河湾の移り変わり  
・「知多半島の三角点」 (鈴木汎)
  - (2) 11:20～(12:30) 休憩
    - ・昼食 \* 弁当持参でない人は、例年、近くの中華ランチを食べに行く
    - ・展示物の鑑賞
  - (3) ～ 13:30 持ち寄り品の説明会  
・持ち寄り品(持参品)の紹介や解説、試食、プレゼント 持参人本人  
・  
・<今年のテーマ> 種子(たね) ※ もちろん、何でもOK
  - (4) 13:30～ 発表会-後半-
    - ・「アラスカの自然-オーロラ-」 (竹内秀代)
    - ・「センサーカメラによる夜間の野生動物」 (南川陸夫)・予備 「神社の狛犬」 (榊原正躬)
  - (5) 15:00～ 質問や各種の情報交換
    - ・何でもOK
    - ・パソコン、スマホ、フェイスブックなど 質問があれば、知ってる人が応える
- ◎ 終了宣言 15:20～ 後片付け 解散

---

※ 持ち寄り発表会の発表は、原則、一人当たり20分以内です  
※ 進行が早まれば、上記日程の限りでなく、早めに終了します

---

なお、この会は役員会や総会関係印刷と同様に「出席手当」支給対象の活動です。  
以上です。よろしくお願いいたします。

【行事名】 知多支部 研修旅行 平谷村近辺の名勝などを訪ねて

● 知多自然観察会主催

【日時】 2019年5月25日(土)～26日(日)

【天気】 1日目 晴れ 2日目 晴れ

【担当】 降幡

【参加者】 指導員：10名

(浅井一、石川よし、桑原、鈴木汎、竹内秀、永田孝、藤井辰、降幡、吉川勉、吉房)

〈第一日〉コース：

大池公園テニスコート前 → 月瀬の大杉 → 大杉公園 → 茶白山高原(昼食) → パワースポット → 矢作川源流地点(根羽村) → アテビ平小鳥の家 → 砦山登山口(頂上を極めず) → 新野峠 → 平谷村せせらぎコテージけいしょう館

〈第二日目〉コース：

平谷村せせらぎコテージけいしょう館 → 蛇峠無線中継所 → 北・中央・南アルプスのパノラマ → 狼煙台跡 → 蛇峠山 → 信玄塚 → 池ヶ平の甲岩 → 小馬寺廃寺 → 大池公園テニスコート前

【内容】

当初「アライダシ自然観察教育林」が予定されましたが、大船神社手前で工事が行われており、6月末まで通行不能とのこと。

このため、急遽代わりに平谷村の蛇峠山などのルートとなりました。

◆月瀬の大杉 国の天然記念物である樹齢1800有余年、幹回り約14mの杉は見事なものでした。また、矢作川に架かる橋の先は大杉公園でした。

◆茶白山高原 ここで昼食、昼食後は少し登ってパワースポットへ、皆さんパワーをいただいたと年を忘れて(失礼?)はしゃいでいました。

◆根羽村の矢作川源流地点 ひんやりして気持ちいい水で、水辺には黄色の可憐な花が！

◆小鳥の森 鳥の声を聴きながらのトレッキング

◆砦山 担当者の記憶を頼りに、登山を始めるも道を間違え、探した結果本当の砦山登山口は荒れ果てていました。

◆平谷村せせらぎコテージけいしょう館 到着後には、香嵐渓手前のスーパーなどで買い込んだ大量の食料で夕食準備？しかし、2日間入浴無料の隣接の「ひまわりの湯」は入館午後7時までのことで、空腹の中急ぎ足で入浴へ。

入浴後のさっぱりした気持ちで、女性を中心に夕食準備、賑やかな夕食となり、午後11時過ぎまでワイワイガヤガヤ楽しい時間を過ごしました。

◆蛇峠山 国土交通省のレーダー雨量計や電波塔の保守のための舗装道路のほか散策道も道路沿道に整備されており、頂上まで1時間ほどの旅程ですが比較的登りやすく、散策道と道路沿いでそれぞれ植物相や樹相を観察できました。

◆信玄塚 天正3年(1575)の長篠の戦いの戦死者を埋葬した塚とされ、塚は2つ築かれ、その上には松を植えて、武田軍を弔った方を大塚、徳川・連合軍側の死者を弔った方が小塚と呼ばれたとも伝承されます。

◆池の平の亀甲岩 玄武岩の溶岩で、およそ1500万年から950万年前の新生代第三紀中期から後期に噴出したもので、くつきりとした柱状節理がみられ、地上の高さ2.4m、幅2.5mと重量感があり、柱状体の頭部は五角または六角形で、直径は15～20cm。

古くから根羽村から愛知県設楽町(旧津具村)にかけては火山の存在を暗示する地域として語り継がれ調査が何度も行われてきましたが、平成16年に行われた地質調査の結果、マグマが爆発噴火した場所が五箇所発見され、火山の中心火口は、直径900mの楕円形で、現在、根羽村保育園、小中学校、役場などがある村の中心部で、火山の噴出場所と噴出物が一体になって存在していることが分かり、古根羽火山と命名され、日本には他に例がありません。

根羽村は日本で唯一の火山地底の村といえるかもしれません。

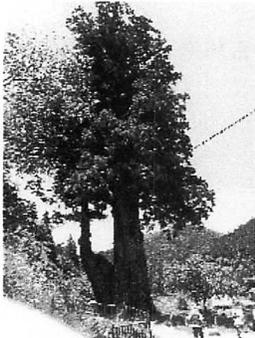
◆小馬寺廃寺 小馬寺は、白鳳時代(680頃)に建てられた歴史あるお寺で多いときには700～800人もの修行僧がいたとされます。また、馬を守る寺として「千匹馬」(千頭馬)の絵馬が寄進されていたようです。しかし、昭和32～33年頃から山里に自動車産業の影響もあって無住職の寺となり、昭和40年代に矢作ダム建設による移住が寺の荒廃に拍車をかけることとなったようです。

【観察した動植物(観察順)】

コゴメウツギ、ツリバナ、ハナイカワ、シロモジ、ヒヨドリ、コジュケイ、チャルメルソウ、テンナンショウ、ミヤマカタバミ、ナナフシ、ウスバシロチョウ、チゴユリ、スズラン、ツチハンショウ、ホウノキ、サルナシ、カマブドウ、ギジョラン、フジバカマ、タチイヌノフグリ、ユリカマキリ、ツリガネコケ、ムネアカオオアリ、ツルアジサイ、タゴガエル、マンネングサ、チドリ、サルマキ、クマザサ、カケス、オオミズアオイ、スミレモ、ミズナラ、ウリハダカエダ、サワラ、キンモンガ、ロクショウクサリ菌、カンアオイ、カラスヘビ、ギンリョウソウ、コアジサイ、イヌブナ、ブナ、ホオノキ、サワラ、リョウブ、クロベ、アウナロ、ナツツバキ、ヒノキ、シシガシラ、ヒメシャガ、タンナサワフタギ、セリバシオガマ、ミツバツツジ、ゼンマイ、カンムリタケ、バイケイソウ、シッポゴケ、カキカモジゴケ、落とし文、ウラジカモミ、ヒノキ、ウスギヨウラク、ウバユリ、ユリタテハ、ササユリ、ホトトギス、コアジサイ、ワラビ、フタリシズカ、ヤマツツジ、ベニボタル、ハクウンボク、ヤマボウシ、カケス、シノブ、ショウジョウバカマ、カラマツ、ヤナギ、マイズルソウ、タラ、ナナカマド、ズ

ミ、コメツガ、ハンゴウソウ、トラノオキシダウスバシロチョウ、ムラサキケマレ、ツゲ、クルマルグサ、ヤブデマリ、カマツカ（ウシゴロシ）

【参考写真】



【左】月瀬の大杉



【中】根羽村の矢作川源流地点



【右】クマにより削られたイヌブナ



【左】平谷村せせらぎコテージに隣接する信州平谷温泉 ひまわりの湯



【中】信玄塚近辺で観察に夢中？



【右】

【行事名】 知多支部 秋の宿泊研修旅行－滋賀県北部（山門水源の森など）の自然を訪ねて－ ● 知多自然観察会主催

【日時】 2019年10月26日（土）～27日（日）

【場所】 滋賀県北部

【天気】 曇り時々雨

【担当】 牧野

【参加者】 一般 大人1名

指導員：11名

（浅井一、浅井聡、岩本、桑原、竹内秀、永田孝、藤井

辰、降幡、牧野、南川、吉房）

【内容】

時々雨にうたれながらの観察旅行。そのため、野外での観察より屋内活動がいつもより多めであった。しかし、人の文化と自然とのかかわりなどを知ることができた有意義な研修旅行となる。

まず向かったのは、山門水源の森。はじめにスタッフの方から説明を受けその後、野外観察に出る。研修室前の湿地にはミミカキグサの花やアカハライモリを確認できた。散策コース途中で小雨となり短めのコースでまわる。スギヒラタケなどの数種類のキノコ、リンドウやセンブリの花が旬であった。サワガニやセンチュウガネなどの生き物にも遭遇。多くのスタッフの方がササユリなどの貴重な植物を保護しながら増やす活動をされていた。ここでも増えているシカなどの食害対策を行っているが、もともとシカがいたこの森で、どの程度保護するのが本来の自然なのか…など保護の在り方を模索中という話は興味深かった。

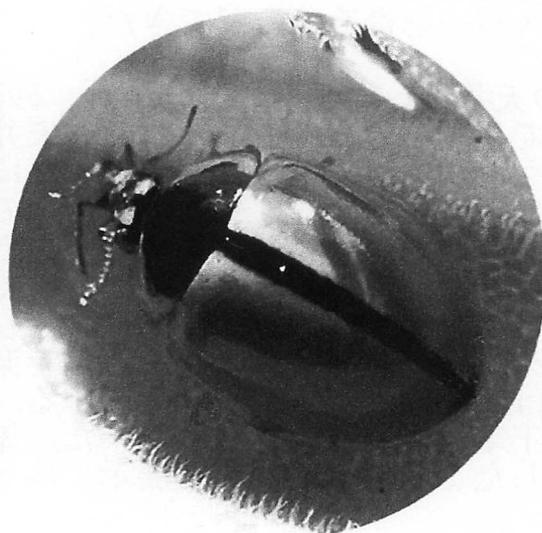
その後、土倉鉦山跡へ。ここは明治40年に発見され銅の採掘を行っていた場所。廃墟のような趣のある鉦山跡地にはカメラが趣味のような団体さんがいた。ここでは美しく色づいたノブドウ、ヌスビトハギの実などと出会い、鉦物ジャスパーを得ることができた。

2日目は、マキノ町の天井川へ向かう。天井川は、砂礫の堆積により川底が周囲より高くなってしまった川のこと。ここの天井川は、なんと川の下に百瀬川隧道というトンネルまでできてしまったほどの高さ。ここでは、天井川を登り水のない川を歩く。モンゴリナラの木を発見。その後、高月向源寺にある国宝十一面観音を鑑賞する。この観音様は、9世紀頃、病除けとしてつくられたもので、ヒノキの一刀彫であるという。頭の後ろまで見ることができ、観音様の後頭部には歯をむき出した像があった。その後野外でそれぞれの興味に合わせ自然を楽しむ。米原市泉神社で水を汲み、最後は伊吹山文化資料館を見学する。伊吹山の自然と人々の暮らしの関りを丁寧な展示で紹介されていた。屋内では伊吹山麓の上野で発見され移築したミミ塚古墳石室が展示、エビヅルの実が豊作でした。

[トップページへ](#)

阿久比ブロック観察会 2019(平成31, 令和1)年 1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保	担当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	19	5	12	日	募	協	阿久比	「竹林であそぼう」	洋菓子サリュー東 9:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
2	19	7	13	土	募	協	阿久比	「草木川の生き物観察」	正盛院P 9:30	平松裕(090-8071-3954)田中央
3	19	7	21	日	募	協	阿久比	「福山川の生き物は今年も元気かな？」	阿久比板山公民館 P 9:30	平松裕(090-8071-3954)浅井一
4	19	11	30	土	募	協	阿久比	「リース作りや竹の工作であそぼう」	洋菓子サリュー東 9:30	平松裕(090-8071-3954)牧野



【行事名】 「竹林で遊ぼう」

【日時】 2019年5月12日（日） 9：30～11：30

【場所】 洋菓子サリユエ東

【天気】 晴れ

【担当】 平松裕規、榊原正躬

【参加者】 一般 15名 大人 8名、子ども 7名

（指導員：安達典孝、榊原正躬、鈴木 汎、平松裕規）

【内容】

前日に、子ヤギが産まれて見学してもらい、おやつのわらび餅をヤギにあげる体験をして、わずかに残っていたサクランボの味見をしてから、竹林に入りました。

傷んだ竹を交換した遊具や藤蔓、ターザンロープ、正躬先生の用意したパチンコ等で遊びました。

竹林で遊び始めたころ毎回来てくれていた子が受験を終えて、高校生になってまた来てくれたのが嬉しかった。  
（記：平松裕）

【観察会の様子】



【左】はじめは、ヤギさんとふれあう  
遊び



【右】次は林内で、ターザンロー  
プ遊び



【左】シーソー。高くなるので、ちょっと、こわい  
行く



【右】竹林探検コースを  
行く

【観察会の様子-追加】

【行事名】 「草木川の生き物観察」

【日時】 2019年7月13日(日) 9:30~11:30

【場所】 正盛院P~草木川

【天気】 曇り

【担当】 平松裕、田中

【参加者】 一般 6名 大人 3名、子ども 3名

(指導員：浅井一、安達、大矢昇、門脇重、榊原正、榊原靖、田中央、平松裕、牧野、森田)

【内容】

水嵩が高く、6歳以下の子どもばかりだったので、例年入水している場所は止めて、少し下流から入ることにした。

タイリクバラタナゴは去年の1/4程度でスジエビとモクズガニが沢山捕れた。

靖氏に分かち合いの解説をしていただいたら、見分け方や特徴を幾つものことも知ることができた。

一番小さな子が水に入るのを嫌がり、正躬氏が花の指輪などを作って相手してくれて助かりました。お疲れ様です。

終わりと同時に雨が降り出して終了しました。

(記：平松裕)

【観察した生き物】

魚：ブルーギル、タイリクバラタナゴ、フナ、モツゴ、ドジョウ、チチブ、ナマズ、メダカ、ヨシノボリの仲間

昆虫：コオイムシ、ギンヤンマヤゴ、シオカラトンボヤゴ、マツモムシ、ガムシ

その他：チリメンカワニナ、カワニナ、ヌマガイ、タイワンシジミ、アメリカザリガニ、スジエビ、ミゾレスジエビ、モクズガニ、ニホンイシガメ、ヌマガエル、ナゴヤダルマガエル、アマガエル

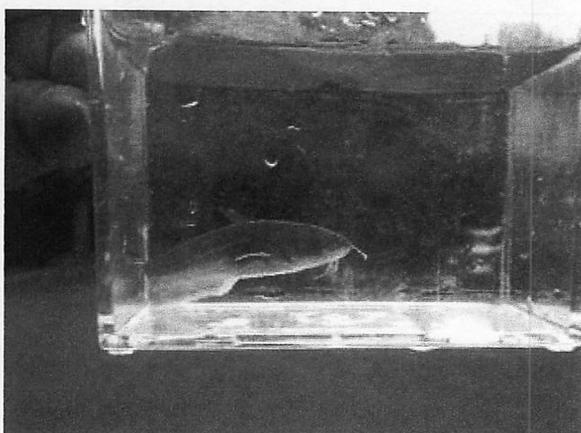
【観察会の様子】



【左】 始めのお話



【右】 土手にヤブカンゾウが自生する川で採集



【行事名】 「福山川の生き物は今年も元気かな？」

【日時】 2019年7月21日(日)  
【場所】 阿久比板山公民館～福山川  
【天気】 曇り  
【担当】 平松裕、浅井一  
【参加者】 一般 大人 3 名、子ども 3 名

(指導員：浅井一、大矢晃、田中央、平松裕、森下保、森下栄)

【内容】

今年は大雨が多かったせいか、深みが更に深く増えているように感じました。資源ごみ回収と重なり開始時間までは駐車場が混んでいました。指導員に採集の仕方を教えてもらいながら、子ども達も次第に捕まえられるようになっていきました。オイカワの群れはいたのに、捕まらなかったのは残念でした。大きなアカミミガメが捕まりましたが、分かち合いをしているうちに逃げて行ってしまいました。

【観察した生き物】

魚類：メダカ、ヒメダカ、ドジョウ、ブラックバス、タモロコ、ライギョ、フナ

昆虫：コオイムシ、マツモムシ、ヤンマヤゴ、ハグロトンボ

その他：マシジミ、カワニナ、ミシシippアカミミガメ、アメリカザリガニ、モクズガニ、イシガメ、ヌマエビ、ヌマガエル、ウシガエルオタマジャクシ、ナゴヤダルマガエル

【観察会の様子】



【左】 タモ網の使い方



【右】 つかまえた生きものでミニ水族館



【左】 つかまえた生きものの説明



【右】 噛(か) みつくから注意しよう

【行事名】 「リース作りや竹の工作であそぼう」

【日時】 2019年11月30日(土) 9:30~12:00

【場所】 洋菓子サリュー東

【天気】 晴れ

【担当】 平松裕、牧野

【参加者】 一般 大人 2名, 子ども 2名

(指導員: 門脇重、榊原正、鈴木、田中央、平松裕、牧野)

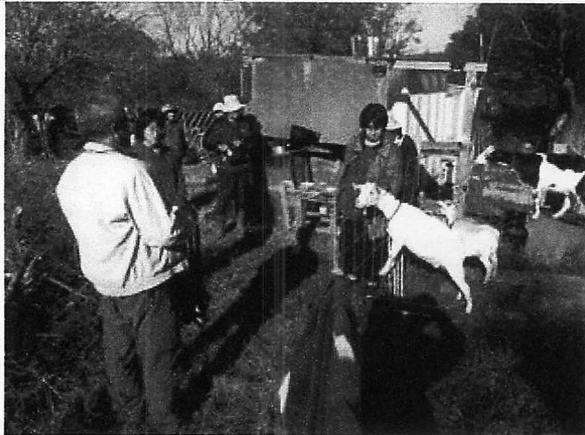
【内容】

小春日和の気持ちの良い日となりました。

よく来てくれていた常連さんが受験を終えて、高校生となり一人で参加してくれました。一般参加者、特に子どもの参加者が一人でちょっと寂しい感じでした。

竹林で人気のターザンロープは難しかったみたい。パチンコでの的あてなどで楽しんでいました。探検コースをみんなで歩いた後、リース作りをしました。小さい子には、工作よりヤギに餌やりが楽しかったみたいです。リースは素敵なものが出来上がりました。

【観察会の様子】



【左】 始めの挨拶とお話



【右】 ヤギさんはクワの葉が大好き



【左】 始めはツルで“輪”を作る

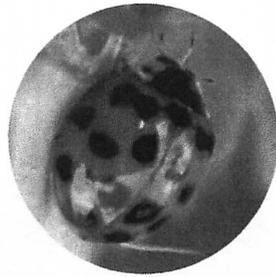


【右】 葉っぱ木の実を“輪”に付けて完成

【観察会の様子-追加】

大府ブロッコ観察会 2019(平成31, 令和1)年 1月～12月

No	年月日	曜日	種保	担当	「ラリー」印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	19 1	13 日	託	府	大●「⑨冬に出会える鳥たち」●セトナ	セトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
2	19 2	17 日	託	府	大●「⑩朽木に集まる虫たち」●セトナ	セトナ 9:30	門脇重(0562-46-6807)浅井一
3	19 3	17 日	託	府	大●「⑪春に出会える鳥たち」●セトナ	セトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
4	19 4	14 日	託	府	大●「セトナ森研①植物おもしろ探検隊」●セトナ	セトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
5	19 5	12 日	託	府	大●「春のいきものをさがそう」●大府市環境課	大府市役所 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
6	19 5	19 日	託	府	大●「虫・花・樹をさがそう①」●あいち健康の森公園	務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
7	19 6	23 日	託	府	大●「セトナ森研②きのこ探検隊」●セトナ	セトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
8	19 7	7 日	託	府	大●「虫・花・樹をさがそう②」●あいち健康の森公園	務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
9	19 7	12 金	託	府	大●「セトナ森研③灯火に集まる虫たち」●セトナ	セトナ 19:30	水野利(052-323-3620)村瀬
10	19 7	21 日	託	府	大●「夏のいきものをさがそう」●大府市環境課	務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
11	19 9	14 土	託	府	大●「セトナ森研④秋の鳴く虫さがし」●セトナ	セトナ 14:30	吉川洋(052-381-4426)福岡
12	19 9	22 日	託	府	大●「秋のいきものをさがそう」●みどり公園管理事務	所 9:30	村瀬(0562-46-1974)福岡
13	19 10	6 日	託	府	大●「セトナ森研⑤どんぶり探検隊」●セトナ	セトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
14	19 10	13 日	託	府	大●「虫・花・樹をさがそう③」●あいち健康の森公園	務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
15	19 11	3 日	託	府	大●「セトナフェスタ2019-セトナ森研⑥」●セトナ	セトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
16	19 12	8 日	託	府	大●「セトナ森研⑦小枝で作ろうリース」●セトナ	セトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋



【行事名】 虫・花・樹をさがそう① 主催 あいち健康の森公園

【日時】 2019年5月26日(日) 09:30~11:40

【場所】 集合:健康の森公園管理事務所

【天気】 晴れ

【担当】 村瀬、今西

【参加者】 一般17名(大人6名、子供11名)、管理事務所(3名)  
(指導員5名:今西、門脇重、福岡、村瀬、森田)

【内容】

事務所会議室で受付と注意事項の説明、一般参加者は全て市外からのご家族でした。昼前には30度近くなる夏日でしたが子どもたちはとても元気でした。葦原や林間からオオヨシキリの鳴き声がいつも聞こえていました。湿地近くの草原ではモンシロチョウ、キチョウ、シオカラトンボが飛び交い、テントウムシも沢山いました。子どもたちが歓声をあげ、夢中になってタモを振り回し、暫くその場から離れませんでした。予定の巡回コースをやや時間遅れながら進み、ブナ科の木々、ハルニラの虫瘤、ツクバネの花と果実など大人も楽しめる話題を紹介しながら事務所へ戻りました。最後に今日観察できた生きものについておさらいし、観察会を終えました。

(記・森田)

【観察した生き物】

◎植物

トクサ、イグサ、ツボミオオバコ、カタバミ、シロツメクサ、ニワゼキショウ、セッカニワゼキショウ、キショウブ

クスノキ、ハゼノキ、ハルニレ、コナラ、クヌギ、ツクバネ、ケシヨウヤナギ

◎動物(昆虫類)

モンシロチョウ、キチョウ、ベニシジミ、ナミアゲハ、ツマグロヒョウモン、ショウリョウバッタ、ヒメコオロギ、ヒシバッタ、キリギリスの仲間、カマキリ、テントウムシ、ユミアシゴミムシダマシ

シオカラトンボ、コシアキトンボ、セイヨウミツバチ

◎動物(鳥類、その他)

オオヨシキリ、ウシガエル(鳴き声)

【観察会の様子】



【左】 オオヨシキリの鳴き声を聞こう



【右】 ツクバネの花と果実のお話

【行事名】 虫・花・樹をさがそう② 主催 あいち健康の森公園

【日時】 2019年7月7日(日) 09:30~11:45  
【場所】 集合:健康の森公園管理事務所 9:30  
【天気】 曇り後晴れ  
【担当】 村瀬、今西  
【参加者】 一般16名(大人8名、子供8名)

(指導員5名:今西、門脇重、福岡、村瀬、森田)

【内容】 早朝の雨は止み、蒸し暑さが残る観察会になりました。予約申込み20名でしたが16名が参加しました。多くが名古屋市からの参加者です。春の同観察会①と同じコースを季節の変わり目を感じながら巡りました。指導員にとっては手慣れたコースでしたが、昆虫など虫類30余種、花・樹・茸など20余種を観察し話題は尽きませんでした。

参加者に人気はノコギリクワガタ、コクワガタ、ゴマダラカミキリ等の甲虫類、どこでも舞っているシジミチョウの仲間たちでした。観察会は予定をやや過ぎましたが事故無く終わりました。

管理事務所へ戻り、捕ったり観たりした昆虫類のお復習いをしました。最後に生きものの大切さを伝え、多くをリリースして終わりました。

(記・森田)

【観察した生き物】

◎植物

クスノキ、タブノキ、ハゼノキ、コナラ、アベマキ、クヌギ、ハルニラ、ヤナギ、ツバキ(結実)、ナンキンハゼ(開花)、ガマズミ(結実)、キンシバイ(開花)、ノウゼンカズラ(開花)

ネジバナ(開花)、ヒメジョオン(開花)、トクサ

◎動物

コカマキリ、クサキリ、ショウリョウバッタ、ヒナバッタ、エンマコオロギ、コシアキトンボ、オオシオカラトンボ、シオカラトンボ(死骸)、ナミテントウ、シロテンハナムグリ、アオドウガネ、コクワガタ、ノコギリクワガタ、ゴマダラカミキリ、クロウリハムシ、

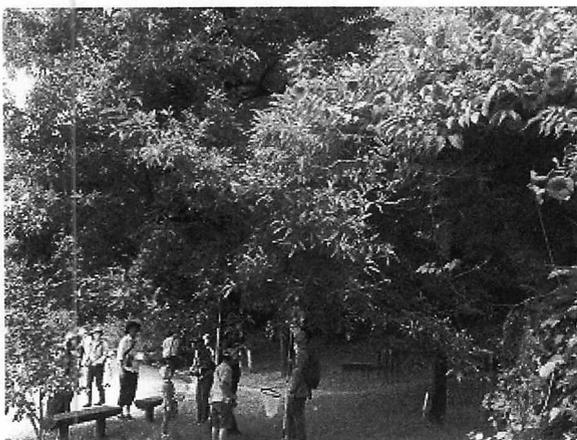
キチョウ、モンシロチョウ、ヤマトシジミ、ツバメシジミ、アカシジミ、ヒメアカタテハ、ナガサキアゲハ、シオヤアブ、ハグロハバチ(幼虫)、モリチャバネゴキブリ、クマゼミ(抜け殻)、キマダラカメムシ(卵、一齢幼虫)、カゲロウの仲間、ハサミムシ、蚊の仲間

ナミマイマイ、ナメクジ、ミミズ、ハツリグモ、ゲシゲジ、オカダンゴムシ

◎その他

キツネノエフデ、シバフタケ

【観察会の様子】



【左】 ノウゼンカズラ咲く



【右】 ハゼノキのお話

【行事名】 夏のいきものをさがそう 主催 大府市環境課

【日時】 2019年7月21日(日) 09:30~11:30

【場所】 集合:あいち健康の森公園 管理事務所前

【天気】 曇り

【担当】 村瀬、今西

【参加者】 一般35名(大人15名、子供20名)、市役所職員 2名、ボーイスカウトリーダー5名

(指導員5名:今西、門脇重、福岡、村瀬、森田)

【内容】 終日、蒸し暑い観察会になりました。主催者発表では参加者の殆どがボーイスカウト傘下の親子でした。今回はいつもの湿地、コナラ街路樹林を通過して薬草園まで足を伸ばした観察コースです。

散策路のあちこちでショウリョウバッタ(若齢)が飛び交い、子ども達を足止めしました。ヤナギの枝先ではしばしばゴマダラカミキリムシが見つかりました。コナラ街路樹林では沢山のカナブンが樹液を求めて飛来していました。最後に「薬草園」の会議室で分かち合いをした結果、道すがら観察出来た夏の生きものは30余種にもなりました。子どもたちが採取した生きものはその命のひ弱さを伝え多くをリリースしてもらいました。

(記・森田)

【観察した生き物】

◎植物

プラタナス(結実)、ツバキ(結実)、アケビ(結実)、ケショウヤナギ、キキョウ(園芸)、ナデシコ(園芸)、オミナエシ(園芸)

◎動物

クマゼミ、アブラゼミ、ショウリョウバッタ、ヒシバッタ、クルマバッタモドキ、マダラバッタ、キリギリス、クビキリギリス、クサキリ、ハラビロカマキリ、チョウセンカマキリ、エンマコオロギ、ギンヤンマ、オオシオカラトンボ、シオカラトンボ、アジアイトトンボ、アオスジアゲハ、ナミアゲハ、キアゲハ、ツバメシジミ、コガタスズメバチ、カリウドバチ、シオヤアブ、ツチバチ、ヒトスジシマカ、コクワガタ、アオドウガネ、カナブン、ゴマダラカミキリ、ウスバカミキリ、キマワリ、ウバタマコメツキ、ナナホシテントウムシ

◎その他

オカダンゴムシ

【観察会の様子】



【左】 セミ殻の雌雄の見分け方



【右】 ショウリョウバッタが沢山捕れました

【行事名】 「秋の鳴く虫さがし」

【日時】 2019年9月14日(土) 14:30-16:30

【場所】 大府市 セレトナ

【天気】 晴れ

【担当】 吉川洋、福岡

【参加者】 一般：15名

(指導員：竹内秀、田中央、吉川洋、)

【内容】

午後からの開催で、秋の鳴く虫を聞く会が行われた。9月になっても台風の影響で35度を超える日があり、セミたちの鳴く中での秋の鳴く虫をさがす会となった。

はじめは、部屋の中で危険なもの、そしてCDで泣く虫の鳴き声の確認をしたあと、公園へと出発。ハイイロチョッキリによってどんぐりが枝ごと落とされているものや、スズムシの鳴く声、イヌビワを観察しながら目的の草はらに到着。

バッタやイナゴ、コオロギ類、カエルやカナヘビに親子でわいわい言いながら、たもを振りまわした。部屋に戻って確認した後は野に放す姿もあった。名古屋市からの参加者も何人もあった。

【観察した生き物】

・マイマイカブリ、スズムシ(声)、エンマコオロギ、ハラオカメコオロギ、ショウリョウバッタ、イナゴ類、ナガサキアゲハ、ウスバキトンボ、アオマツムシ、ジョロウグモ、コガネグモ、  
・ヌマガエル、カナヘビ、

【観察会の様子】



【左】 さあ出発



【右】 草原にはたくさん虫がいるね



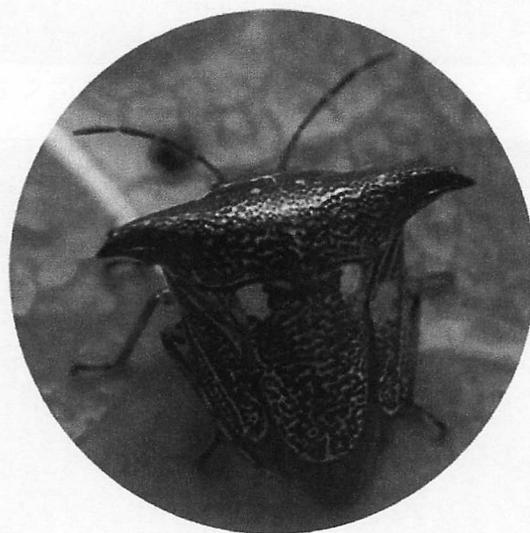
【左】 バッタとった！



【右】 カエルゲットだ

武豊ブロック観察会 2019(平成31, 令和1)年 1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保	担当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	19	1	20	日	募	協	武豊	「冬の風物・海辺に来た鳥たちを見よう」	河和口駅前の海岸 9:30	古川(0569-73-6078) 伊藤伸
2	19	4	7	日	募	協	武豊	「春の息吹に触れよう」	別曾池公園P 9:30	畑中(080-1631-0413)古川
3	19	5	19	日	募	協	武豊	「初夏の野草や花、虫たちに会おう」	耆町田湿地P 9:30	伊藤伸(0569-73-5059) 嶋
4	19	6	15	土	募	協	武豊	「自然のホタルに会おう」	市原農村広場P 19:00	嶋(0569-73-3518)畑中
5	19	7	7	日	募	協	武豊	「ジャブジャブと新川の生きものすくい」	福寿園の西800m新川 沿い 9:30	嶋(0569-73-3518)榊原 正
6	19	9	15	日	募	協	武豊	「秋の気配を感じよう」	別曾池公園駐車場 9:30	伊藤伸(0569-73-5059) 畑中
7	19	10	20	日	募	協	武豊	「ツルや枝・ドングリ等で 工作しよう」	武豊自然公園P 9:30	畑中(080-1631-0413)伊 藤伸
8	19	11	17	日	募	協	武豊	「にぎやかな秋の鳥たち を見よう」	中山保育園P 9:30	古川(0569-73-6078)清 水



【行事名】春の息吹に触れよう（草・花・虫）

【日時】2019（H31）年 4月 7日（日）9:30～11:30

【場所】武豊別曾池公園周辺

【天気】晴れ

【担当】畑中、古川

【参加者】一般 7名（大人4、小3）

指導員：浅井一、石川よし子、石川由、伊藤伸、鈴木汎、  
畠、畑中、古川、（畑中 記）

【内容】

今年度最初の観察会。一般参加者はお父さんと兄弟の親子、お母さんと女の子の親子、それに久しぶりの参加となる女性1名、指導員8名を加えて総勢15名。

桜が見ごろを迎え、木々の新芽も一斉にふきだして、足元の草花も柔らかくも葉や花をピンと力強く伸ばしていて、とっても春らしい中の観察会でした。

田の畔では春の七草のセリ、ナズナ（ぺんぺんぐさ）、ゴギョウ（ハハコグサ）、ハコベラ、ホトケノザ（コオニタビラコ）が揃い、用水路ではドジョウ、ザリガニ、ヨシノボリ、オタマジャクシが見つかり、子供も大人も大喜びでした。

ウグイスの声や、シュレーゲルアマガエルの鳴き声が聞こえる中、飛び始めた昆虫の話や自然の中でいろいろな不思議を楽しむコツなどの話を聞きながらの、楽しい観察会ができました。



[トップページへ](#)

【行事名】初夏の野草や花、虫たちに会おう

【日時】2019 (R1) 年 5月19日(日) 9:30~11:30

【場所】壱町田湿地周辺

【天気】晴れ

【担当】伊藤伸、畠

【参加者】一般 9名 (大人7、小2)

指導員：伊藤伸、清水佐、畠、畑中、牧野 (伊藤伸記)

【内容】

初夏を感じる爽やかな風が吹き、何に出会えるか期待しながら観察会をスタートしました。

参加した子供たちは、行く先々でダンゴムシやバッタのこどもを捕らえたり、コバンソウやチガヤを袋に詰めたり、桜の木の下では黒く色づいたサクランボを口にして味を確かめたりしました。

また観察会の中盤で出会ったイボタガの幼虫を手に乗せて、その感触を楽しみました。いつごろ成虫になって出てくるのかなー。ちょっぴり期待が膨らみました。

【観察できたもの】

コバンソウ、ヒメコバンソウ、ニワゼキショウ、ヤブジラミ、チガヤ、ギシギシ、コメツブツメクサ、テイカカズラ、スイカズラ、ほか

オカダンゴムシ、ナナホシテントウ、クマバチ、ヒメアカタテハ、ゴマダラチョウ、コアオハナムグリ、シロテンハナムグリ、ハルゼミ (鳴き声)、イボタガ (幼虫)、バッタ類のこども ほか



【行事名】 自然のホタルに会おう

【日時】 2019（令和元）年 6月15日（土）18:30～20:30

【場所】 武豊町市原農村広場周辺

【天気】 曇り時々雨

【担当】 島、畑中

【参加者】 一般 17名（大人8、小人9）

指導員：

【内容】

雨が強く降ったりやんだり、午後からは強い風が加わって開催が危ぶまれた。しかし集合の18時半には車4台が参集。さらに車が増え、雨さえ止んでいれば実施だと決めて受付を開始した。丁度開始時刻に不思議にも雨がやみ、風も収まって蒸し暑くなり、ホタル観察に絶好の状態となりました。

歩いて10分ほど、ホタルのエリヤにやってくるとどうでしょう。道の両側でピカピカ。かつてないほど多くのホタルが光っていました。

「それそこ、ここっ」と大人も子供も大はしゃぎ。手のひらにのせて、正にその手の上で光っている小さな虫。その神秘さ、不思議さを語る子、フワフワと飛んだホタルを追っかける子、大人は懐かしさを、子供たちは珍しさと神秘さを十分に楽しんだ様子でした。 以上



[トップページへ](#)

【行事名】 ジャブジャブと新川のいきものすくい

【日時】 2019 (令和元) 年 7月 7日(日) 9:30~11:30

【場所】 武豊「新川の中流部」

【天気】 曇り

【担当】 榊原正 晶

【参加者】 一般 64名 (大人26、小人3)

指導員：浅井一、鈴木汎、田中央、 晶

【内容】

曇り空、川の水量も若干多いという程度で問題はなさそう。いつもは路駐であるが、今年はずぐ近くに駐車場が用意できた。

中電が市原区から駐車場として借用して整備した所をお借りできたのである。続々と集まってきた車はおよそ20台で、安心して駐車できた。

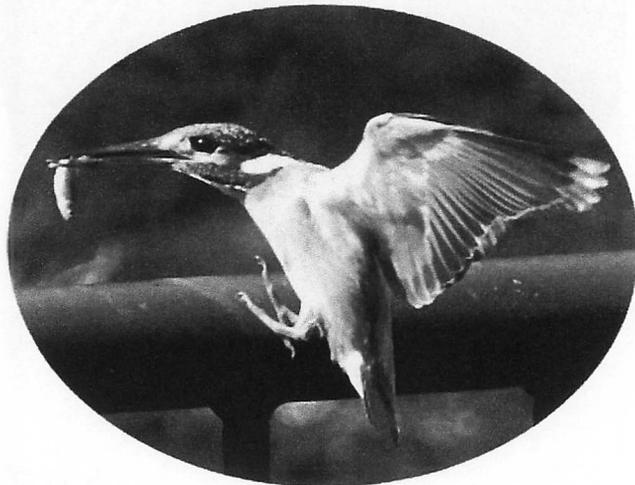
今日の内容・予定時間・注意事項を話し、いざ入川。川に入ること自体初めてという人が多く、まして生き物をすくったことなどなく初体験。おっかなびっくりで「ワ、キャー」言いながら、バシャバシャとあちこちをすくって楽しみました。

川からあがって獲れたものを水槽に入れて展示。そして一種類ずつ小容器に入れて解説。「こんなにたくさんの種類がいたなんて」と驚かれました。この状態がずっと長く続いてほしいな、武豊新川。

以上

【観察できた生き物】

ヌマムツ、スミウキゴリ、カダヤシ、ブルーギル、マドジョウ、ヤリタナゴ、タモロコ、ヌマエビ、コオイムシ、ガムシ、マツモムシ、ゲンゴロウ、アメリカザリガニ、モクズガニ、マツカサガイ、カワニナ、マシジミ、ヌマガエル、ツチガエル、ハグロトンボ (ヤゴと成虫) オオフサモ、ミゾソバ ほか



【行事名】 秋の気配を感じよう

【日時】 2019 (令和元) 年 9月 15日(日) 9:30~11:30

【場所】 別曾池公園周辺

【天気】 晴れ

【担当】 伊藤伸、畑中

【参加者】 一般 9名 (大人5、小人4)

指導員：伊藤伸、榊原正、畠、畑中、古川、牧野、森田

【内容】

とても暑い日でしたが、ウスバキトンボが飛び交い、子どもたちはそれを捕まえようと走り回っていました。観察会が進むうちに色々な生き物を発見し、彼らのケースの中にはカマキリやツチイナゴ、クズの花などでいっぱいになっていました。

ガマの穂をフランクフルトソーセージに見立てたり、クズの花の甘い香りを「ジュースみたい」と楽しんだり、子供たちの「暑さに負けない元気な様子」に、私たち大人はそのパワーをもらい、力が湧いてくるのを感じました。

そしてもう一つ力が湧いてくるものがありました。それは昨年より少し数が増えたように思われるナンバンギセルです。群生とはいかないかもしれませんが、これほどの数を見たことがなかったので、正直、感動しました。(記：伊藤伸)

【観察できたもの】

＜実＞カクレミノ、スズメウリ、アレチヌスビトハギ、ガマ、ヤマノイモ 他

＜花＞ママコノシリヌグイ、クズ、ヒメムカシヨモギ、ノアズキ、ヒヨドリバナ、

クサギ、マルバルコウ、センニンソウ、イタドリ、ナンバンギセル、タカサブロウ、

クサギ、メドハギ、マメアサガオ、ダンドボロギク 他

＜虫＞カマキリ、ウスバキトンボ、ルリハムシ、アメリカシロヒトリ、シロテンハナムグリ、ハキリバチ、スズメバチ、ナガサキアゲハ 他

以上

【観察会の様子】



【左】 あいさつ & お話



【右】 この葉っぱ、さわってみる…ママコノシリヌグイ



【左】 こんな清水のくぼみにハゼがいた



【右】 ナンバンギセル群生

【観察会の様子-追加】

【行事名】 ツルや枝・ドングリ等で工作しよう

【日時】 2019（令和元）年10月20日（日） 9:30～11:30

【場所】 武豊町自然公園駐車場

【天気】 晴れ

【担当】 畑中、伊藤伸

【参加者】 一般 9名（大人5、小人4）

指導員：伊藤伸、榊原正、畠、畑中（記）

【内容】

前日が激しい雨だったので、公園内の様子が少し心配でしたが、特段変わったこともなく、ツルやドングリ、ツバキの実、葉っぱなど工作に使えるモノを集めることができました。

前もって用意をしていた木の実や木の枝を合わせ、リースやオブジェなど多様な作品が出来上がりました。

最後に全員集合して作品の発表会を行いました。子供たちはテーマをもって作ったのか、例えば「宇宙のゆりかご」といった作品名が簡単に口をついて出てきて、それが作品とすべてマッチするので感心させられました。

以上

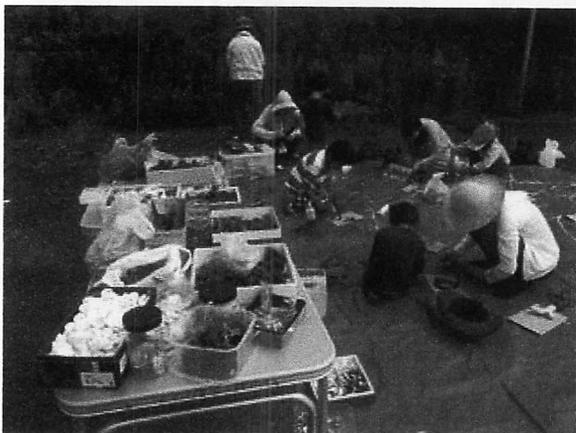
【観察会の様子】



【左】受付場所に“材料”がいっぱい



【右】参加者も自分好みの材料探し



【左】ブルーシートの上で工作



【右】各自、自分の作品を説明。鑑賞会

【観察会の様子-追加】

【行事名】 にぎやかな秋の鳥たちを見よう

【日時】 2019（令和元）年11月 17日（日） 9:30～11:40

【場所】 中山保育園周辺

【天気】 晴れ

【担当】 古川、清水

【参加者】 一般 2名（大人2、小人0）

指導員：榊原正、清水、古川、森下栄、森下保、森田

【内容】

良く晴れた穏やかな日でした。例年のこの観察地域が、知多中央道の新インターチェンジ新設工事のため畑や林が掘り返されて地面がむき出しになっていたり、池は池で水位が下げられ、水面が従来の十分の一くらいになっていたり、様子が大きく変わっていました。

しかし池には以前より多くの鳥が狭くなった池面で羽を休め、空ではミサゴ、カワウの飛翔が見られ、残った雑木林ではさえずりの声とともに多くの鳥たちがいつもの姿を見せてくれました。

また道中、秋の木の実の美しさに見入ったり、ガガイモの冠毛を付けた種を観察したり、ノコンギクとヨメナの種のつき方の説明を聞いたり、秋の自然に一杯触れた観察会でした。

【観察できた鳥】

カルガモ、ヒドリガモ、コガモ、カワウ、カワセミ、ツグミ、モズ、ハシボソガラス、コサギ、アオサギ、タヒバリ、ヒバリ、セグロセキレイ、ハクセキレイ、ジョウビタキ、メジロ、ヒヨドリ、アオジ、スズメ、キジバト、ミサゴ ほか以上

【観察会の様子】



【左】 始めの挨拶とお話



【右】 一つ目の池での観察



【左】 ジョウビタキの♀を観察



【右】 二つ目の池での観察

知多ブロック観察会 2019(平成31, 令和1)年 1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保	担当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	19	1	19	土	受募		知多	「佐布里池に集まる野鳥を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	古川(0569-73-6078)細川
2	19	1	26	土	受募		知多	「朽木の中の生き物を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	藤井辰(0562-34-3077)南川
3	19	2	9	土	受託		知多	「冬の野鳥の観察しよう」●こども未来館	こども未来館 9:30	神野(0562-34-3964)吉房
4	19	4	27	土	受託		知多	「春の野草と虫さん」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉房(0562-55-9025)吉川勉
5	19	5	11	土	受託		知多	「企業緑地の生きもの」●知多市環境政策課	出光興産 愛知製油所 9:30	南川(0569-42-5382)吉房
6	19	5	18	土	受募		知多	「信濃川の生きものを観察しよう」●梅の館 ※中止	知多市梅の館 9:30	浅井一(080-6960-6053)野村
7	19	6	8	土	受託		知多	「佐布里のホタルの観察をしよう」●こども未来館	水の生活館P場 19:00	吉房(0562-55-9025)南川
8	19	6	15	土	受託		知多	「海辺の生きもの観察」●こども未来館 ※中止	新舞子海岸 郷戸広場 P 9:30	吉川勉(0569-43-1501)榊原正
9	19	7	20	土	受募		知多	「佐布里の野鳥や昆虫を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	南川(0569-42-5382)藤井辰
10	19	7	21	日	受託		知多	「企業緑地の生きもの」●知多市環境政策課	JXTGエネルギー 知多製造所 9:30	吉川勉 (0569-43-1501)藤井辰
11	19	8	3	土	受託		知多	「企業緑地の生きもの」●知多市環境政策課	中電 知多火力発電所 9:30	野村(0562-55-4122)南川
12	19	9	7	土	受託		知多	「水田や水路の生きもの」●こども未来館	こども未来館 9:30	浅井一(080-6960-6053)吉川勉
13	19	9	8	日	受託		知多	「企業緑地の生きもの」●知多市環境政策課	LIXIL 知多事業所 9:30	藤井辰(0562-34-3077)吉房
14	19	10	5	土	受託		知多	「キノコに会いに行こう」●こども未来館	知多市旭公園北P場 9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
15	19	11	30	土	募協		知多	「日長神社の紅葉を愛でよう」	産業道路日長インター東広場P 9:30	細川(0569-43-3670)吉川勉



【行事名】 「佐布里池に集まる野鳥を観察しよう」 ● 梅の館 主催

【日時】 平成31年1月19日(土) 午前9時30分～11時45分

【場所】 知多市梅の館・佐布里池周辺

【天気】 晴

【担当】 古川、細川

【参加者】 一般 大人2人

指導員：門脇、鈴木、森下、森田、藤井、降幡、古川、細川、吉

川、吉房

【内容】

早咲きの梅が開花し始めた春の佐布里池周辺で野鳥の観察を行いました。天候に恵まれ、暖かく、多くの野鳥をゆっくりと観察することができました。佐布里池の耐震工事のため、水が抜かれていて、珍しい湖底を見ることができました。

【観察した野鳥】

ヒヨドリ、ツグミ、ムクドリ、ハクセキレイ、アオサギ、カルガモ、マガモ、オオバン、メジロ、ミサゴ、ハシブトガラス、ノスリ、トビ、オオタカ、カワラヒワ、カワウ、ジョウビタキ、キンクロハジロ、ホオジロ、ミコアイサ、ダイサギ、オナガガモ、カンムリカイツブリ、セグロセキレイ、キジバト、アオジ、シメ、シロハラ、ウグイス、コゲラ (30種)

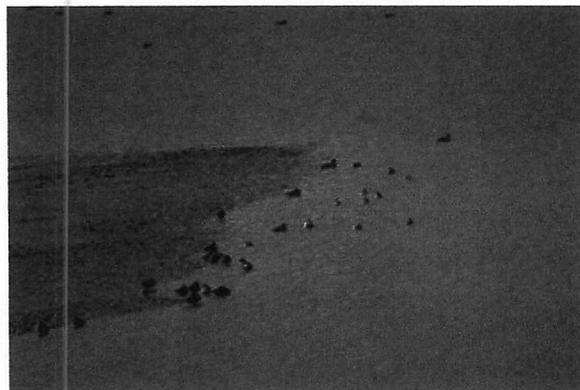
【観察会の様子】



【左】 観察の様子



【右】 湖底の見える佐布里池



【左】 水辺の鳥たち



【右】 オオバン

【行事名】 「冬に長旅してきた身近な野鳥を観察しよう」 ●こども未来館 主催

【日時】 2019年2月09日(土) 9:30 ~ 11:30

【場所】 こども未来館周り

【天気】 曇

【担当】 神野、吉房

【参加者】 一般 大人9名、子ども7名 こども未来館 2名

指導員：石川よ、神野、田中央、野村、古川、森田、吉川勉、吉房

#### 【内容】

観測史上最強クラスの寒波襲来。北海道では-30℃以下の所が何カ所もあったというニュースに、覚悟して参加した。

野鳥を探しながら歩き出せば暖かくなり安心した。野生とは厳しいもので、こんな日でも餌を求めて、上空に電線に屋根に田んぼにと野鳥がいる。

ツグミを見つけ「シベリアや中国北部から飛来(南下)してきて、中部山岳で東西に分かれてここへやって来た。昔は焼き鳥としてカスミ網で大量に捕っていたが、減少してしまい禁止された。」鳥の名前だけで無く鳥にまつわる神野さんの話に、皆熱心に耳を傾けていた。

馬池の水が干上がっていたが、泥の上に残る足跡から水鳥の様子を知ることができた。参加した皆さんは神野さんが用意したプリントに記録したり、セットした望遠鏡を覗いたりして、大人も小さな子まで楽しく観察することができた。上空では今年もトンビが気持ちよさそうに上昇気流に乗って飛んでいる姿はとてもうらやましかった。(記：吉房)

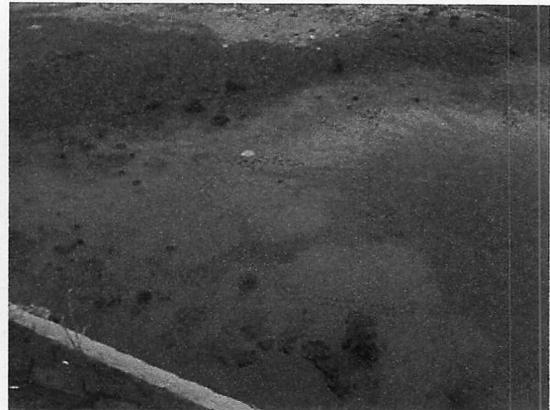
#### 【観察した野鳥】

キジバト、ムクドリ、モズ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ノスリ、ハクセキレイ、アオサギ、ドバト、カワセミ、ホシハジロ、カワウ、オオバン、キンクロハジロ、マガモ、トビ、

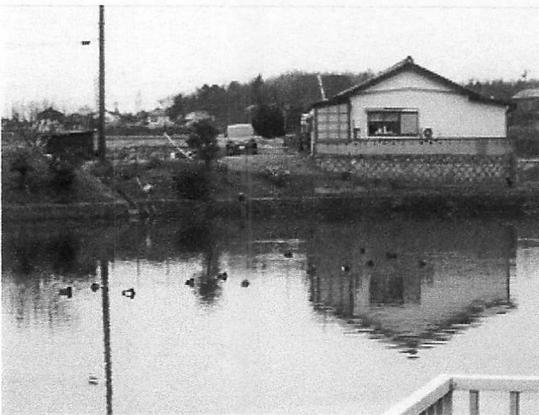
#### 【観察会の様子】



【左】カモの足跡見つけた！



【右】手前は亀の足跡だよ！



【左】多くの鳥がいたね！ヨカッター



【右】みんな観察に夢中

【行事名】 春の野草と虫さんに会いに行こう ● こども未来館 主催

【日時】 2019年4月27日（土）9：30～11：30

【場所】 知多市新舞子こども未来館周辺（未来館→馬池→稲荷神社→未来館）

【天気】 快晴

【担当】 吉房、吉川（勉）

【参加者】 44名 大人20人、こども24人 子供未来館職員2名

（指導員：吉房・森田（琢）・藤井（辰）・田中（央）・浅井

（一）・吉川（勉）

【内容】

知多市こども未来館主催の「自然体験クラブ『自然観察会』」の第1回「春の野草と虫の観察に会いに行こう」の自然観察会。

親子連れ44人（子供24人）参加とたくさんの親子連れにご参加いただきました。中にはお兄ちゃんを参加させるため乳幼児をおんぶしての母親も。ご参加ありがとうございます。

今年は、テントウムシがいつになく沸いていて、子供たちはテントウムシ、同幼虫・サナギの捕獲に夢中、テントウムシの生い立ちについても学習。

当日は体がもっていかれるような強風で、転倒する子や寒い！寒い！の連発で少し早めに切り上げ。ほかにカルガモ、マガモなどを確認。（記：吉川）

【観察した生き物】

\* 鳥 ドバト、スズメ、ハシブトガラス、ツバメ、マガモ、ヒヨドリ

\* 植物 マメナシ、ツバキ、イスノキ、サザンカ、クスノキ、ノムラモミジ、ヒサカキ、マサキ、ヤダケ、マンテマ、タンポポ、ヒメブタナ、オオジシバリ、ミント、マツバウンラン、ヒメキンギョソウ、コメツブツメクサ、シロツメクサ、ススキ、ノグシ、カモジグサ、チガヤ、カタバミ、オッタチカタバミ、クズ、ヨモギ、オオバコ、ヨシ、アイリス、ミツバアケビ、レンゲ、ショウブ、セリ

\* 昆虫 カメムシ、テントウムシ、テントウムシの幼虫、ベニシジミ、モンシロチョウ

\*その他 ミシシッピーアカミミガメ、モクズガニ、メダカ、ヌマガエル、アマガエル

【観察会の様子】



【上】最初のオリエンテーション



【左】早くもテントウムシ・カエル探しに集中！

【行事名】 「企業緑地の生き物」 ●知多市環境政策課主催

【日時】 2019年5月11日(土) 9:30 ~ 11:30

【場所】 出光興産愛知製油所

【天気】 晴

【担当】 南川、吉房

【参加者】 一般：大人 45名、子供 56名 市役所：阿知波、大澤  
指導員：鈴木、中井、野村、藤井辰、森田、南川、吉川勉、吉房、

### 【内容】

初めに講堂で総務課長の森下様より会社の概要についての説明、つづいて南川さんより観察の注意と観察会員の紹介、おわりに市役所の阿知波さんより諸注意があり観察会が始まった。100名を超える盛会。真夏日になるとの予報に、うれしいやら不安の混じった思いで出発。

芝生の所で虫取りをはじめ、子ども達は大喜びである。虫取り網で上手に捕まえる子、ナミホシテントウやバッタの幼虫を手で捕まえる子、親御さんも童心に返り皆歓声をあげて、昆虫を追いかけていた。カタツムリを自分の手で捕まえない女の子が、勇気を出して初めて虫籠に入れると「私が捕まえたかたつむり！！」と誇らしげに皆に見せていた。これをきっかけに他の虫も触ることができることでしょう。

緑地帯に入ると、「ひんやりして気持ちいい！！」と虫探しにまた夢中になったが、残念ながらカブトムシの幼虫を見つけることができなかった。親御さんは木々や草花を興味深く観察していた。芝生に出るとまた虫探し、目線が低いので様々な生き物を見つけていた。さなぎから成虫になったばかりの黄色いナミテントウを見つけた子は「初めて見た！！」と大喜び。私も初めて！別の子は2匹の大きなズアカムカデを見つけ、お父さんが殺さないで、側溝に逃がして下さり助かった。

参加者が多くごった返していたのに、「ゴールデンウイークより楽しかった」「こんなに楽しく虫取りができてうれしかった！！」と口々に言っているのを聞いてうれしかった。45万本もの樹木の森は生き物の宝庫となり素晴らしい。

(記：吉房)

### 【観察した生きもの】

#### ◎ 昆虫

ナミホシテントウ、タイワンクマバチ、キリギリス(幼虫)、アオスジアゲハ、モリチャバネゴキブリ、モンキチョウ、シロテンハナムグリ、ゾウムシ、アシナガバチ、ニホンミツバチ、ハナアブ、ベニシジミ、アゲハチョウ、

#### ◎ 植物

トベラ、シナサワグルミ、クスノキ、カクレミノ、ハクサンボク、ヤツデ、アカメガシワ、キズタ、イヌビワ、ホソバイヌビワ、シュロ、ホルトノキ、トウネズミモチ、ツバキ、ハマヒサカキ、シャリンバイ、イスノキ、クスノキ、セイヨウヒイラギ、ヤマモモ、テイカカズラ、メタセコイア、ニセアカシア、ハゼノキ、カイズカイブキ、トウカエデ、シロツメクサ、コメツブツメクサ、ギシギシ、スイバ、ドクダミ、シャガ、フキ、カラスノエンドウ、カスマグサ、スズメノエンドウ、シャガ、ヤブガラシ、ヤブニンジン、ヤブジラミ、オオバコ、ヒメジオン、ススキ、マツパウンラン、ヨモギ、ケキツネノボタン、キツネアザミ、ジシバリ、チヂミザサ、チガヤ、フラサバソウ、キュウリグサ、ワラビ、ベニシダ、

#### ◎ 鳥

ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ハクセキレイ、コゲラ、シジュウカラ、ヒバリ、ハシブトガラス、ムクドリ、ツバメ、ドバト、ケリ、

#### ◎ その他

ズアカムカデ、トカゲ、カタツムリ、

### 【観察会の様子】

【行事名】 「企業緑地の生き物観察会」 ●知多市環境政策課主催  
 【日時】 2019年8月3日(土) 9:30~11:00  
 【場所】 中電知多火力発電所  
 【天気】 晴れ  
 【担当】 野村・南川  
 【参加者】 57名 (大人32名・子供25名) 知多市関係者名4・中電知多火力関係者2名

指導員：野村・吉房・吉川(勉)・藤井辰・南川 以上5名

【内容】

2年ぶりでのこの地の観察会である。中電知多火力発電所の方からは環境対策の説明と主催者の知多市環境政策課からの注意事項があり、熱中症対策を充分にして、観察会に入る。2グループに分かれてビオトープ回りと森周辺の生き物、植物の観察に入る。セミ時雨の林の中ではクマゼミ鳴き、アブラゼミが木立に多く留まっていた。一部草原化されたところではトンボやチョウがいて飛び交い子供たちがタモで追っていたし、ビオトープではメダカが多く見られた。この暑さの中でも子供たちが楽しそうに元気で自然と向き合い、生き物と触れ合う姿が見られた観察会であった。

(ビオトープで見られた生き物) メダカ、アメンボ、ウシガエルのオタマジャクシ、飼育されていた緋鯉、スジエビ、アメリカザリガニ

(樹木) クスノキ、サクラ、サツキ、カエデ、ヤブツバキ、カクレミノ、ヤマモモ、グミ、シャリンバイ、トベラ、センダン、ヤマウルシ、イスノキ、アケビ、キョチクトウ、ネズミモチ、マサキ、アケビ、フジ、アラカシ、トウネズミモチ、フウノキ、アカメガシワ、ナンキンハゼ

(見聞きした鳥) ハシボソカラス・ハシブトカラス・ヒヨドリ・カワラヒワ・ムクドリ・スズメ、フジ

※ 巣箱が(10個位)5年前に設置されていたが、1個所に過去に使用された古い巣があった。

(昆虫、その他の生物) クマゼミ、アブラゼミ、ニイニイゼミ、アオスジアゲハ、シジミチョウ、シオカラトンボ、コシアキトンボ、コクワガタ、ヒラタクワガタ、キマワリ、スズメバチ、クロコマノチョウのイモムシ

【観察会の様子】

中電知多火力発電所の観察地の現状の説明



観察にでかけるぞー



【行事名】 「水田や水路の生きものを観察しよう」 主催 知多市こども未来館

【日時】 2019年9月7日(土) 9:20~11:45

【場所】 知多市 こども未来館 玄関ホール ⇒ 神田川水路

【天気】 晴れ

【担当】 浅井一、吉川勉

【参加者】 一般23名(大人12名、子供11名)、こども未来館3

指導員：浅井一、南川、吉川勉

【内容】

晴れ過ぎくらいの天気となり、朝から暑いです。

未来館からの挨拶、及び指導員から特に水路でのタモの扱い方や魚類の捕獲の仕方などについて説明後、いざ出発！

出発直後には、最初からスクミリンゴガイの卵塊の観察やヌマガエルの捕獲に子供たちは夢中、途中、シオカラトンボやウスバキトンボと必死に追いかけてこしながら水路に到着。

水路では、カニやアメリカザリガニ、さらにはウナギの捕獲に大喜び、みんな熱心に眺めたり触ったり、つかんだり、とても素敵な感性を持った子供たちばかりでした。

そして、未来館に戻って解散前にみんなで記念写真！（記：吉川）

【観察した生き物】

◎植物

セイバンモロコシ、ニラの花、スベリヒユ、アメリカミズキンバイ、トネリコ

◎動物

マハゼ、ゴクラクハゼ、ウキゴリ、アカテガニ、テナガエビ、スジエビ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、イナゴ、カダヤシ、ウナギ、スクミリンゴガイ、スクミリンゴガイの卵塊、シジミ、モクズガニ、ヌマガエル、アメリカザリガニ

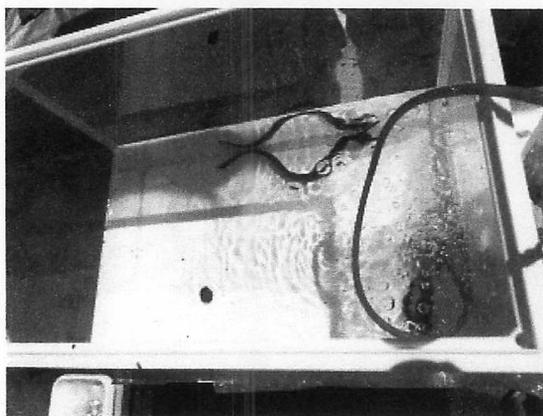
【観察会の様子】



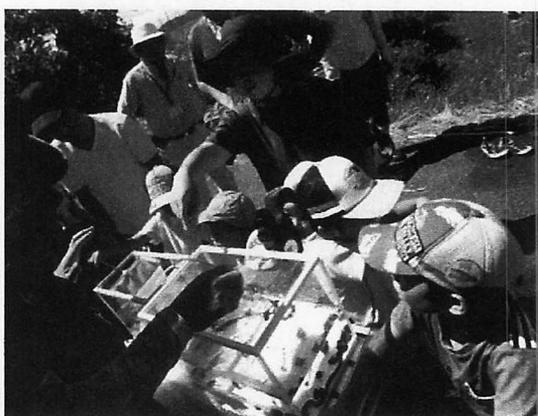
【左】 先ずは魚の取り方の説明



【右】 水路で夢中！



【左】 ウナギです！



【右】 サー！これから説明するよ

【行事名】 「企業緑地の生き物」 ●知多市環境政策課主催  
 【日時】 2019年9月8日(日) 9:30~11:30  
 【場所】 L I X I L 知多工場内の森  
 【天気】 晴れ  
 【担当】 藤井辰・吉房  
 【参加者】 21名(大人9名・子供12名) 知多市関係者3名・L I X I L 関係者2名  
 指導員：野村・藤井(辰)・南川・森田・吉川 勉 以上5名

【内容】

台風15号が余波の影響を心配されたが、猛暑にもならず、観察会日和になった。主催者知多市環境政策課からの挨拶、今回の観察地の(株) L I X I L 知多工場からは、工場の成り立ちと生産概要とビデオで紹介があり、その後、工場内の森へと観察に入る。森の入口で広がる芝生の広場では群がり飛び交うトンボやバッタをタモで追いかける子供たちの歓声が展開された。

今回は9月上旬であり、盗人ハギは花の盛りで、ひつつき虫の種の状態ではなく、安心して草むら林の中に入れた。

以前空き地で太陽光発電装置が設置されていて、林との空き地にハーブ系統の植物が植えられていて、水溜りの状態になっている所にはヌマガエルのオタマジャクシやハクセキレイの野鳥も見られた。林の中ではカナブン、オオカマキリ、ジョロウグモ、水溜りにヌマガエル、ヒヨドリ、カラスの鳴き声を聞き、芝生の広場でアキアカネ、シオカラトンボ、アオスジアゲハ等、各所で多くの生き物、植物が観察することができた。

記：南川陸夫

<見られた生き物>

ウラギンシジミ、シオカラトンボ、アキアカネネ、アオトンボ、イトトンボ、キチョウ、クロアゲハ、アゲハチョウ、アオスジアゲハ、アブラゼミの抜け殻、クマバチ、アシナガバチ、コウロギ、ショウリョウバッタ、クルマバッタモドキ、イナミテントウムシ、カナブン、コカマキリ、オオカマキリ、ハバヒロカマキリ、ヌマガエル、ヌマガエルオタマジャクシ、アマガエル、カナブン、ジョロウグモコガネグモ、

<植物>

アカメガシワ、アラカシ、マテバ、シイヌルデ、トウネズミモチ、クスノキ、ナエシログミ、アキグミ、ヤマモモ、ホルトノキ、モッコク、イヌビワ、ヘクソカズラ、セイタカアワダチソウ、クズ、ススキ、ハンゴウグサ、カヤツリグサ、ツユクサ、エンコログサ、タカサブロウ、ローズマリ

<見聞きした鳥>

ハクセキレイ、ツキジバト、ハシボソカラス・ハシブトカラス・ヒヨドリ

【観察会の様子】

L I X I L 工場が観察地の経緯と現状の説明



草むらでトンボを追っています



ハーブ園の植栽地

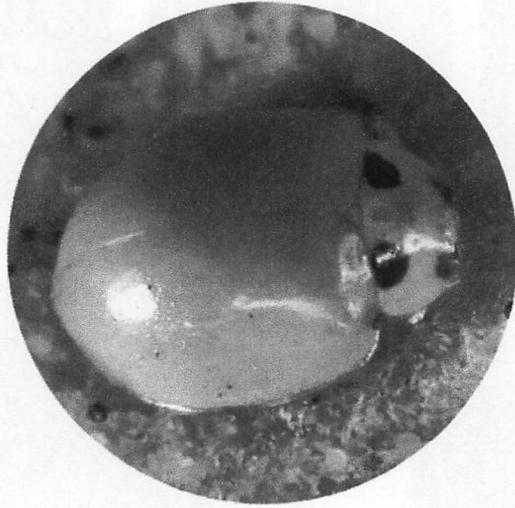


植栽地の湿地にいたヌマガエルのオタマジャクシ (4cm位)



東海ブロッコ観察会 2019(平成31, 令和1)年 1月～12月

No	年月日	曜日	種保	担当	「ラリー」 ●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	19 1 26	土	受託	東海 協	「公園の野鳥観察」●東海市 東海協 参加費100円	大池公園動植物資 料館 9:30	神野(0562-34-3964) 岩崎
2	19 2 16	土	受託	東海 市	「朽木の虫観察」●東海 市 参加費100円	大池公園テニスコ ー 前P 9:30	降幡 吉村(0562-32-3760)
3	19 5 18	土	受託	東海 協	「ヒメボタルに会い」参加 費100円 ●東海市 参加	上野台公園 21:30	吉川洋(052-381-4426) 浅井
4	19 7 6	土	受託	東海 協	「昆虫とオオケヅク」●東海市 参加費100円 ●東海市 参加費100円 ●東海市	しあわせ村玄関前 9:30	吉川洋(052-381-4426) 平松俊
5	19 9 21	土	受託	東海 協	「秋の虫を探そう」参加費 100円 ●東海市 参加費	大池公園テニスコ ー 前 9:30 ※中止	平松俊(052-601-1491) 森田
6	19 10 19	土	受託	東海 協	「公園のキノコを観察」参 加費100円 ●東海市 参	大池公園多目的室 9:30	降幡(0569-43-8060)吉 原



【行事名】 「公園の野鳥観察」 東海市施設管理協会主催

【日時】 平成31年1月26日(土曜日) 晴れ 9:30~11:30

【場所】 集合東海市 大池公園P

【天気】 晴れ

【担当】 神野、岩崎

【参加者】 一般10名、施設管理協会職員 2名

(指導員7名: 浅井一 石川 岩崎 神野 平松俊 古川 森田)

【内容】

厳しい寒さの中、またインフルエンザが流行っているときの開催になりました。それにもめげず10名の一般参加がありました。

ハシブトガラスの声に見送られて出発しました。池にはキンクロハジロの群れが出迎えてくれ、子供たちが用意したパンくずを投げるとカモが大急ぎで集まって来、皆さん大喜びでした。そばの木にはカワセミがいたとの声も上がりました。

最近多くみられるオオバンや、カルガモ・ハシビロガモも姿を見せてくれました。セグロセキレイとハクセキレイと一緒に見られ違いをじっくり観察できました。木々の間にはコゲラ・ヒヨドリ・シジュウカラ・メジロなどが飛び交い楽しめました。

最後に管理事務所で開催していた野鳥写真展を見学して終わりました。

(記・岩崎)

【観察した生き物】

◎鳥類

ハシブトガラス・キンクロハジロ・ヒヨドリ・キジバト・オオバン・シロハラ・ハシビロガモ・コゲラ・カルガモ・セグロセキレイ・シジュウカラ・メジロ・ハシボソガラス・カワウ・スズメ・ヤマガラ・シジュウカラ・カワセミ (18種類)

【観察会の様子】



【左】



【右】キンクロハジロ



【行事名】 「ヒメボタルを見よう」 ● 東海市施設管理協会

【日時】 2019年5月18日(土) 21:30～22:10

【場所】 東海市上野台公園

【天気】 曇り

【担当】 吉川洋、浅井一

【参加者】 一般35名 施設管理協会2名

指導員：浅井一、平松俊、吉川洋

【内容】

日中の強風も収まり、曇ってホタル観察に好都合の天気になりました。

9:30施設管理協会課長の挨拶、吉川さんから注意事項やホタルについて説明を受けた後観察に出かけました。ヒメボタル観察は当たり外れがあるので心配しましたが現地についてすぐ1匹見付きホッとしました。

以前見られた園路の南側の土手ではなく北側の草むらで見ることができました。離れた林の縁でも見付き場所を移動しているようです。結局ヒメボタルを数匹見ることができ一応満足できたと思います。

最後に集合地点に戻り吉川さんからまとめを聞いて会を終了しました。(記平松俊)

【観察した生きもの】

- ・ヒメボタル

【観察会の様子】



【左】吉川さんがホタルの説明をしています 【右】浅井さんが見つけたホタルのお話をしています



【上の一枚】吉川さんが最後のまとめをしています

【行事名】 「オオケマイマイを見よう」 ● 東海市施設管理協会

【日時】 2019年7月6日(土) 9:30~11:30

【場所】 しあわせ村

【天気】 曇り

【担当】 吉川洋、平松俊

【参加者】 一般26名、施設管理協会2名

指導員：浅井一、田中央、平松俊、吉川洋

【内容】

曇ってオオケマイマイ観察には好都合のしかし昆虫観察にはいまいちの天気になりました。

集合時間になり、施設管理協会課長さんのあいさつ、吉川さんのオオケマイマイ、注意事項、工程等についての説明があり、観察に出かけました。右回りに展望台、大仏の横を通ってヤカン池の北を回り、水辺の生態園から花壇を観察して談話室までのコースを歩きました。途中吉川さんから生き物の話をいろいろ聞きました。

予想通り昆虫はほとんど見る事ができず、カタツムリがたくさん見られ、皆のかごに入りました。オオケマイマイもいつものヤカン池の北側はもちろんそれより手前の大仏付近でも見つかりました。トンボを期待した水辺の生態園はコシアキトンボがわずかにみられるだけでした。花壇でやっとアオスジアゲハがパラパラ見つかり子供たちが必死に追いかけてました。

観察終了後、談話室に入って吉川さんが今日見た生き物のまとめをして観察会を終了しました。

余談ですがこの観察会の公報の行事名は「夏の昆虫とオオケマイマイを見よう」です。

「オオケマイマイ」同様「昆虫」も観察対象です。 (記 平松俊)

【観察した生きもの】

●昆虫：モンキアゲハ、アオスジアゲハ、シオカラトンボ、コシアキトンボ、ショウリョウバッタ幼虫、キリギリス(声)、ヤブキリ、カマキリ類幼虫、カナブン、ダンダラテントウ、ヒメテントウ類、ナガゴマフカミキリ、アブラゼミ幼虫、アメンボ、コガタスズメバチ、アシナガバチ類、クロヤマアリ、アリ類2種、ヤブカ類、ユスリカ類、キンバエ類、モリチャバネゴキブリ、ヒゲジロハサミムシ

●昆虫以外：オオケマイマイ、カタツムリ類、コウガイビル、ダンゴムシ

【観察会の様子】



【左】施設管理協会課長さんの挨拶です

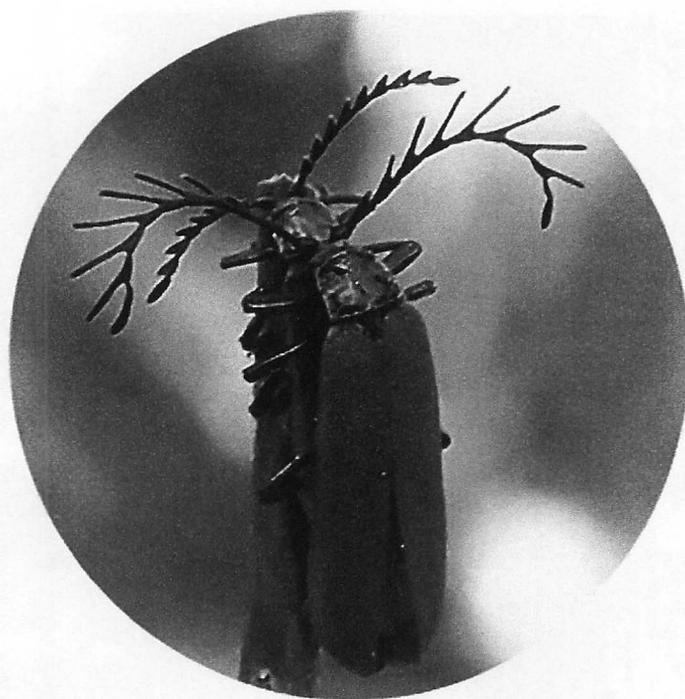


【右】吉川さんが行程等を説明しています



常滑ブロック観察会 2019(平成31, 令和1)年 1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保	担当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	19	5	19	日	募	協	常滑	「春の里山-田畑の虫たち-」井間池・高砂山	南陵市民センター 9:30	降幡(0569-43-8060) 森田
2	19	8	18	日	募	協	常滑	「海辺のヤドカリたち」千潮 13:34 (あいちの観察会)	蒲池漁港P 10:30	森田(0569-42-1708) 中井
3	19	10	6	日	受募		常滑	「雑木林のキノコたち」●大曾公園	大曾公園P 9:30	降幡(0569-43-8060) 中井
4	20	3	15	日	受募		常滑	「朽ち木のダンゴムシたち」●大曾公園	大曾公園P 9:30	森田(0569-42-1708) 平松俊



【行事名】 朽ち木のダンゴムシたち 主催:大曾公園(岩間造園)

【日時】 2019年3月24日(日) 09:30~11:30

【場所】 集合:大曾公園P

【天気】 晴れ

【担当】 森田、平松俊、岩間造園(柴山)

【参加者】 一般3名(大人1名、子供2名)

(指導員6名:浅井一、中井三、平松俊、降幡、森田琢、吉川勉)

【内容】

3月19日(火)下見、24日(日)本番。

名古屋では22日に桜の開花宣言がありました。公園の桜は全て未開花でした。昨日からの春一番の余韻が残る寒い朝からの観察会になりました。

春告鳥(ウグイス)が鳴き、ヒサカキの花が開花する雑木林ですが、間伐や剪定が適度に施されているためか、乾燥した落葉、伐採木、土壌が目立ちます。

伐採木や枯木の中から湿り気のある朽ち木を選び出し、ドライバーや鉋等を駆使して生きものを掘り出しました。1時間半程で20余種の生きものを探し出しました。

数が多いものはシロアリ、クロアリの仲間ですが、ムカデ、ハサミムシ、ダンゴムシも容易に採取できました。ゴミムシ等の甲虫類、カメムシ等は珍しい種類に出会うこともあり観察を楽しくさせてくれます。

定番のカブトムシ、コクワガタ、カナブンの幼虫は比較的大きく人気者で、今回も参加家族のうれしいお土産になりました。

最後に、採集した生きものを足の数別に分類整理しながら知見の分かち合いを終えました。

(記・森田)

【観察した生き物】

◎雑木林を構成する植物

コナラ、イヌガシ、カクレミノ、ニセアカシア、ヒサカキ(開花)、シャリンバイ、シュロ、クロマツ、イチヨウ、クロガネモチ、木本性蔓類

◎土壌動物(足数)

陸貝類(0)など イセロナミマイマイ(殻)、キセルガイ(殻)、ミミズの仲間

昆虫綱(6) カブトムシ(幼虫、遺骸)、コクワガタ(幼虫)、カミキリムシ(幼虫)、カナブンの仲間(幼虫)、キマワリ(幼虫)、ミカワオサムシ、ナガニジゴミムシダマシ(成虫)、エグリゴミムシダマシ(成虫)、マイマイカブリ(成虫)、ツマキヘリカメムシ、チャバネアオカメムシ、モリチャバネゴキブリ、ケバエ(幼虫)、ヒゲジロハサミムシ、ヤマトシロアリ(幼虫)、オオアリ類(クロアリ)

蜘蛛綱(8) キシダクモの仲間

軟甲綱(14) オカダンゴムシ、ワラジムシ

ムカデ綱(30~) トビズムカデ

ヤスデ綱(30~) マクラギヤスデ

◎その他(鳥の鳴き声)

ウグイス、カワラヒワ、コゲラ、ヒヨドリ、ハシボソガラス

【観察会の様子】



【左】朽ち木の中を探そう



【右】カブトムシの遺骸

【行事名】 春の里山・田畑の虫たち

【日時】 2019年5月19日(日) 09:30~11:00

【場所】 集合:南陵市民センターP

【天気】 晴れ

【担当】 降幡、森田

【参加者】 一般3名(大人2名、子供1名)

(指導員5名:鈴木汎、中井三、降幡、森田、吉川勉)

【内容】

5月15日下見、一昨年から耕作放棄されている田園は乾燥して、パイオニア植物のセイタカアワダチソウが一面に繁茂していました。時期的に開花している野草は少なく、どこにでも咲いているはずのハルジオンさえ殆ど見かけませんでした。

19日本番、下見結果を踏まえ当日は子ども向け番組として、南陵市民センターで飼育している山羊と遊びニホンミツバチを観察する時間30分程を臨時に組み込みました。

井間池・高砂山へ移動後、昨日からの強い南東風(10m/s)が吹き止まず、虫たちを見つけるには難しい観察会になりました。草地では僅かですが、シオカラトンボ、ハラビロトンボ、バッタの仲間を捕らえて観ることが出来ました。

子どもが退屈そうになってきたので観察会は早めに終わりました。

(記・森田)

【観察した生き物】

◎植物(耕作放棄地)

セイタカアワダチソウ、ミゾソバ、アシ、ゴギョウ(開花)、ハギ、ノイバラ(開花)、

◎動物、昆虫、両生類

シオカラトンボ、ハラビロトンボ、ジョウカイボン、ムシヒキアブ、バッタの仲間  
イシガメ(幼体)、アマガエル(鳴き声)

◎その他、鳥類

ウグイス、カラス

【観察会の様子】



【左】ノイバラが沢山咲いていました。



【右】耕作放棄地は乾燥してセイタカアワダチソウが繁茂していました。



【左】シオカラトンボ ♀



【右】近くの耕作地景観 園芸種(アヤメ科ワトソニア)

【行事名】 海辺のヤドカリたち

【日時】 2019年8月18日(日) 10:30~12:10

【場所】 集合:蒲池漁港P

【天気】 晴れ

【担当】 森田、中井

【参加者】 一般9名(大人4名、子供5名)

(指導員11名:浅井一、大矢晃、田中、榊原正、中井、降幡、牧野、南川、森下栄、森下

保、森田)

【内容】

8月15日下見、台風10号が九州、四国を向う。波浪注意報が出されていたが、海岸は沢山のサーファーで賑わっていた。ヤドカリ、イソガニ等を確認して早々に退散する。

8月18日本番、昨日からの猛暑で集合時刻頃には既に汗がにじむ。ケーブルテレビ局CCNCのインタビューと収録取材が有り、観察会の目的や活動実績などを伝えた。

一般参加者は常滑市内、武豊町、刈谷市、名古屋市緑区からの4家族9名、各家族に「海辺のいきもの」ラミネート版を配布した。開始に先立ち「危険な生きもの」と「熱中症対策(飲料)」について念押しし海辺へ向かった。

当日の干潮予定時刻は13:34でまだ海水位は高かったが、砂礫が露出した海岸でのヤドカリ、イソガニ探しは難なく始められた。ヤドカリ、イソガニは石や岩を大人が動かすだけで簡単に見つかるので、子ども達はすぐに夢中になって採集を始めました。

1時間ほどすると隠れていた突堤も露出し本格的な採集が出来る様になりました。ハゼの仲間、エビの仲間、シタビラメ、ウシガエルのお玉杓子まで捕まえました。暑い最中、時間もあっという間に過ぎましたので、皆を集め、採れたものをバットに仕分けして分かち合いなどして楽しさを共有しました。

子どもたち向けには1~3種のみ話題を絞り、その後は興味に任せた質問時間に充てるのが適当でした。

(記・森田)

【観察した生き物】

◎海藻

海草=アマモ

◎動物

ヤドカリ=ユビナガホンヤドカリ

カニ =イソガニの仲間(ケフサイソガニ、ヒライソガニ)

エビ =不明・・・生まれたばかりの赤ちゃんエビ

フナムシ

ミズクラゲ

ミミズハゼ、アゴハゼ

舌平目の赤ちゃん(2cm程)

イソコツボムシ

ウニの仲間=ブンブクチャガマ

2枚貝=オニアサリ(生)、バカガイ(生)

◎その他 漂着物

貝殻=あさり ウチムラサキ マガキ カガミガイ トリガイ ツメタガイ サルボウ

ナミマガシワ マテカイ アケガイ(アワスダレ)

イボニシ アカニシ ツメタガイ コシダカガンガラ

変わり者 =ウシガエルのオタマジャクシ(生)2匹

漂着物=クルマミ ヒシ どんぐり(コナラ?) シジミ 淡水の水草3

台風10号の影響で木曾三川からの漂着物と思われます。

【観察会の様子】



【左】CCNC収録中



【右】ヤドカリ、イソガニが沢山採れました

【行事名】 雑木林のキノコたち 主催：大曾公園

【日時】 2019年10月6日(日) 9:30~11:15

【場所】 集合：大曾公園P

【天気】 晴れ

【担当】 降幡、中井三

【参加者】 一般8名(大人4名、子供4名)

(指導員4名：中井三、降幡、牧野、森田)

【内容】 参加4家族でのアットホームな観察会です。例年通り「キノコのお話」「危険な生きもの」ガイダンスをしてから雑木林に入りキノコ探しを始めました。今年は夏を超える残暑期間が長く、各地のヒガンバナは遅咲き、キノコの発生もまばらです。子ども達は地味なキノコには注意力、観察力が続かず、虫捕りとドングリ拾いに夢中でした。保護者の方々は勉強熱心で、話に耳を傾けてくれました。観察出来たキノコは数種類でしたが、秋を感じさせるどんぐり、草花、昆虫類には事欠かず、最後に分かち合えた生きものは多種多様になりました。

(記・森田)

【観察した生き物】

◎菌類

コウヤクタケの仲間、クロコブタケ アミスギタケ ホウロウタケの仲間 イグチの仲間

◎植物

アラカシ、コナラ マテバシイ、ウバメガシ、クリ

セイタカアワダチソウ、ヒカセンバナ、ヒヨドリバナ、ヤマハギ、スズカアザミ、ノギラン、ピラカンサ、ハゼノキ、マサキ、クスノキ、シャシヤンボ、ヤマノイモ、チヂミザサ、フモトスミレ

◎昆虫

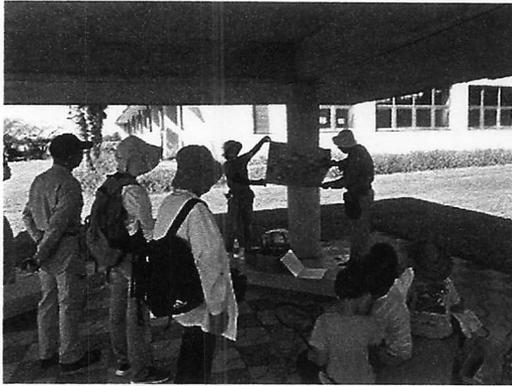
ホタルガ、トノサマバツタ、ショウリョウバツタ、ホシササキリ、ハラビロカマキリ、コガタスズメバチ、アキアカネ

アオバハゴロモ、クロウリハムシ、モリチャバネゴキブリ、ヒメジャノメチョウ、カナブンの幼虫、コガタスズメバチ、オオスズメバチ

◎その他

イセノナミマイマイ、オオケマイマイ、ウスカワマイマイ

【観察会の様子】



【左】キノコのお話



【右】雑木林でキノコ探し



No	年	月	日	曜	種	保	担当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	19	4	20	土	募	協	半田	「任坊山の春-虫や野草の観察」	任坊山公園P 9:30	山田和(0569-22-4660) 榊原靖
2	19	6	30	日	受託		半田	「亀崎海岸の生き物観察」干潮●半田市環境課	亀崎海浜緑地P 9:30	山田和(0569-22-4660) 加藤
3	19	7	27	土	受託		半田	「稗田川・平地川の生き物」●半田市環境課 ※中止	乙川東小北門から西150m空き地9:30	榊原正(0569-21-7000) 森下保
4	19	8	4	日	受託		半田	「ナイトハイクと灯火に集まる虫」●半田市環境課	半田運動公園第3P 19:00	榊原正(0569-21-7000) 山田和
5	19	9	21	土	受託	協	半田	「神戸川の生きもの」●半田市環境課	青山公園P 9:30	榊原靖(0569-21-3497) 石川由
6	19	10	5	土	募	協	半田	「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」	任坊山公園P 9:30	石川由(0569-23-1101) 牧野
7	19	12	8	日	募	協	半田	「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」	瑞穂記念館P 9:30	鈴木汎(0569-22-0908) 榊原正



【行事名】 「任坊山の春-虫や野草の観察」  
【日時】 2019年4月20日（土） 9:30～11:30  
【場所】 任坊山公園  
【天気】 晴れ  
【担当】 山田和、榑原靖  
【参加者】 一般： 大人1名

指導員：榑原正、榑原靖、鈴木汎、藤井辰、森下栄、森下保、山田

和、

【内容】

観察会と直接関係ないが、明日が半田市市議会議員選挙日。今日明日と下半田地区の祭礼日。

集合場所の駐車場から、まず、宮池の公園工事の状況を観察した。やはりと言わばきか、当然ながら、生きものにとって一番有り難い浅瀬は埋め立てられ散策路となっている。足下の延長にあった水辺が、落ちたら危ないような斜面下の水辺になってしまった。公園化するという事は、現時点では、これが常識なので…( ; )

公園内のコースは例年通り。今回の特記事項は…↓

・蝶類含めて昆虫が、ほとんど、見えなかった。

※オオワラジカイガラムシを期待して参加した指導員もいたが見つけれなかった。

・展望台の階段脇のクロバイが咲いてないどころか蕾(つぼみ)も、ほとんど、付けてなかった。

・公園に一本だけあるアズキナシが新鮮な花を付けていた。(例年は花は終わってる)

・カシノナガキクイムシの被害にあったコナラから被害の証拠(粉=フラス)が全くなかった。

※ひょっとして、被害はこれから。それとも、ブームが去ったの…?

いずれにしても、昆虫網を持って参加したが、全く、網の出番はなかった。

なお、(参考)

オオワラジカイガラムシを載せた過去(6年前)の観察会→[ここ](#) (記：榑原正)



【行事名】 「亀崎海岸の生き物観察」 ●半田市環境課主催

【日時】 2019年6月30日（日） 9:30～11:30

【場所】 亀崎海岸（亀崎潮干祭り会場）

【天気】 曇り（終了近くから小雨→本降り）

【担当】 山田和、加藤

【参加者】 一般：親子で60名（※当選者数。申し込み多数で抽選）

指導員：安達、加藤、門脇重、榊原正、鈴木汎、田中央、山田和、

### 【内容】

雨模様の天気予報の中、本日の実施可否は本日の朝まで持ち込まれたが、雨雲が東に移動したため実施できた。

また、衣浦湾の干潮時刻は10:10頃の中潮で観察会には最適な潮であった。

海での生きものの採集は、小さな子には難しいが、指導員のある工夫で小さな子も多に楽しんでいた。

<指導員の工夫とは…↓>

少し沖合いにあるアオサの塊を指導員が陸に運び、その中に混じっている魚などを子どもたちに探させるということ。

この活動は、この指導員が得意とするものの一つであるが小さな子やその親御さんに大変喜ばれている。

毎年ここで観察会を実施しているが、次の事柄が今回の特記事項であろう。

- ・大きなウロハゼや比較的大きなヨウジウオが何匹も採れた。
- ・比較的大きなモクズガニが何匹も採れたし、陸に打ち上げられた死骸も多かった。
- ・テッポウエビが4匹採れた。
- ・まだ同定してないがミミズハゼみたいな魚が3匹採れた。（記：榊原正）

### 【観察した生きもの】

<魚>マハゼ、ウロハゼ、ミミズハゼ、ボラ（稚魚）、クサフグ（稚魚）、ヨウジウオ、ヒラメ（稚魚）、…など

<魚以外>ミズクラゲ、イソガニ、ケフサイソガニ、マメコブシガニ、モクズガニ、テナガエビに似たエビ（ユビナガスジエビ）、ヨコエビ、…など

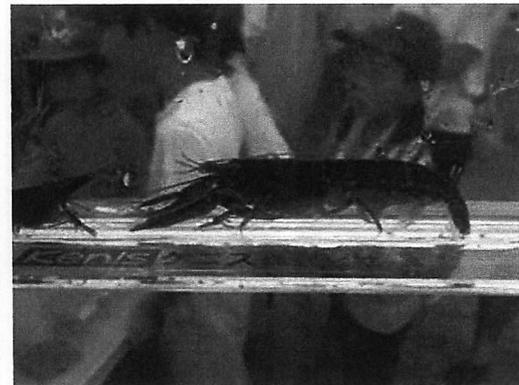
### 【観察会の様子】



【左】主催者及び指導員の始まりのお話



【右】指導員が沖合から持ってきたアオサの中を探す



【行事名】 「ナイトハイクと灯火に集まる虫」 ●半田市環境課主催

【日時】 2019年8月4日（日） 19:00～20:40

【場所】 半田運動公園

【天気】 晴れ

【担当】 榑原正、山田和

【参加者】 一般：親子で50名ぐらい（※当選者数。申し込み多数で抽選）

指導員：安達、加藤、榑原正、榑原靖、鈴木汎、森下栄、森下保、山田和、

### 【内容】

結果は“よかった”である。

主な原因は目的の木にカブトやクワガタが“感動するほど”いたからである。ここは最大の見せ場であったので、このような場面を願っていたが、その通りだったので“よかった”のである。

誘蛾灯設置のスクリーンに集まった虫の種類はカブトやクワガタ、大型の蛾も来て無く、見せ場に欠けたが、子どもたちは非常に喜んでいたので、これはこれで“よかった”ということになる。なお、ナイトハイクは参加者を3班に分け、班ごとにハイクするが、「見つけても採らない」で見ただけと言う約束で出発した。そのため、冒頭の“最大の見せ場”のカブトやクワガタを、それぞれの班は、到着時刻は違うが、同じ状態の現場を見ることになる。

もともと、観察会終了後に採集に行くのはダメと言ってないので、終わってから現場に行った家族がいたかも知れないが何家族行ったのか一家族も行かなかったのか、今年も、確認していない。（記：榑原正）

### 【観察した生きもの】

<ナイトハイク>コクワガタ、カブトムシ、アオドウガネ、ドウガネブイブイ、ウスバカミキリ、キマワリ、アブラゼミ、クマゼミ、マムシ(今回が初めて)…など

<灯火採集>…など

### 【観察会の様子】



【左】 指導員からのハイク中のお約束ごと



【右】 一番の見せ場での観察



【左】 アブラゼミが一行に並んでいた



【右】 スクリーンに集まった虫の説明

### 【観察会の様子-追加】

【行事名】 「神戸川の生きもの」 ●半田市環境課主催

【日時】 2019年9月21日（土） 9:30～11:30

【場所】 青山公園P近くの神戸川

【天気】 晴れ

【担当】 榑原靖、石川由

【参加者】 一般：親子で35名ぐらい

指導員：安達、加藤、門脇重、榑原正、鈴木汎、古川、森下栄、森下

保、山田和、

【内容】

毎年実施している観察場所なので市の職員の会場設営は十分に実施できた。ただし、今回、指導員の一人が“投網”を使ったが、思いもよらぬ出来事があったので記す。

それは、大きすぎる“鯉(コイ)”は使っていたサイズの投網では“たぐり寄せ”しているときに、逃げてしまう。同じ大きな緋鯉と思われるコイ、2回、同じことがあった。全く、残念だった。

※30cm前後のフナはかかる（経験済み）。水深1.2mぐらいの深みがあって投網を打つのにいい場所がある。

来年は、工夫したい。子どもたちが喜ぶ顔が浮かぶ。

今回のセイゴ、カマツカ、ブルーギルは投網で捕ったものである。 （記：榑原正）

【観察した生きもの】

セイゴ、ウナギ、モツゴ、フナ、スミウキゴリ、カマツカ、ブルーギル、カダヤシ、モクズガニ、テナガエビ、ミゾレヌマエビ、スジエビ、コオイムシ、ミシシippアカミミガメ…など

【観察会の様子】



【左】川に入る前、指導員から魚の捕り方



【右】エビが入ったと喜んでいた



【左】水槽の中の魚の説明



【右】水槽の中の“魚以外の生きもの”の説明

【行事名】 任坊山の秋 アサギマダラに会えるかな

【日時】 2019年10月5日(土曜日) 9:30~11:00

【場所】 半田 任坊山公園

【天気】 晴れ

【担当】 石川由、牧野

【参加者】 一般 大人 4名、子ども 3名

指導員：安達、榊原靖、鈴木汎、田中央、古川、牧野、山田和

【内容】

10月というのに気温30℃の暑い中での観察会でした。ただ、湿度は低く木陰は快適でしたが、蚊の今季最後の攻撃は激しかったです。

本日の目的は、「アサギマダラ」ですが、一番目についたのは、ホタルガ。森の縁に生えた木の葉に点々ととまっており、子供たちはたくさん捕まえていました。(最後は放しました。)また、クサギの葉でポンとたたいて音を出して遊んだり、イヌビワの実の色の变化、味の確認、展望台付近ではウスバキトンボの群れ、最後はスタジイの実を拾い、味わいました。

アサギマダラは、今年は会えないのかなあ…とあきらめかけていた最後の最後で1頭、風に流されるようにひたひらと飛んでいくのが確認できました。

(記、牧野)

【その他、観察したもの】

アゲハチョウ、アオスジアゲハ、スズメバチ、クロウリハムシ、ウスバキトンボ、ショウジョウトンボ、シジミチョウ、イセリアカイガラムシ  
鳥は声のみ：シジュウカラ、ヒヨドリ

【観察会の様子】



【左】 博物館駐車場の上付近の散策路



【右】 ホタルガ



【左】 イヌビワの実の色(色々)



【右】 シイの実。この実は大きい

【行事名】 康衛池のカモと阿久比川河口の生き物

【日時】 2019年12月8日（日曜日） 9：30～11：10

【場所】 集合：瑞穂記念館P

【天気】 晴れ

【担当】 鈴木、榊原正

【参加者】 一般 大人 2名

指導員：加藤、榊原正、古川、牧野、森下栄、森下保、森田、山田和、山田

竜

【内容】

寒い風もなくおだやかな晴れでした。池の水は例年より多く有り、池の縁でも地面が見あたらぬ。

そのせいなのか(?) 例年なら柵から覗き込むとすぐに遠くに離れていくはずのカモたちが離れていかなかったのが観察しやすかった。

<今回の特記事項>

- ・チュウサギとコサギが互いに近くに立っていたので大きさの比較ができた（康衛池）
- ・タシギが二羽いた（康衛池）
- ・セイタカシギがいなかった（康衛池、阿久比川ともに）
- ・ミサゴが水面に飛び込んで魚を捕ったのを目撃した（阿久比川で）
- ・オオバンの足の指のヒレ(?) を見た（阿久比川の岸。死んでいたオオバンで）

阿久比川河口からの帰りにシジュウカラのオスが見られるかも知れないと住宅地の通りをコースとしたが残念ながら見れなかった。（記：榊原正）

【見た鳥】

カワセミ、オナガガモ、ハシビロガモ、コガモ、ホシハジロ、カルガモ、カイツブリ、オオバン、コサギ、チュウサギ、アオサギ、カンムリカイツブリ、ミサゴ、セグロセキレイ、

【観察会の様子】



【左】康衛池を駐車場から柵越しに観る



【右】阿久比川を堤防から観る



【左】チュウサギとコサギが近距離で並んだ



【右】オオバンの足の指のヒレ

東浦ブロック観察会 2019(平成31, 令和1)年 1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保	担当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	19	2	16	土	募	協	東浦	「冬の生き物たちに会おう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	岩本(0569-58-0952) 山田公
2	19	4	7	日	募	協	東浦	「春の里山を見よう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)山田公
3	19	4	14	日	受募		東浦	「春の里山の恵みをさがそう」●東浦町環境課	東浦自然環境学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023) 桑原
4	19	5	11	土	受募		東浦	「ヒメボタルに会おう」●東浦町環境課	うのはな館P 21:30	田中央(0562-34-6040) 岩本
5	19	6	8	土	受募		東浦	「明徳寺川の生き物を探そう」●東浦町環境課	うのはな館P 9:30	田中央(0562-34-6040) 水野恭
6	19	7	7	日	受募		東浦	「初夏の里山で生きもの探そう」●東浦町環境課	東浦自然環境学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023) 桑原
7	19	7	19	金	募	協	東浦	「灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう」	高根の森P 19:00	水野恭(090-3648-4467) 水野利
8	19	8	3	土	受募	協	東浦	「須賀川の生き物に会おう」●東浦町環境課	藤江コミュニティセンターP 9:30	田中央(0562-34-6040) 水野恭
9	19	9	28	土	募		東浦	「身近にあるキノコを見つけよう」	高根の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)降幡
10	19	10	20	日	募	協	東浦	「里山の秋を見つけよう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	水野恭(090-3648-4467) 岩本
11	19	11	16	土	受募		東浦	「秋の宝物で工作をしよう」●東浦町環境課	於大公園このはな館 9:30	竹内秀(0562-83-9023) 山田公



**【行事名】** 「冬の生き物たちに会おう」  
**【日時】** 2019年2月16日(土) 9:30~12:00  
**【場所】** 東浦自然環境学習の森  
**【天気】** 晴れ  
**【担当】** 岩本、山田公  
**【参加者】** 一般：6名  
 指導員：岩本、桑原、桑村、竹内秀、田中央、藤井、古川、南川

**【内容】**

雪らしい雪が降らなかった冬も、立春が過ぎるとさらに春めいてくる。日中の気温が暖かいなど感じる日も出てきた。

今日は2家族にロマンスグレーの鳥めあてのおじさまが一人。こじんまりとした会となった。竹堂朗の会の活動や林の中でボーイスカウトがテントを広げる姿も見られた。

だんだんと青空が広がり温かくなってきた。それでも、草木たちはちゃんと春の準備をし、オオイヌノフグリやホトケノザが花を咲かせていた。寒さをしのいで、セイタカアワダチソウやスイバ、ハルジオンたちがロゼッタ状になって葉を広げて太陽の光を浴びようとしていた。

比較的大きなコナラたちが枯れて立ち枯れたところはカワラタケのタワーマンション。少し明るくなった林床にはマンリョウがいく株も見られた。木が朽ち始めた木からはクワガタの幼虫がみられた。またタマムシの幼虫も見られ、さなぎはどんなだろうかと新たな疑問がわいた。池に1羽も水鳥が見られないのが気になった。(記・竹内秀)

**【観察した生き物】**

- ◎植物…トウカイタンポポ、セイヨウタンポポ、スイバ、オオイヌノフグリ、ホトケノザ、コナラ・エゴノキの虫えい、(実)…ヤツデ、ハゼ、マンリョウ、
- ◎鳥…アオサギ、ダイサギ、ヒバリ、ムクドリ、ウグイス、カラ、コゲラ、ヒヨドリ、メジロ、アオジ、シロハラ、キセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、キビタキ、キジバト、セグロセキレイ、ハクセキレイ、ヤマガラ、ツグミ、アカゲラ、ノスリ、カワセミ、コガモ、カルガモ、
- ◎その他…ナナホシテントウ、コクワガタ(幼虫)、ルリハムシ、ハサミムシ、キマワリ(幼虫)、シマヘビ、

**【観察会の様子】**



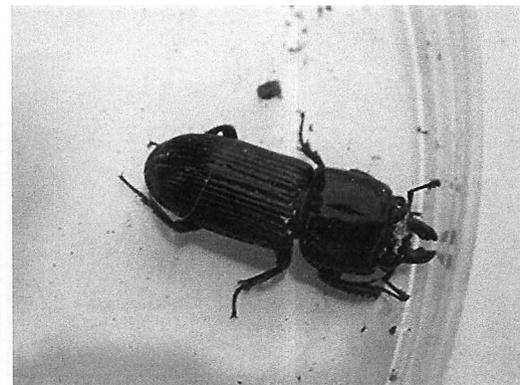
【左】真冬の里山を進むと…



【右】朽ち木があったので…



【左】クワガタムシの幼虫がいた



【右】チビクワガタ

**【観察会の様子-追加】**

【行事名】 春の竹林を探検しよう

【日時】 平成31年4月9日(日) 9:30~12:00

【場所】 東浦自然環境学習の森

【天気】 晴れ

【担当】 岩本、山田公

【参加者】 一般10名

(指導員: 岩本、門脇重、桑原、竹内秀、田中央、藤井辰)

【内容】

ぽかぽか陽気で桜もタンポポも気持ちよさそうに開いて、春も真っ盛り。コナラの新芽がちょっと顔をだし、春が来たよと伝えているようでした。ウグイスが気持ちよさそうにさえずって、カナヘビが動き出していました。3月の初めは異常に温かくこのまま春になるのかと思うほどで、3月末には桜が満開になる予報でしたが、例年並みに冷えてくれたおかげで5日の小学校入学式まで桜が満開にならず皆がホッとした年でした。

自然環境学習の森の駐車場から新池(ため池)を通りながらゆっくりと散策を行いました。

例年並みの寒さが来たおかげで、藤の新芽、コナラの新芽を見ることができました。常緑樹の深緑、地面にはタンポポの黄色、ハルジオンのうつむいたつぼみ、レンゲソウの濃いピンク、空の青色などさまざまな自然の色を観察することができました。

ウグイスの声がひびき心が安らぐ気持ちになりました。参加者は、ワラビを手に春の里山をゆっくりと散策し、春を満喫することができました。

【観察した生き物】 ◎植物: シロツメグサ、カラスノエンドウ、レンゲソウ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、マツバウンラン、タネツケバナ、ナズナ、キュウリグサ、オランダミミナグサ、ツメクサ、キツネノボタン、スミレ、ハハコグサ、オニタビラコ、オオジシバリ、オニノゲシ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、スズメノヤリ、スズメノカタビラ、スギ(ツクシ)ナ、ヨモギ、セイヨウタンポポ、ムラサキケマン、ギシギシ、ハナニラ、アサツキ、スイバ、イタドリ、アシ、ワラビ、セリ、ゼンマイ、アケビ、クズ、コナラ、カクレミノ、ヤツデ、ヤマハゼ、モウソウチク(外来種)、ヤダケ、ヤマザクラ  
◎昆虫: ベニシジミ、ヤマトシジミ、キチョウ、モンシロチョウ、キタテハ、ルリタテハ、ツマグロヒョウモン、アゲハ、ツチイナゴ、ガガンボの仲間、ナナホシテントウ、セイヨウミツバチ、アシナガバチ、ウスタビガ(さなぎ)、アイワシタケクマバチ? オオマエキトビエダシヤク  
◎爬虫・両生類: アマガエル、ミシシッピアカミミガメ、イシガメ、タニシ、カナヘビ、  
◎鳥類: カルガモ、コガモ、ウグイス(声)、スズメ、カワラヒワ、モズ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、

【観察会の様子】



【左】 観察コースの一部



【右】 アケビの花

【行事名】 春の竹林を探検しよう

【日時】 平成31年4月14日（日）9：30～12：00

【場所】 東浦自然環境学習の森

【天気】 晴れ

【担当】 竹内秀、桑原

【参加者】 一般45名

（指導員：岩本、門脇重、桑原、竹内秀、田中央、藤井辰、古川、牧野、南川、森田）

【内容】

雨の予報であったが時には日差しもさす曇り空であり、若干肌寒い陽気でした。春も真っ盛りで新緑が美しい状況でしたが、太陽がなく曇りのためか、チョウなどの昆虫の姿は少なく感じました。

自然環境学習の森の駐車場から新池（ため池）を通りながらゆっくりと散策を行い、ワラビの出るやぶへ。ノイバラのとげにきずつけられながらも、「人生はじめてとった！！」といった声も聞かれ、皆さん熱中してやぶでしゃがみこんでワラビの目になります。夜のおかず用にと、セイタカアワダチソウやヨモギの新芽を積んだり、セリを積みながら進みます。

今年は、3月初めは暖かい日が続たのに、3月後半から冷え込む日が増えたため、桜の花も少し残る中の春の散歩です。それでも、コナラはの新芽をのぼし、常緑樹の深緑、地面にはタンポポの黄色、ハルジオンの薄ピンク色、レンゲソウの濃いピンクなどさまざまな自然の色を観察することができました。

一週間前とくらべ緑の量が増え、スイバの赤い目立たない花がよく咲いていました。また、イタドリジャム用に使えそうなイタドリもしっかり伸びていました。どこかでヒバリがさえずり、心安らぐ気持ちになりました。今年はずけのこの裏の年となるそうですが、それぞれにお土産もでき春を満喫することができました。

【観察した生き物】

◎植物：シロツメグサ、カラスノエンドウ、レンゲソウ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、マツバウンラン、タネツケバナ、ナズナ、キュウリグサ、オランダミミナグサ、ツメクサ、キツネノボタン、スマレ、ハハコグサ、オニタビラコ、オオジシバリ、オニノゲシ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、スズメノヤリ、スズメノカタビラ、スギ（ツクシ）ナ、ヨモギ、セイヨウタンポポ、ムラサキケマン、ギシギシ、ハナニラ、アサツキ、スイバ、イタドリ、アシ、ワラビ、セリ、ゼンマイ、アケビ、クズ、コナラ、カクレミノ、ヤツデ、ヤマハゼ、モウソウチク（外来種）、ヤダケ、ヤマザクラ、コバノミツバツツジ、

◎昆虫：ベニシジミ、ヤマトシジミ、キチョウ、モンシロチョウ、ナナホシテントウ、

◎爬虫・両生類：ミシシッピアカミミガメ、イシガメ、タニシ、カナヘビ、

◎鳥類：コガモ、スズメ、コガモ、ツグミ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、モズ、メジロ、アカゲラ、アオサギ、コゲラ、アオサギ、アオジ、シジュウカラ、シロハラ、ホオジロ、カワセミ、

【観察会の様子】



【行事名】 明徳寺川の生き物を探そう ● 東浦町環境課主催

【日時】 2019年6月8日(土) 9:30~11:30

【場所】 東浦町明徳寺川(坊主橋付近)

【天気】 晴れ

【担当】 田中央、山田公

【参加者】 一般：76名(内 子供45名)

(指導員：浅井一、岩本、門脇重、榊原正、竹内秀、田中央、水野

恭、南川)

【内容】

前日から梅雨入り。金曜日には雷を伴った強い雨も降り川の水が増水して雨はやんだものののはたして観察会ができるのか？と前日の夕方には気をもむ状態となった。しかし、当日の朝には水量も減り、時折日差しも見られる天気となり、暑くなくさわやかな川の観察会にもってこいの日になりました。

最初に、たもの使い方の説明や諸注意があり、それから、東浦町民俗資料館うのはな館駐車場から歩いて橋に向かいました。川の水はやや濁ってはいるものの、水量もてごろ。感性こそ上がりませんが、川にめがけて親子でそれぞれに突進です。川までに段差があるために梯子を降ります。梯子を使ったことのない子供がほとんどで、恐る恐る梯子を握ります。南川さんの「3点確保」のアドバイスに自信を得て、ずんずん降りていきます。それでも80人近い人数のため、降りるのに時間がかかりました。

川の隅にたものを構えてがしゃがしゃをします。いたいた、ヤッターと歓声!“エビが取れたよ。” “魚が入ったよ。”と間をおいて生き物に目がいきます。大人も子供もみんな楽しめました。ハゼやエビがたくさん見つかりました。

その後、日陰で見つけた生き物の説明を聞きました。

貴重なウナギは今年も見つかりました。婚姻色のあるオイカワの美しさにみんなうっとり。カダヤシの数が例年より少ないように感じられた。みんなで頑張つて、たくさんの生き物を採取することができた。

【観察した生き物】

○魚類：ウナギ、ボラ〔子〕、カマツカ、ギンブナ、オイカワ、モツゴ、スミウキゴリ、ゴクラクハゼ、マハゼ、タイリクバラタナゴ、カダヤシ、ブルーギル、ブラックバス、

○甲殻類：ヌマエビ、スジエビ、テナガエビ、アメリカザリガニ、モクズガニ、ベンケイガニ、

○両生類：アカミミガメ

○その他：シオカラトンボのヤゴ、ハグロトンボのヤゴ、アメンボ  
(記 竹内秀)

【観察会の様子】



【左】 “うのはな館”前で始めのお話



【右】 川に到着。はしごを使って降りる

【行事名】 灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう

【日時】 2019年7月19日(金) 19:00~21:00

【場所】 東浦町 高根の森

【天気】 晴れ

【担当】 水野恭、水野利

【参加者】 一般: 15名(大人5名, 子供10名)

(指導員: 浅井一、岩本、竹内秀、田中恭、水野利)

【内容】

今年は雨が多く、記録的に日照時間が少ない。30度以上の暑さになることが少なく体には優しいのだが野菜が成長せず高騰が続く。前日の夜も大雨が降り、当日も雨が時折降り、実施できるかどうか迷うほどであったが観察会の時間は雨も降らず森を回ることが出来た。

これだけ雨が多いと樹液は出るのか?と思いきやかえって樹液は多く、樹液の発酵する匂いがあちこちでした。かなり湿度は高い。蚊はいつものように人にぶつかるようにして集まってくる。足元はところどころ水たまりで、いつもは見られないキセルガイがさかさまになって木の筋の間に付いていた。木が湿っているので樹液の出ているところを目で追うのは難しい。しかし、暗闇の中でも虫たちのレストランは大盛況。カナブン、ノコギリクワガタ、コクワガタ、カブトムシ。子供たちばかりでなく、お父さん、お母さんたちも童心に帰って歓声が上がる。ノコギリクワガタが年々増えているように思う。雨のせいで、暗闇の中でも見える貝が多く、キノコがたくさん生えていた。

カマドウマ、マカラスヨトウ、コロギス、など毎年見られるものがあるとホッとす。ニイニイゼミの羽化が始まっているものもいた。アブラゼミの羽化は見られなかった。ニイニイゼミの羽化には誰もがうっとりした。ツクツクボウシの声が聞かれ、誰もが耳を疑った。もう夏が終わりか?と。(記・竹内秀)

【観察した生き物】

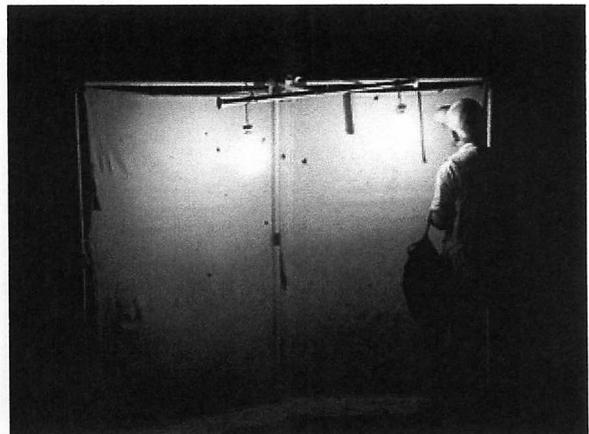
◎昆虫

ニイニイゼミ、ツクツクボウシ〔声〕、ガガンボ、キマワリ、クロゴキブリ、カナブン(大量)、コロギス、マダラカマドウマ、カラスヨトウ、キノカワガ、ウスバカゲロウ、コフキコガネ、スジコガネ、アオドウガネブイブイ、セマダラコガネ、ミヤマカマキリ、イラガ〔幼〕、カブトムシ、コクワガタ、ノコギリクワガタ、ヨツボシケシキスイ、キノコムシ、ヤマトゴキブリ、モリチャバネゴキブリ、ハネアリ、ハサミムシ、ムカデ、コウガイビル、ヤマビル、

【観察会の様子】



【左】 始めのお話



【右】 誘蛾灯をセットしてナイトハイクに出発

【行事名】 「須賀川の生き物に会おう」 ● 東浦町環境課主催

【日時】 令和元年8月3日(土) 午前9時30分～11時45分

【場所】 集合：藤江コミュニティセンターP

【天気】 晴れ

【担当】 田中央、水野恭

【参加者】 一般：57名

(指導員：浅井一、岩本、門脇重、桑村、田中央、水野恭)

### 【内容】

今年も昨年に負けない程暑い日が連日続く中、藤江コミュニティセンターにたくさんの参加者が集合して、須賀川での生き物の観察会を開催した。

夏休み中ということもあり、親子での参加者が多く、小さい子どもたちも一緒に川の中に入って、川岸の草むらをタモで探りながら、生き物を探していた。一度水の中に入ると水が冷たかったこともあり、大人も子ども暑さを忘れ、夢中になって生き物を探していた。

その後、採取した生き物の名前や特徴について、講師から説明を聞いた。口が小さなクチボソ(モツゴ)やひげを使って砂の中のエサを探すカマツカなどの在来種の話から、蚊を絶やすために外国から持ち込まれたカダヤシなどの外来種まで様々な生き物を採取することが出来た。

### 【観察した生き物】

(魚類) タイリクバラタナゴ・カダヤシ(外来種)・カマツカ・スミウキゴリ・ヨシノボリ・タモロコ・コイ

(甲殻類) アメリカザリガニ(外来種)・ヌマエビ・スジエビ・テナガエビ・モクズガニ

(両生・は虫類) ヌマガエル・ミシシippアカミミガメ(外来種)、イシガメ

(昆虫) ハグロトンボ、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、アオスジアゲハ、タイワンタケクマバチ(外来種)、アブラゼミ、コオイムシ、ガムシ、アメンボ、マツモムシ、

(その他) ドブガイ

### 【観察会の様子】



【左】 始めのお話-日程や諸注意



【右】 採集の様子



【左】 採集の様子



【右】 つかまえた生きものの説明

[トップページへ](#)

【行事名】 「里山の秋を見つけよう」

【日時】 令和元年10月20日（日）9：30～11：30

【場所】 東浦自然環境学習の森

【天気】 晴れ

【担当】 水野恭、岩本

【参加者】 一般：28名

（指導員：岩本、門脇、竹内秀、田中央、藤井辰、水野恭、南川、）

### 【内容】

10月に入っても台風の影響を受け、関東・長野地方は河川の決壊により大きな被害を受けた今年。昨日は一日雨で天気が心配されたが、今日は秋晴れとなり、日向に出るとまだまだ日差しがきつく暑い日であった。今日は、虫網をもったたくさんの親子、日本エコロジスト協会の生き物調査の若者たちが参加した。

秋の里山には、たくさんの恵みがある。アケビやヤマイモ（ムカゴ）などの食べるとおいしい植物や、きれいに色づいたカラスウリの実、ノブドウや、実の中からアンモナイトが出てくる黒い実アオツツラフジ、草原を飛び回るイナゴ類、コオロギ類、モンシロチョウやキチョウ、ヤマトシジミやウラギンシジミのチョウ類はみられたもののアキアカネなどトンボ類は確認できなかった。

パカリと口をあけているアケビに「あまい」「おいしい」と声が上がった。まだ、樹木は色づいていなかったがヒメジョオンやミゾソバ、イヌタデ、ヨメナなど色とりどりの秋の野の花を楽しむことができた。（記・竹内秀）

### 【観察した生き物】

植物（菌類含む）：イヌタデ、ミツバアケビ、ヨウシュヤマゴボウ、カラスウリ、ツリガネニンジン、スミレ、ヤマノイモ、ミゾソバ、ヌルデ、ムラサキシキブ、ノウタケ、オニフスベ、シュタケ、カンゾウタケ、クリ、センダン、ウメモドキ、サンショウ、コナラの実、ノブドウ、アオツツラフジ、テングノカクレミノ、キツネノマゴ、オオバコ、カタバミ、ヒメジョオン、セイタカアワダチソウ、アキノノゲシ、ヨシ、ススキ、アメリカセンダングサ、

昆虫：ジョロウグモ、ナガコガネグモ、ハグロトンボ、イナゴ、コバネイナゴ、ツチイナゴ、エンマコオロギ、オンブバッタ、オオカマキリ、ハラビロカマキリ、ヤマトシジミ、ササキリ、ベニシジミ、ヒメジョウシナガカメムシ、モンシロチョウ、キチョウ、ミドリヒョウモン、ウラギンシジミ、アサギマダラ、シオカラトンボ、アキアカネ、ウスバキトンボ、ヤブキリ、ケバエ、モンキアゲハ、ナナホシテントウムシ、ススメバチ、セイヨウミツバチ、オジロアシナガゾウムシ、アメンボ、

爬虫・両生類：ヌマガエル、アマガエル、ニホントカゲ、カナヘビ、

鳥類：ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイ、アオサギ、カワラヒワ、ヒヨドリ、キジバト、モズ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、カワセミ、オオタカ、

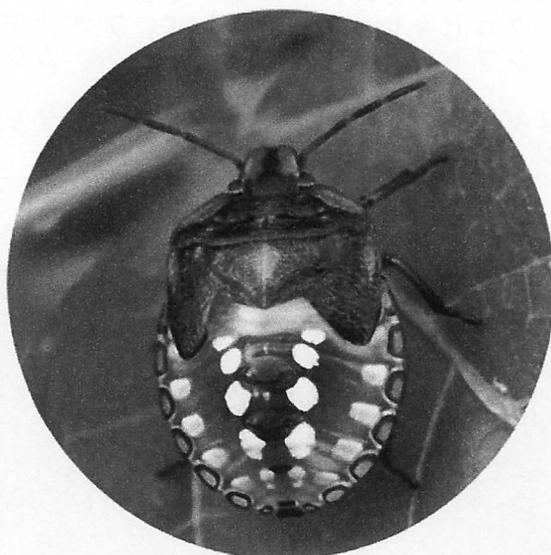
魚類・甲殻類・貝類：メダカ、ヨシノボリ、スジエビ、アメリカザリガニ、マルタニシ、ヒメタニシ、カタツムリ

### 【観察会の様子】



美浜・南知多ブロック観察会 2019(平成31, 令和1)年 1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保	担当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員 (問合せ先)
1	19	2	16	土	受募		美南	「地層岩石調べ化石採集」●南知多町環境課	南知多町JAあいち知多みさき支店P 9:30	田中達(090-1626-3231)河原
2	19	5	11	土	受募		美南	「山海川生き物観察」●南知多町環境課	山海ふれあい会館(旧山海小)P 9:30	田中達(090-1626-3231)中村
3	19	5	18	土	受募		美南	「アオウミウシを見つけよう」●南知多町環境課	南知多町県水産試験場P 9:30	田中達(090-1626-3231)中村
4	19	5	18	土	受募	協	美南	「山で発見 ヒメボタル」●美浜町環境課	美浜町時志観音P 21:30	永田孝(0569-82-3151)永田寛
5	19	6	1	土	募		美南	「クサフグの集団産卵を見よう」	南知多町聖崎公園P 14:30	大矢晃(052-841-6048)大矢美
6	19	6	16	日	受募	協	美南	「干潟の生き物」●美浜町環境課	美浜町奥田農協P 9:30	永田寛(0569-82-3151)中村英
7	19	6	30	日	受募	協	美南	「海辺の生き物」●美浜町環境課	美浜町富具崎港P 9:30	永田孝(0569-82-3151)中村英
8	19	8	3	土	募		美南	「ウミホタルの発光を見よう」	南知多町聖崎公園P 18:30	大矢晃(052-841-6048)大矢美
9	19	9	7	土	受募	協	美南	「布土川の生き物観察」●美浜町環境課	美浜町布土公民館P 9:30	斉藤(090-4213-2898)榊原靖



【行事名】 地層岩石調べ化石採集 ●南知多町環境課主催

【日時】 2019年2月16日(土) 9:30~12:00  
【場所】 農協みさき支店P⇒近くの海岸の崖  
【天気】 晴れ  
【担当】 田中達、河原  
【参加者】 一般87名(大人39名 子ども48名)、化石専門講師3名、町職員2名

指導員：河原、大矢晃、大矢美、田中達、中村英、永田孝、永田

寛、山田和

【内容】

毎年恒例となっている地層岩石調べ化石採集が晴天の中おこなわれ、今回のこの観察会には、東は静岡県浜松市、西は三重県桑名市という遠方からの参加者もあり、総勢100名もの人が集まりました。

集合場所の農協みさき支店から採集場所までは徒歩で移動し、採集地の崖の前で、この地域の地層の成立の説明、化石の出やすい石の特徴などの説明のあと、参加者は安全な場所に岩石を運んでから思い思いに岩石を割っていました。

この辺の地層の特徴としては深海性の生物の化石が多く採集でき、シロウリガイやウニの仲間の化石を見つけた参加者も多数見られました。子供たちの多くは割った石の中から化石を見つけると、化石専門講師の先生方に化石の種類などについて熱心に聞いていました。

化石採集が終わると、これも恒例となっている日本の鉱石がもらえるくじ引きが化石専門講師の計らいでおこなわれ、参加者全員が楽しめた観察会となりました。

なお、今回の化石採集場所については、普段は採集することができない場所ですので、ご注意ください。(記：田中達)

【観察会の様子】



【左】地層の成立や化石の出やすい石の特徴などの説明  
岩石を割る



【右】思い思いに  
岩石を割る



【上の1枚】化石を見つけると、化石専門講師の先生のところへ聞きに行く

[トップページへ](#)

【行事名】 山海川生き物観察 ●南知多町環境課主催

【日時】 2019年5月11日(土) 9:30~11:20

【場所】 山海ふれあい会館P⇒周辺用水路⇒山海川(清水橋周辺)

【天気】 晴れ

【担当】 田中(達)、中村(英)

【参加者】 一般18名(大人7名 子ども11名)、町職員2名  
指導員9名:門脇(重)、榊原(正)、田中(央)、田中(達)、中村(英)

【内容】

山海川での観察会は今年で5回目となりました。前回までは7月に開催してきましたが、熱中症などの心配から5月に変更しての開催となりました。

晴天で暑い日となりましたが、子どもたちは元気いっぱい魚を取ると張り切っていました。集合場所の旧山海小学校からは徒歩で田んぼ周辺の自然の観察、また、周辺の用水路で生き物を捕獲しながら山海川まで進みました。用水路ではたくさんのカダヤシを取ることができました。ダルマガエルやタニシも観察することができました。

山海川では、昨年子どもたちに大人気だったウナギを見たいという小学生のリクエストがありました。ウナギは今年も捕まえることができ、みんなで見るすることができました。また、珍しいアユやイシガメも捕獲・観察ができて、子どもたちには貴重な体験になったことでしょう。

わかちあいではウナギの成長過程、貴重なアユの生態、汽水域で成長するセイゴやボラの生態に興味を持ってもらえたようでした。皆一様にキラキラした眼差しで説明を聞いていました。(記:中村英)

【観察した生き物】

◎水辺の植物 オモダカ、シロツメクサ、アカツメクサ、ガマ、ウキクサ、アシ

◎魚 メダカ、ヌマチチブ、スミウキゴリ、ウナギ、ボラ、アユ、セイゴ、カダヤシ(特定外来生物)

◎昆虫 ハグロトンボヤゴ、アメンボ、ミズグモ、

◎その他 ダルマガエル、ヌマガエル、アマガエル、テナガエビ、スジエビ、ヌマエビ、マルタニシ、マシジミ、ヤマトシジミ、イシマキガイ、モクズガニ、アメリカザリガニ(要注意外来生物)、カワニナ、アオサギ、イシガメ、ミシシビアカミミガメ

【観察会の様子】



【左】 集合場所で主催者のお話



【右】 川へ行く道沿いの側溝。ここも、大変、楽しい



【左】 山海川に入って魚とり



【右】 とったお魚などの説明

【行事名】 アオウミウシを見つけよう ●南知多町環境課主催

【日時】 2019年5月18日(土) 9:30~11:40

【場所】 県水産試験場P⇒岫海岸

【天気】 曇り一時雨のち晴れ

【担当】 田中(達)、中村(英)

【参加者】 一般68名(大人28名 子ども40名)、町職員2名

指導員5名：門脇、大矢(晃)、浅井(一)、田中(達)、中村

(英)

【内容】

岫海岸での「アオウミウシを見つけよう」は今年で5回目となりました。開会前の曇り空から雨が降り出す天気となりましたが、県水産試験場の玄関先で雨宿りをしていると雨が上がり、開催することができました。

参加者には3つの約束事「①生き物は素手で触らないこと、②滑ると危険なので絶対に走らないこと、③生き物を見つけても深いところには入らないこと」を注意し、思い思いの場所で観察会を始めてもらいました。残念ながら今年はアオウミウシを見つけることはできませんでしたが、アメフラシをたくさん捕まえる子、魚を捕まえるのに夢中になる子など、磯での採集・観察を楽しんでいました。

今回の観察会についても、まとめでは、代表的な生き物の名前を説明することにとどめました。その分、どんな場所にどんな生き物が生息しているのかを知るなどして、磯の生き物に親しむ時間を大切にしました。素手で触っても大丈夫な生き物については、どんどん子どもたちに触ってもらいました。

なお、この観察会については豊浜漁業協同組合さんの特別な許可を得て実施しています。(記：中村英)

【観察した生き物】

◎魚の仲間：ナベカ、ギンポ、アゴハゼ、ボラ

◎ウニ、ヒトデ、ナマコの仲間：ムラサギウニ、バフンウニ、イトマキヒトデ、ニホンクモヒトデ

◎エビ、カニの仲間：イソガニ、ヒライソガニ、イシガニ、クロフジツボ、カメノテ、イワフジツボ、

◎貝やイカ、タコの仲間：マガキ、ムラサキイガイ、イボニシ、スガイ、オオヘビガイ、マツバガイ、ウノアシ、アメフラシ

◎クラゲやイソギンチャクの仲間：タテジマイソギンチャク、ヨロイイソギンチャク、ミズクラゲ

◎カイメンの仲間：ダイダイイソカイメン

◎海藻類：アナアオサ、ワカメ、ヒジキ

◎その他：ヒラムシ類

【観察会の様子】



【行事名】 「クサフグの集団産卵を見よう」

【日時】 2019年6月1日(日) 14:30～15:30 旧暦4月28日 月齢：27.2

【場所】 南知多町 聖崎公園

【天気】 晴れ

【担当】 大矢 晃、大矢美紀

【参加者】 一般 20名 町環境課職員2名

(指導員：大矢晃、大矢美、榊原正、田中達、中村、森下栄、森下保、)

【内容】

午後2時14分頃、聖崎公園に到着した時点でクサフグは少しづつ集まり出していました。

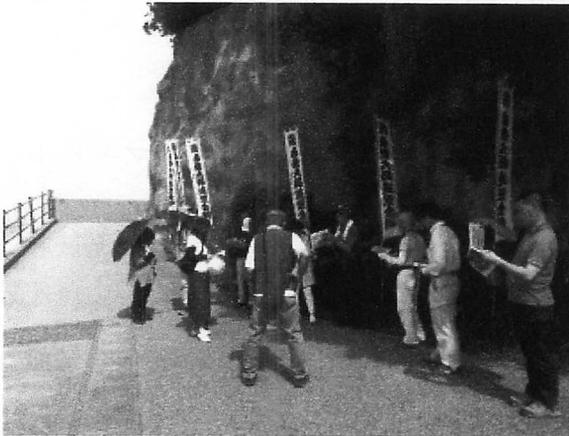
午後2時45分頃、クサフグの産卵が始まりました。

クサフグは波打ち際で体を震わせ、水しぶきを上げながら産卵をします。クサフグの産卵が最盛期を迎えた頃、希望者は堤防の上から静かに波打ち際まで降り、間近で産卵を観察しました。産卵が始まると海水は精子で白濁し、クサフグの警戒心は弱まり、少々近づいても逃げることはありません。

午後3時30分過ぎ、クサフグの産卵はまだ続いていましたが、クサフグ産卵観察会は終了としました。

午後4時頃クサフグの産卵は終わりました。以前と比較して、年々クサフグの産卵の規模が小さくなってきているようです(記・大矢 晃)

【観察会の様子】



【左】 始めに、手作りの冊子で概要説明  
なり、また、



【右】 産卵始まる。この後、静かに  
激しく産卵



【左】 産卵中に波に打ち上げられたフグたち



【右】 次第に海水がフグの精子で  
白くなってくる

【行事名】 干潟の生き物 ●美浜町環境課主催

【日時】 令和元年6月16日（日曜） 9時30分から12時頃まで

【場所】 集合：美浜町JAあいち知多奥田支店P

【天気】 晴れ

【担当】 永田孝、中村

【参加者】 一般： 24名

指導員：浅井、岩橋、大矢（晃）、大矢（美）、榊原（靖）、門脇、降幡、永田孝、永田寛、中村、森田、渡邊

【内容】

風の強い1日でした。

美浜町JAあいち知多奥田支店の駐車場に一旦集合、担当の永田から観察会での注意事項、危険生物等の説明があり、山王川河口に移動、山王川河口部の干潟のカニ類や貝類の観察・採取を行いました。

その後奥田海岸に向かい、海岸での生き物の観察、採取等を始めました。

砂浜に打ちあがっていた大きなエイに驚いたり、アオリイカの卵を触って「ぶにぶにだ。」と楽しんで自然と触れ合っていました。 午前11時頃より採取した海の生き物の説明を聞いたのち、生き物観察会は終了となりました。

<観察できた生きもの>

タコ、メリベウミウシ、アカニシ、メジナ、マハゼ、アゴハゼ、アカエイ、アカウミガメ、アオリイカの卵、ウミウシの卵、マメコブシ、アカウラゲ、ミズクラゲ、イソガニ、イシガニ、ヤマトオサ、チゴガニ、タカノケサイソガニ、アメリキンセン、シオフキガイ、アオヤギ、マテガイ、アナアオサ、ヒジキ、ワレカラ、ヨコエビ、コアマモ、ナミイソカイメン、イボニシ、イボニシの卵、ウミノシタ、雲雀

【観察会の様子】



【行事名】 海辺の生き物 ●美浜町環境課主催

【日時】 令和元年6月30日（日曜） 9時30分から12時頃まで

【場所】 美浜町富具崎

【天気】 晴れ

【担当】 永田孝、中村

【参加者】 一般： 29名

指導員：浅井一、岩橋、永田孝、永田寛、中村

【内容】

風の強い1日でした。

富具崎港駐車場に集合、担当の永田（孝）から今回の観察会の注意事項等の説明があり、その後南側の磯場へ移動し磯場で生き物の観察、採取を始めました。

当日は沢山の種類の小魚、大きなタコ、大きなイシガニに話題が集まりました。

午前11時すぎより海辺に並べたバットに集められたいろいろな生き物について説明を聞いたのち、海辺の生き物観察会は解散となりました。

今回は遠くから初めて参加したという方もいらっしやう、楽しんで観察をしてもらえたのではないかと思います。

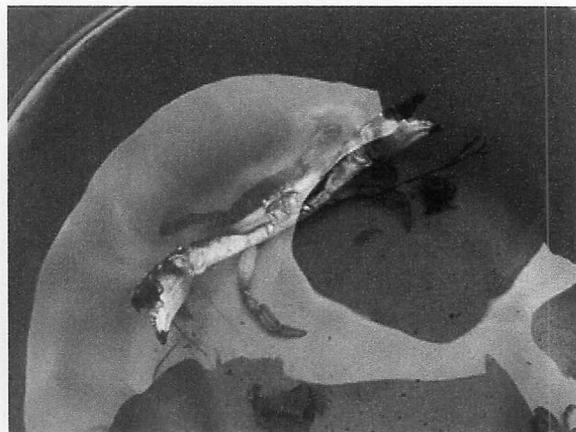
＜観察できた生きもの＞

アゴハゼ、タケノコメバル、メジナ、カメノテ、フジツボ、ヒザラガイ、ヒラムシ、ミズクラゲ、アメフラシ、ヤドカリ、メジナ、ウミタナゴ、キヌカジカ、ナベカ、ゴカイ、イソギンポ、サンショウウニ、ムラサキウニ、イシガニ、マダコ、カモメガイ、スガイ、マツバガイ、ウノアシ、ムラソイ、イシゲ、アオサ、ミル、マクサ、オゴノリ、ツルシラモ、カイメン、コナミウチワ

【観察会の様子】



ここの観察会は砂浜もありますが、主には、岩場の生きものの観察です。



【左】 潮溜（しおだ）まりには小さな生きものがいっぱい

【右】 イシガニ。挟ま

【行事名】 「ウミホタルの発光を見よう」

【日時】 2019年8月3日(土) 18:30~20:30

【場所】 集合:南知多町聖崎公園P

【天気】 晴れ

【担当】 大矢 晃、大矢美紀

【参加者】 一般114名、町職員2名

(指導員:大矢 晃、大矢美紀、永田 孝、)

【内容】

本年も熱中症が多発していますが、本日の観察会は夕方のため日中よりは比較的過ごしやすい状態でした(師崎の最高気温33度、最低気温27度)。

今回の観察会にはSNSの影響か114名+αの方にご参加いただきました。

聖崎公園駐車場で受付を行い、ウミホタルの生態の説明ののち、ウミホタル採集場所に移動しました。

ブタ生レバー、イワシ、チクワなどのエサを入れた捕獲ビン4つを用意し、暗くなる前に海底が砂地の海中に沈め30分ほど待ちます。

この間、アカテガニが放仔する海岸に行き、アカテガニが卵を抱いている様子などを観察しました。アカテガニは多数集結していました。

捕獲ビンを海中に入れ、30分ほど経過したあと引き上げると、一見ミジンコのようなウミホタルが捕獲ビンに入っていることが分かりましたが、比較的小型が多かったようです。ウミホタルの発光を見るためには刺激が必要なため、ウミホタルの入ったバケツからウミホタルをアミですくい刺激を与えると、真っ暗な中でウミホタルが青白く光りました。その青白く光る様子に多数の参加者からは歓声が上がっていました。見ていただくのに時間がかかりました。今回も夜間にかかわらずケガをする人はなく、無事に観察会は終了しました。(記:大矢 晃)

【観察した生き物】

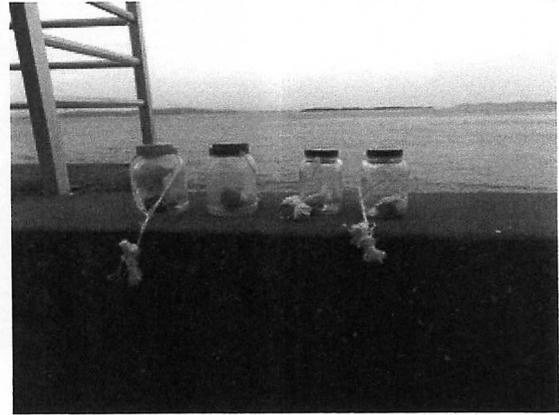
ウミホタル、アカテガニ

(記・大矢 晃)

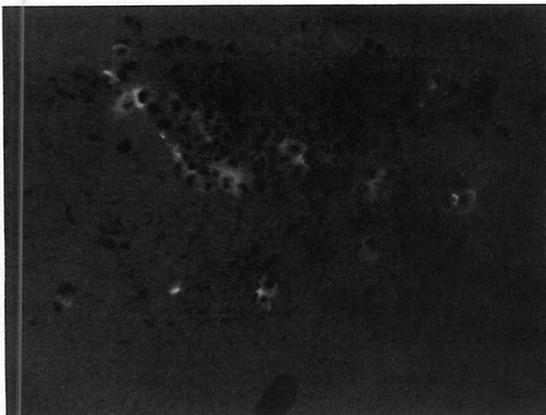
【観察会の様子】



【左】 始めに、ウミボタルについてのお話など



【右】 ウミボタルの採集器具



【行事名】 布土川の生き物観察 ●美浜町環境課主催

【日時】 2019年9月7日(土) 9:30 ~ 11:15

【場所】 布土川(河口より約800m上流、平田橋周辺)

【天気】 晴れ(気温約32℃)

【担当】 齊藤 保彦、榊原 靖

【参加者】 一般：32名(内、小学生以下14名)、美浜町役場環境課職員 2名  
指導員：齊藤、榊原(靖)、永田(孝)、田中(達)、榊原(正)、門脇(重)、古川、田中(央)、大矢(晃)

【内容】

残暑厳しい中ではあったものの、晴天の下で観察ができたことは何よりだった。一般参加者は30名を超え、子ども達も元気に動き回るなど、賑やかに観察会を行うことができ有意義だった。

確認された生物種は昨年引き続き少な目ではあったが、魚類では昨年に引き続きゴクラクハゼ、ウナギを確認することができた。

【観察された生き物】

- ◎ 魚 類…マハゼ、スミウキゴリ、ゴクラクハゼ、チチブ、ヌマムツ、メダカ、カダヤシ、フナ、ヨシノボリ、ウナギ
- ◎ 甲殻類…エビ類：テナガエビ、ミゾレヌマエビ、アメリカザリガニ/カニ類：モクズガニ
- ◎ 昆虫類…シオカラトンボ(成虫、幼虫)、コヤマトンボ(幼虫)、ハグロトンボ、コカゲロウ、アカムシ、アシナガバチ
- ◎ 両生類…両生類：ヌマガエル、ウシガエル(幼生)
- ◎ 貝 類…タイワンシジミ

(記録：齊藤 保彦)

【観察会の様子】



【左】 主催者挨拶と担当のお話



【右】 はしごを使って川に入る



【左】 ころばないように注意しながら…



【右】 つかまえた生きものの説明

## 知多の淡水エビ

榊原 靖

淡水エビを極めたい

川で観察会を行うと、多くの場合エビに出会います。テナガエビとかスジエビであればだいたい現場で見分けがつくので観察記録を辿って分布情報とすることが可能

(写真が添えられていればなおよい)と思いますが、ヌマエビ類となると慣れていないと正確な同定には至らないと考えます。実際過去の観察会記録をみると「ヌマエビ」とだけ記されているケースが多くみられます。もちろん観察会ではそんな細かい種名にこだわる必要はないのですが、各種の正確な分布状況を知りたいとなるとそうはいきません。

知多半島の淡水エビの分布状況を知りたいとかねてから思っていました。そのきっかけとなったのは淡水生物学のバイブルともいべき上野益三編修「川村日本淡水生物学」に記された「ヌマエビは本州以南の日本全土に分布し、ヌカエビは河和（知多半島）～村上（新潟県）の線以东および以北の本州に産する」という記載でした。そこで知多支部の代表を仰せつかった機会に淡水エビを調査対象とすることを提案しました。調査といっても観察会でみつかったエビ類の情報を集める程度の活動です。ところが思っていた以上に私自身が観察会に参加できなくて、このエビ類調査遅々として進展していないというのが現状です。

それでも南知多町で最近始まった山海川の観察会のお陰で、今までに見られなかった種（ヒラテテナガエビ、ミナミテナガエビ、ヒメヌマエビ、トゲナシヌマエビ）が加わり、知多の淡水エビ相は急に賑やかになりました。南知多町ではこれまで川の観察会がほとんど取り組まれてきませんでした。今後新たな発見が続くのでは、と期待しています。

### 知多半島の淡水エビ

Wikipediaによるとエビは、「節足動物門・甲殻亜門・軟甲綱・十脚目（エビ目）のうちカニ下目（短尾類）とヤドカリ下目（異尾類）以外の全ての種の総称である」とのことなので、ザリガニもエビということになります。現時点で把握している知多半島の淡水エビ類は以下のとおりとなります。

#### テナガエビ科

スジエビ属

スジエビ

テナガエビ属

テナガエビ、ヒラテテナガエビ、ミナミテナガエビ

#### ヌマエビ科

ヒメヌマエビ属

ミゾレヌマエビ、ヤマトヌマエビ、ヒメヌマエビ、トゲナシヌマエビ

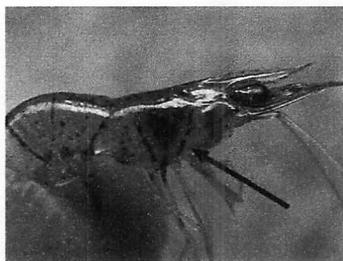
カワリヌマエビ属

ミナミヌマエビ

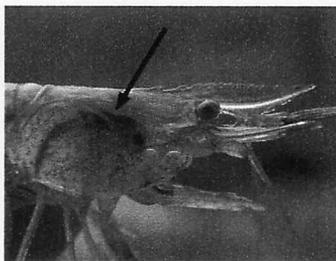
#### アメリカザリガニ科

アメリカザリガニ属

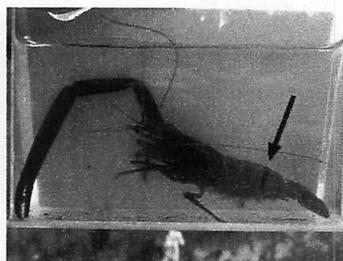
アメリカザリガニ



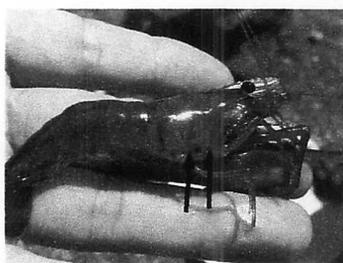
スジエビ  
胸の逆ハの字紋、腹部の線



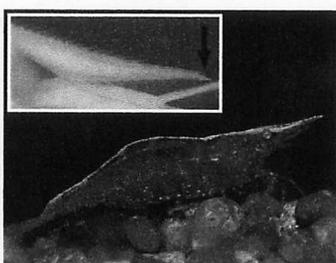
テナガエビ  
胸のm字紋



ヒラテテナガエビ  
腹部中程に線



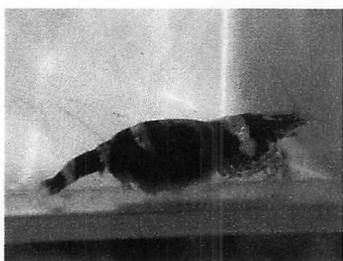
ミナミテナガエビ  
胸の線、前方2本に白い縁取



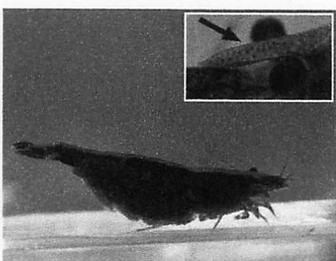
ミゾレヌマエビ  
額角の先端にトゲ



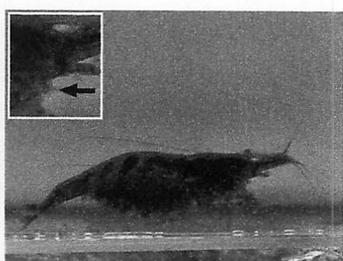
ヤマトヌマエビ  
ひどい写真ですみません



ヒメヌマエビ  
独特の模様（個体差有り）



トゲナシヌマエビ  
額角が短い



ミナミノマエビ  
頭胸甲前下端にトゲ

---

（本稿は、愛知県自然観察指導員連絡協議会発行の『協議会ニュース』164号に「私の活動紹介」として掲載したものを一部改変して再掲しました。）

## 臨時の観察会

下記表には、学校、役場、子ども会などの団体から自然観察会等の依頼を受け実施したものの中からホームページにアップされたものだけを掲載しています。

No	テーマ	主催者	実施日
1	「フナビオとふれあう会」	東海市立船島小学校	(2019. 5. 11)
2	南知多町大井「海辺の生きもの観察」	愛知県知多県民センター環境保全課	(2019. 8. 17)
3	「野崎川の生き物を観察しよう」	知多市八幡みどり保全会	(2019. 8. 25)
4	「加木屋緑地のアサギマダラを見つけに行こう」	東海市 花と緑の推進課	(2019. 10. 20)
5	東海市大池公園 「知多地域みどりの少年団交歓会」	愛知県知多県民センター農地林務課	(2019. 11. 16)



行事名：「フナビオとふれあう会」

- ・日時：2019年5月11日（土）9：20～11：30
- ・場所：東海市立船島小学校
- ・天気：晴れ
- ・担当：浅井一、平松俊
- ・参加者：船島小学校生徒254名  
（指導員：浅井一、岩崎、榊原靖、平松俊、降幡、古川、山田和）

<内容>

晴れて暑い日になりました。9：20にスタッフ全員会議室に集まりました。校長先生、内田教務主任のあいさつ、説明の後スタッフごとに持ち場に分かれ担当の講座を行いました。11：10にスタッフ全員再び会議室に集まって教務主任よりお礼のあいさつを聞き講座に関するアンケートに記入して会を終りました。  
(記 平松俊)

<活動内容>

●1年生：草花遊び（担当 降幡）

ミカンとトベラの花の臭いを嗅ぎました。  
大きな葉っぱ木を探しました。  
シロツメクサの花柄で草相撲をやりました。  
一番好きな花を紙に張り、花の名前を書きました。

●2年生：しおりづくり（担当 山田和）

日程	9時35分～10時	フナビオ散策
	10時00分～10時10分	休憩
	10時10分～10時55分	しおり作り
	10時55分～11時05分	片づけ

① 事前（5日前）に下見をして、押し花を作成、雨天時に使うためや、しおりを長持ちさせたい児童には使ってもらえるように準備。当日、使ってもらえた児童は数人であった。

② 前回は、植物の名前を説明する努力をして、時間が多く必要になった。今回、時間短縮のことがあったので、散策中に2か所で説明したものの、植物の名前を特に重要視しなかった。

③ 名前の付け方を説明し、今回は自分で「植物の特徴から、自分で名前を付けよう!!」とした。その結果、名前を自分で考えることの楽しさも知ったようだ。また、時間短縮にもつながった。

④ パウチする機械を複数用意していただけたので、作成において待ち時間が少なくてできた。

●3年1組：水生生物観察（担当 榊原靖）

ビオトープの水路（前半）と観察池（後半）で水生生物の捕獲・観察を行いました。

ビオトープ水路では、アメリカザリガニが最も多く、魚はドジョウのみでした。そのほかにはヒメガムシ、マツモムシ、ヌマガエルが見つかりました。今年は水の中に入らなかったためか、例年に比べて種類数が少なかったのが特徴でした。

後半の観察池でも、種類数は少数でした。アメリカザリガニ、ミシシッピアカミミガメ、オタマジャクシ（ウシガエル）、ヤゴ2種（シオカラトンボ、ギンヤンマ）、マツカサガイと思われる二枚貝が見られました。こちらの観察池も今年の中に入らなかったのも、いるけど捕れなかった生き物があつたと思われれます。その証拠にさんざんタモでかき回したのに捕れなかったメダカが、採集が終わってから悠々と泳いでいるのが見られました。

●3年2組：昆虫観察（担当 平松俊）

昨年同様教室に行って行程説明してから校庭の花壇の前に集合しました。担任の先生に時間係をお願いして校庭を1周しながら昆虫観察を行いました。

10:50教室に戻って見つけた虫を場所ごとに黒板にまとめました。

●4年1組：野鳥観察（担当 古川）

学校周りの道路を歩きながら観察したそうです。（聞き込み）

●4年2組：野鳥観察（担当 岩崎）

野鳥の話をして、観察に出かけます。時期的に野鳥観察の時期ではないので、見られる鳥は少ないですよと話をして出発です。途中野鳥の姿はあまり見られないので、草花のはなしをしながら散策です。オオキンケイギクが咲いていましたので特定外来植物ですよ、など説明をし、野鳥の話ではなく植物の話のほうが、多かったのではないかと思います。途中、ハシボソカラスの巣を発見説明をして、時間が来ましたので、教室に戻り、最後にどんな鳥が見られたかみんなを確認して終わりです。

●5年生：（川の生き物 浅井一）

校庭横の水路で観察したそうです。年々水路に入って観察する生徒が減っているそうです。（聞き込み）

<観察結果>

□3年1組：（水生生物）

- ・ビオトープ水路の生き物…  
マツモムシ、ヒメガムシ、アメリカザリガニ、ドジョウ
- ・観察池の生き物…  
マツカサガイ、ギンヤンマ、シオカラトンボ、アメリカザリガニ、ミナミメダカ（目撃）、ウシガエル（オタマジャクシ）、ミシシッピアカミミガメ

□3年2組（昆虫）

- ・花壇：アゲハ類、ゴミムシ類、ナナホシテントウ、クロヤマアリ、セイヨウミツバチ
- ・樹木園：ガの仲間、ホソヒラタアブ、モリチャバネゴキブリ
- ・トトロの道、ラクダ山：ツバメシジミ、ナミアゲハ、ガの仲間、クビキリギス、クロヤマアリ、アリ類、セイヨウミツバチ、モリチャバネゴキブリ、
- ・ビオトープ：ナミアゲハ、ウンモンズズメ（榊原さん捕獲）、ガの仲間、ヒメバチ類、アシナガバチ類、ホソヒラタアブ、
- ・観察池：ツバメシジミ、ベニシジミ、ナミアゲハ、ガの仲間、ナナホシテントウ、クロヤマアリ、

□4年1組（野鳥）：

カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ツバメ、オオヨシキリ、ヒクイナ、モズ、ハクセキレイ、ケリ、ハシボソカラス、ハシブトガラス、キジバト、カルガモ、コジュケイ、ヒヨドリ、ホオジロ、ヒバリ、メジロ

□4年2組（野鳥）：

スズメ ムクドリ カルガモ ツバメ キジバト ヒヨドリ ハシブトガラス ハシボソカラス ドバト 以上

□5年生：（川の生き物）

ドジョウ、ヌマチチブ、ウシガエル、ウシガエルのおたまじやくし、ガムシ、ヤゴ、ミシシッピアカミミガメ、

トップページへ

【行事名】 2019年度「海辺の生きもの観察会」 ● 県民センター環境保全課主催

【日時】 2019年8月17日(土) 10:30~12:00 (受付10:00~)  
【場所】 チッタ・ナポリ プライベートビーチ 干潮13:00  
【天気】 晴れ  
【担当】 南川  
【参加者】 一般：親子で34名(大人15名、子ども19名) 主催者：3名

指導員(17名)：浅井一、大矢晃、門脇重、桑村、榊原正、榊原靖、鈴木、田中央、中村、野村、藤井辰、降幡、水野恭、南川、森下栄、森下保、森田

【内容】

[日程概要]

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| ・挨拶(主催者代表、指導員代表)      | 10:30~10:40 |
| ・生きもの観察…班別行動(指導員と一緒に) | 10:45~11:40 |
| ・ミニ水族館前で生きものの解説(一斉)   | 11:40~11:55 |
| ・主催者閉会の挨拶             | 11:55~12:00 |
| ・参加者はアンケートに対応後、解散     | 12:00~      |

[海辺の状態]

干潮時が13:00とあって、観察開始時刻の10:50あたりでも、まだ、水量が多く、本部前の砂浜は活動には不適であった。

9:30頃から魚採り名人の指導員3名が頑張っていたが、本部前のミニ水族館の獲物は寂しかった。潮さえ干つていれば立派な水族館が出来上がっており、受付を済ませた子どもたちが喜んで眺めたはずだった。

[活動の様子]

開会行事の諸注意の後、班ごとに行動。指導員の自己紹介後、それぞれ観察活動になる。

潮が余り干つてなかったため、ほとんどの班は岩場の方へ行って、そこで採集や観察を始めた。

30分後ぐらいから本部前に洲ができはじめ、ここでも活動が始まったが、泳ぐ魚は見えても、さすがに誰も捕らえられない。陸となった部分で、タマシキゴカイの卵塊を気味悪そうに手のひらに載せている子もいた。(指導員がタマシキゴカイの本体を採ろうとしたが出来なかった…)

今回は指導員としては観察すべき対象の種類が少なく、若干不満であったが、子どもたちは水辺で保護者と小さなカニや、ヤドカリ、ハゼなどに歓声を上げていたので「よし」としたい。

[補足]

今回は先回以上に熱中症対策を強化したが、終了後、「この暑さに対し、持参した水量が少ないのではないかと思われるような家族があった」という意見があった。

なお、県が海岸の上の路上に車を常駐していただいたことは大変心強く、将来、同様な事業が有る場合はこちらからこのことを忘れずにお願いしたい。

(記：榊原正)

<観察した生きもの>

・ヨウジウオ、タケノコメバル、ミミズハゼ、スガイ、マツバガイ、カメノテ、イシガニ、ガザミ、イソガニ、ヒライソガニ、ヤドカリ…など

【観察会の様子】



【左】主催者あいさつ & 諸注意  
のがあるが…



【右】石の下には小さな生きもの  
がいるが…



【左】イシガニ。このハサミに挟まれたら大変  
生きものの説明



【右】ミニ水族館前で採集した  
生きものの説明

【観察会の様子-追加】



【左】あぶない生きもののなどの説明



【右】カニさん探し

【行事名】 野崎川の生き物を観察しよう

●八幡みどり保全会主催

【日時】 2019年8月25日(日) 9:00~10:30

【場所】 知多市 野崎川

【天気】 晴れ

【担当】 吉房

【参加者】 子供 9名、 保護者 8名、 子供会役員 1名、 八幡みどり保全会・寺本台防災役員 7名

指導員：浅井一光・田中 央

【内容】

これまでの暑さも少し和らぎ秋の気配さえ感じられる観察日になった。先日の大雨で、採集場所が大きくえぐれてしまったが、草刈もきれいに行われており子どもたちは元気に川に入って行った。

川の水は冷たく気持ちよかった。観察場所の上流の堰の所には、カルガモの親子がいたり、カワセミが上流に飛んで行ったり楽しい場所であった。

川底は砂がだんだん減って粘土がむき出しになってきているところがあり少し残念であった。

魚の種類も多く楽しい観察会であった。(記：田中)

【観察した生き物】

〔魚〕 カダヤシ スミウキゴリ マハゼ ドジョウ オイカワ モツゴ ウナギ

〔貝〕 カワナナ マシジミ ジャンボタニシ

〔カメ〕 ニホンイシガメ ミシシピアカミミガメ

〔その他〕 アメリカザリガニ テナガエビ モクスガニ ヌマエビ ヌマガエル  
ウシガエルのオタマジャクシ

【観察会の様子】



【左】 始めの挨拶とお話



【右】 採集活動の様子



【左】 捕らえた生きものの説明



【右】 参加者記念撮影

【行事名】 アサギマダラを見つけに行こう 主催 東海市 花と緑の推進課

【日時】 2019年10月20日(日) 08:30~11:30

【場所】 集合:加木屋緑地 成長の森ゾーン

【天気】 晴れ

【担当】 浅井一、平松俊

【参加者】 一般50名(大人20名、子供30名)

(指導員5名:浅井一、平松俊、降幡、村瀬、森田琢)

### 【内容】

東海市市制50周年記念として特設された「自然環境再生事業」の一環です。ヘイケボタル(平家蛍)、オニヤンマ(鬼やんま)、アサギマダラ(浅葱斑)などを象徴種にしながら、生きものを身近に親しめるふるさとを再生しようとするプロジェクトです。当日は市長、市職員の列席の他、知多メディアス(CATV)の取材もありました。開会当初は曇っていましたが10時頃には明るくなりアサギマダラも数頭が舞う様になりました。開設されたビオトープには既に水生植物、水生昆虫などが生息していました。行事は①あいさつ、説明②ヘイケボタルの幼虫放流③水辺のいきもの観察④アサギマダラを見つけに行こう⑤アンケートの順に遂行され11時過ぎに閉会しました。知多自然観察会は指導という立場で協力しましたが、担当職員が大方の進行を司ってくれました。私たちは参加者からの質問に対する補助的な回答や生きもの採集のコツを伝授する事に徹しました。

(記・森田)

### 【観察した生き物】

#### ◎植物

フジバカマ、コウホネ、ミゾソバ、トチカガミ、ウマノスズクサ、センダングサ(種子)

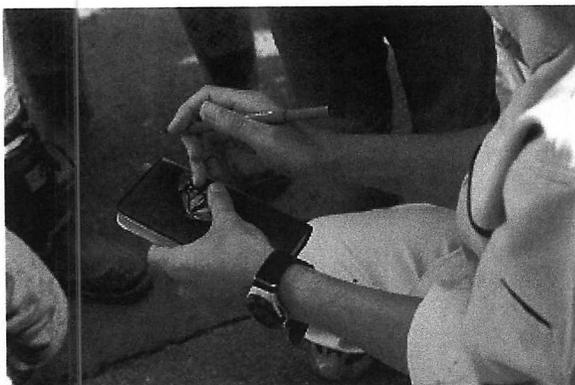
#### ◎動物

アサギマダラ、キタキチョウ、ハラビロカマキリ、ケラ、ヤマトシジミ、ウラギンシジミ、ウラナミシジミ、アオスジアゲハ、ヒメアカタテハ、ホウジャクガ類、シオカラトンボ、アカトンボ類、ウスバキトンボ、ツチイナゴ、コバネイナゴ、ホシササキリ、ツユムシ、ナナホシテントウ、カミナリハムシ類、セアカヒラタゴミムシ、ヤブカ類、ホソヒラタアブ、ヒゲジロハサミムシ、ヒメタイコウチ、マツモムシ、ヒメガムシ、コガムシ、コガタガムシ(?)、ギンヤンマ(やご)、オニヤンマ(やご)、カダヤシ、アメリカザリガニ、モクズガニ、ヒメタニシ、ヒルの仲間

#### ◎その他

ナカグロモリノカサ、ニガクリタケモドキ

### 【観察会の様子】



【左】アサギマダラの翅にマーキング(日付、場所標識、個体番号)



【右】海を渡って南方へ



【左】放流前のヘイケボタル幼虫

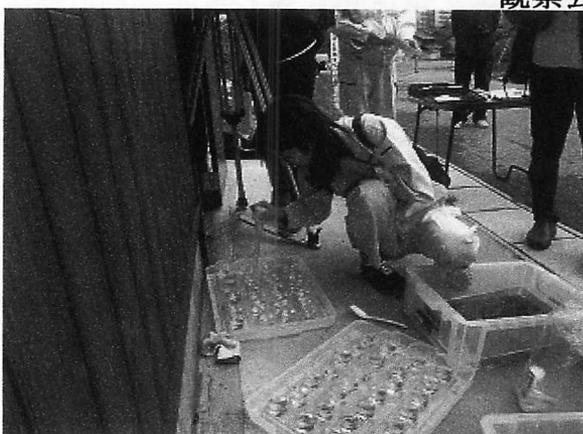


【右】ビオトープの生きものたち

---

【観察会続き】

観察会の様子



【左】ヘイケボタル幼虫の観察      【中】開会挨拶とアサギマダラのお話  
【右】ビオトープの生きもの採集

【行事名】 2019年度(令和1年度) 知多地域 みどりの少年団交歓会

【日時】 2019年11月16日(土) 9:00~12:00

【場所】 東海市大池公園

【天気】 晴れ

【担当】 南川(知多自然観察会の担当)

【参加者】 みどりの少年団員及び引率教師、各市町担当者、県農地林務課担当  
(指導員: 浅井一光、岩本妙子、榊原 靖、榊原正躬、鈴木 汎、竹内秀代、田  
中央、中井三従美、野村静二、畠 烈、平松裕規、藤井辰子、降幡光宏、南川  
陸夫、森下保男、森下栄子、森田琢磨、山田和男、吉川 勉、吉房 瞳)

【内容】

<当初の日程>

【晴天時】

9:00~9:20 受付(地下1階大  
会議室)

9:25~9:40 開会式(同上)

9:45~11:30 自然観察  
自己紹介、名札作  
成

11:30~12:00 記念撮影  
観察から戻ったグループから記念  
写真

12:00~12:20 閉会式

12:20~ 解散後各自由に昼  
食

【雨天時】

9:00~9:20 受付(地下1階大  
会議室)

9:25~9:40 開会式(同上)

9:45~11:30 自然物工作 写真  
立て作製

自己紹介、名札作  
成

11:30~12:00 作品発表  
様子を見ながらグループ毎に記念  
写真

12:00~12:20 閉会式

12:20~ 解散後各自由に昼  
食

晴天時日程で予定通り実施できた。

分団ごとに整列し、開会式。

式後、全団員を6班に分け、その班ごとに園内の散策路に沿って、動植物を観  
察。

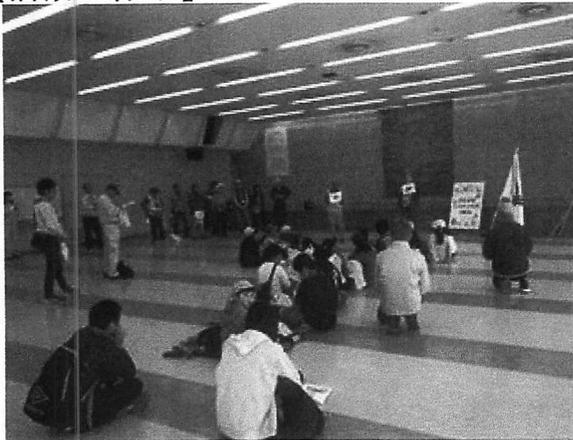
参加者への配付物の一つに“レンズ付き観察ケース”があったが、それに色々な  
モノを入れての観察もした。

11:30頃から各班が順次所定の芝生広場に到着。到着順に記念撮影。

撮影後、地下1階大会議室に再び整列し、閉会式を実施。終了後、解散。

なお、今回は当初実施日が台風のため延期しての実施だったので、参加児童数  
が当初予定の3分の1不足であった。そのため1グループの人数が少なく、  
ゆったりとのびのびとしていたような気がする。かと言って、時間はあつという  
間に過ぎたという実感は例年通りであった。

【活動の様子】



【左】開会式



【右】班ごとに自分の名札づくり



【左】 自己紹介



【右】 観察の様子

【活動の様子-追加】



【左】 自己紹介

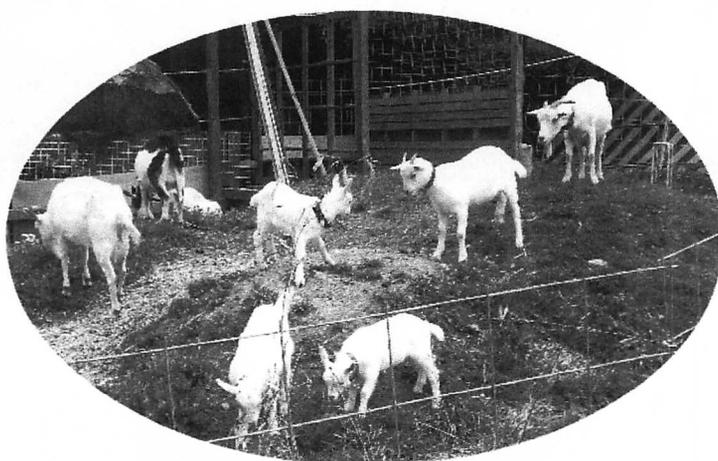
【中】 名札づくり  
の様子

【右】 観察

## 発表の場

知多自然観察会が実施する行事ではなく、会員個人の体験や活動したことを掲載しています。

No	テーマ	提供者	アップ日
1	イエシロアリの蟻塚	平松裕規	(2019. 2. 13)
2	百足（ムカデ）の足は…何本？	榊原正躬	(2019. 5. 1)
3	かぼちゃ（南瓜）の雑種	榊原正躬	(2019. 10. 21)
4	葉っぱで判断（樹木名）	榊原正躬	(2019. 12. 18)



# イエシロアリの蟻塚

会員の平松裕規氏がフェイスブック (FB) にイエシロアリの蟻塚をアップしました (2019. 2. 13)。

大変珍しい写真なので皆様に紹介します。(紹介日：2019. 3. 23)

なお、

本人からのコメントによると、撮影場所は屋根裏で、蟻塚は土でなく“木くず”からできているとのこと。

ちなみに、この蟻塚を過日の“持ちより会”へ持参してくれたので直接持ってみたが大変軽かった。

写真をクリック→ビッグサイズ

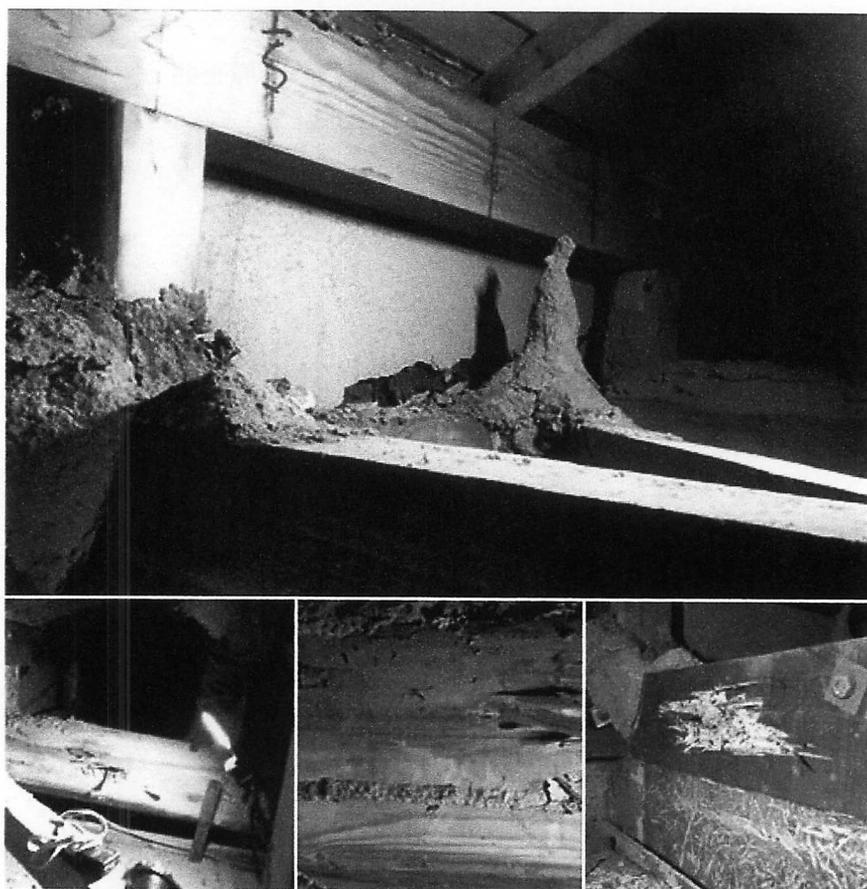


平松 裕規

2月13日 21:14

...

もうすぐ撤去するので、あまりお目にかかれないので、紹介しますね。嫌いな人はスルーしてくださいね！イエシロアリの蟻塚です。



👤 49

コメント4件

👍 いいね!

💬 コメント

➦ シェアする



坂 克典 うお〜 😊 久しぶりに見た!?

いいね! · 返信する · 5日前



山 博一 貴重な写真です。

いいね! · 返信する · 4日前



加 千尋 鍾乳洞っぼいんですね

いいね! · 返信する · 4日前



石 洋一 私は初めて見ました!へえー ですね 😊

いいね! · 返信する · 3日前



コメントする...



投稿するにはEnterキーを押します。

## ※ 写真の追加



<平松氏からのコメント>

イエシロアリです。頭が茶色いのが兵隊アリでお腹がぷっくりしているのが羽アリになるやつです。女王アリの候補ですね! (2019. 2. 28)

# 百足（ムカデ）の足は…何本？

2019.5.1 アップ

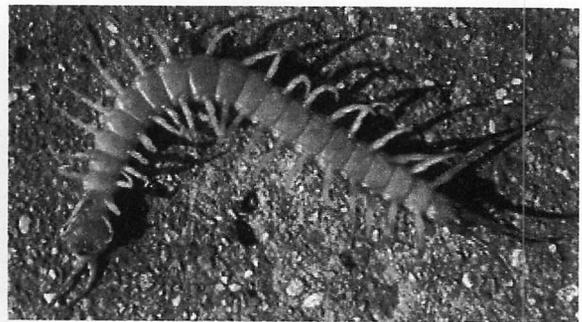
(榊原正躬)

皆さんは如何でしょうか。  
私は今まで“ムカデ”の足の数を、正直言って、しっかり数えたことがありませんでした。  
ひょっとして、私と同様な方は、以下の写真で、一度、数えてみては々でしょうか。

1枚目の写真は、今年の1月11日、阿久比の幅1m足らずの浅い小川の水の中に“ムカデ”がいた。もちろん、死んでいたが冷たい水の中にあっただせいか色つやが大変よかった。足を数えるのに丁度よいと思って、日当たりに出して撮った。  
2枚目は、昨年夏の観察会“ナイトハイク”でアスファルト道路を横切っているところを撮ったものです。

写真クリック→ビッグサイズ

※ムカデが気持ち悪い人はクリックしないで下さい。



【左・右】1枚目の写真。足の数…19対で38本



【左】2枚目の写真 【右】上の写真の顔部分の拡大

## 雑種かぼちゃ（南瓜）

2019. 10. 21 アップ（榊原正躬）

何にでも“雑種＝交雑種”があることは、頭では理解しているつもりでした。今回、偶然、結果的に、カボチャの極めて具体的な雑種を見た。お百姓さんにとっては当たり前のことかも知れないが、私にとっては初めてのことだったので、皆さんにも紹介します。  
※皆さんの中にご存知の方も、まま、みえると推察)  
写真クリック→少しビッグサイズになる



### <内容>

過日（2019. 9. 27）、日間賀島に行ったとき、自宅では余り見たことがなかった形の南瓜（かぼちゃ）が畑にあった。

左の写真は畑の雑木（畑に接した山の茂み）に登ったツルに沢山あった内の色ずんだモノ。食べるためにお土産にいただいたモノ。で、帰宅後、撮ったもの。

当然ながら、私個人は南瓜にはこれまで、全く、関心を持ったことはなかった。

にもかかわらず、ここに載せるに到ったのは、偶然にも数日後の“新聞＝下段に記事を掲載”でこのカボチャの種名やズン雑胴のカボチャが雑種であることが判って、まう、嬉しかったから…というところです。

【向かって右の長いカボチャ】→ 種名 バターナッツ（日本固定種）（※ バターナッツ・スクワッシュ）

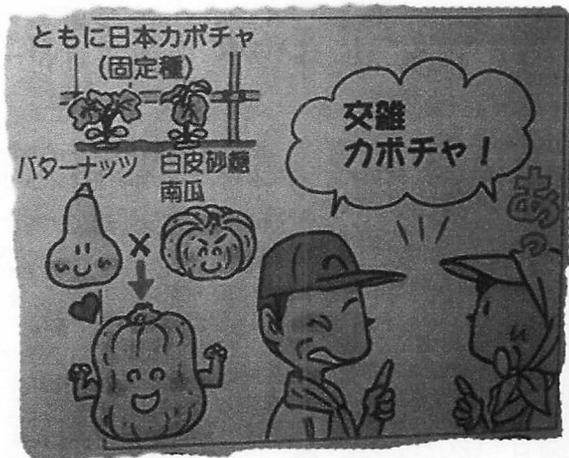
写真は40cmのモノ

【 // 左のズン胴なカボチャ】→上記と白皮砂糖南瓜（日本固定種）との雑種  
写真は18cm のモノ

※下段の新聞参照

### 【新聞の記事】





【左・右】 新聞の記事



【左】 新聞の記事      【右】 白皮砂糖南瓜      (※ ネット上から拝借した画像)

## 葉っぱで判断（樹木名）

2019. 12. 18 アップ（榊原正躬）

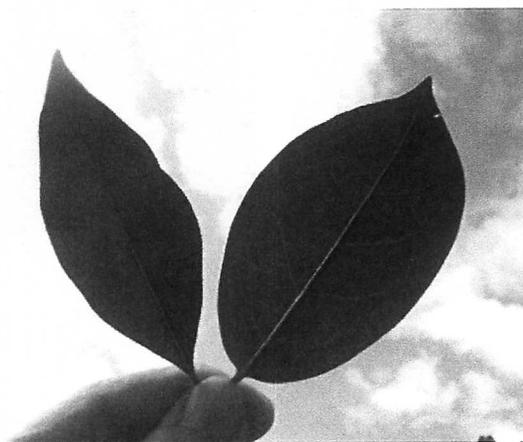
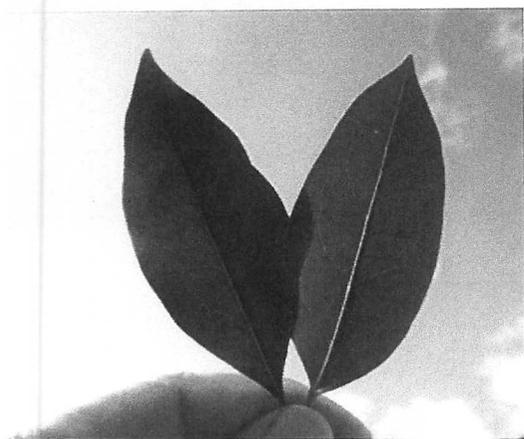
皆さんの中には、葉っぱで木の名前を同定する人が、沢山お見えなのは十分知っています。

が、先日の観察会で、葉っぱを透かしながらトウネズミモチの説明をしたとき、「ナルホド…」と言っていたいただいた指導員もみえましたので、気を良くしてここに紹介です。

（※ 図鑑やネット上にもふんだんに掲載されていることなので、それらの写真なども拝借しながらの解説です）

写真をクリック→少しビッグサイズになります

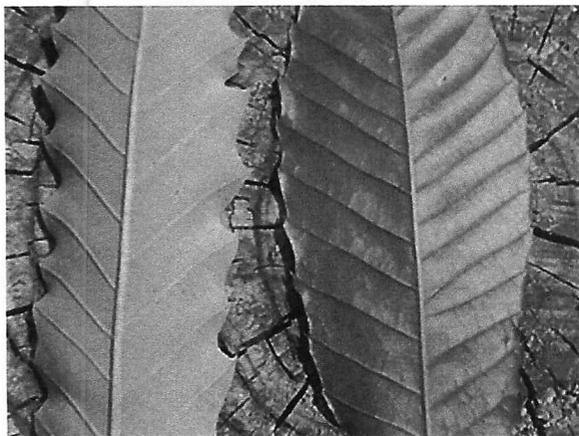
### 【ネズミモチとトウネズミモチ】



・いずれも、向かって左がネズミモチ。右がトウネズミモチ

・透かして観ると、トウネズミモチは主脈や太い側脈が白く見える（写真をクリック→拡大で見る）

### 【アベマキとクヌギ】



結論：

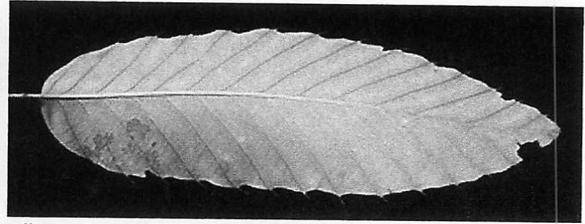
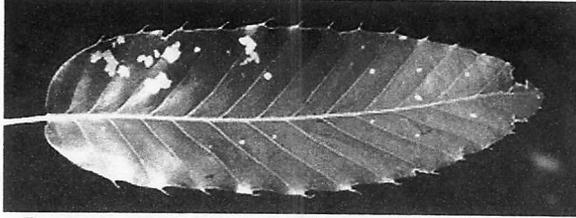
アベマキは

“うら”が白っぽい

どちらも葉っぱの“うら”面 [左] アベマキ [右] クヌギ

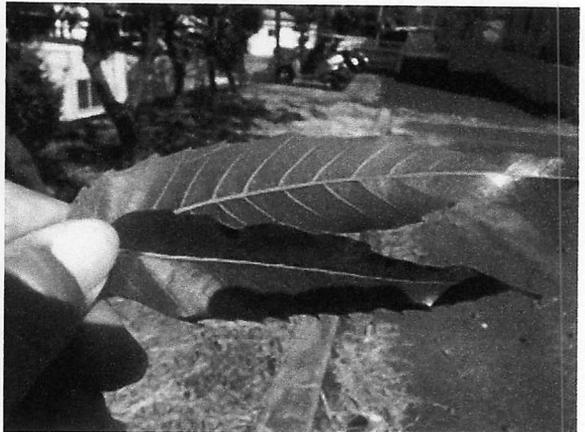
以下の画像も参照

<アベマキ>



【上の2枚】同一の葉っぱ [左] 葉の“おもて” [右] 葉の“うら”

<クヌギ>



【上の2枚】どちらもクヌギ クヌギは“うら”が白っぽくない

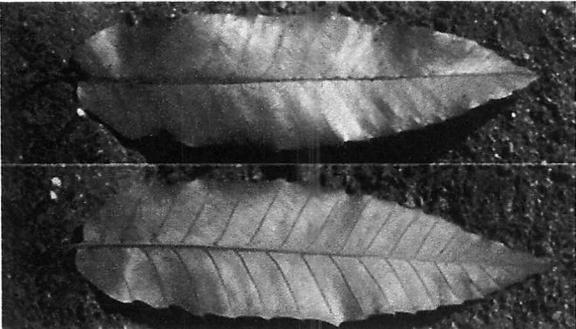
● 冬の落ち葉の状態

<アベマキ>



【上の2枚】どちらも上が“表” 下が(“うら”)

<クヌギ>



【上の2枚】どちらも上が“表” 下が(“うら”)

平成31,令和1(2019)年度 知多自然観察会役員一覧表

役名	氏名	住所
顧問	降幡 光宏	常滑市
代表	榑原 靖	半田市
副代表	南川 陸夫	知多市
〃	榑原 正躬	半田市
庶務	吉川 勉	知多市
会計	森田 琢磨	常滑市
会計監査	山田 公子	東浦町
〃	牧野 靖子	半田市
阿久比ブロック世話役	平松 裕規	阿久比町
大府 〃	村瀬 由理	大府市
武豊 〃	畠 烈	武豊町
知多 〃	南川 陸夫	知多市
東海 〃	浅井 一光	名古屋市
常滑 〃	森田 琢磨	常滑市
半田 〃	山田 和男	半田市
東浦 〃	竹内 秀代	東浦町
美南※1 〃	永田 孝	美浜町

※1…美浜・南知多ブロック 以上 2019年2月3日 現在



## 編集後記

今回の年報も印刷製本を業者に発注です。持ち込んだ原稿の写真印刷ですので校正という過程はありません。即ち、誤字脱字やおかしなレイアウト等すべて出来上がりは担当が編集したとおりです。従って何かありましたら担当の方へご連絡下さい。次年度の年報に反映させていただきます。

さて、今回も編集面では特別大きな変化はありません。近年は年報作成にあたって会員へ年報に掲載するための記事やイラストなどを募集していません。従って年報の内容は編集にあたって…に記載したごとく知多自然観察会のホームページにアップされているものばかりです。

その代わりホームページ上の「発表の場」のページはできるだけ投稿どおりに掲載しますが、今回は投稿が少なかったです。なお、「発表の場」のページに投稿したいが“やり方”が分からないという方はワードやエクセルで原稿を作りそれを私（榊原正）へ添付で送信していただければそれをホームページへアップしますので遠慮無く送信して下さい。（ただし、投稿者のレイアウト通りには掲載できるとは限りません）

いずれにしても今回も業者の制作ですので見栄えはOKです。内容及び構成については今後とも要検討です。

（年報担当：榊原正躬）



知多自然観察会

代表 榊原 靖

ysakaki@cac-net.ne.jp

